Canon

PUB. DIJ-0350-000

HDビデオカメラ

iVIS HF M32

使用説明書

楽しく作ろう!!

思い出ライブラリー

旅先での印象的な景色、人、味覚。
入学式でのキリッとした横顔。
一等賞をもらったうれしそうな笑顔。
心くすぐる瞬間をiVISに収めましょう。

手軽 こだわりオート
に、キレイに撮影…40

青い空、ハイキング、乗馬、夕焼け、一群の鳥。被写体や撮影状況をカメラが自動判別するので、どんなシーンもキレイに撮れます。

いままでとはココが違う!
メモリーは軽い!スゴい!!

1 買ったその日から すぐ撮れる………38

64GBの内蔵メモリーに約19時間10分撮影可能（標準画質SPモード）。内蔵メモリーがいっぱいになると、自動でカードへ記録する設定にもできますので長時間の撮影も安心です。

手ブレもこわくない 進化した手ブレ補正 ……77

歩きながらの撮影でも安心。大切な映像を手ブレから守ります。静止しての望遠撮影は、パワードISで万全です。

海外でも安心 世界の電圧/周波数に対応 ……246

変換プラグがあれば、どこでも充電可能です。一部の国では、そのままテレビにつないで見ることができます。

顔を検出して撮る フェイスキャッチ＆追尾 ……81

顔のピントや明るさを自動で調整。ねらった人物は逃しません。

音楽と一緒に再生する ビデオスナップ ……114

印象的な場面を4秒ごとのシーンで撮影。撮りためて、音楽とともにドラマチックに再生できます。

2 一覧画面から一発再生 ……50

見たいシーンを探すとき、テープのように巻き戻しや早送りで頭出しする手間は一切不要。インデックス画面からパッと選んで一発再生です。

3 パソコンで保存や編集 ‥172

ImageMixer 3は動画、「フォトアプリケーション」は静止画のパソコンへの保存や管理などができます。詳しくは各ソフトウェアの説明書をご覧ください。

4 いろいろな残しかた ‥166

ディスク作成、ビデオ機器へのダビング、Webサイトへのアップロードなど、お好みに応じてさまざまなカタチで映像を残すことができます。

CONTENTS

もくじ

3 応用(楽しんで見る)

4 応用(編集する)

CONTENTS

もくじ

Chapter 4

写真

1 基本(手軽に見る)

2 応用(本格的に撮る)

3 応用(楽しんで見る)

4 印刷する

Chapter 5

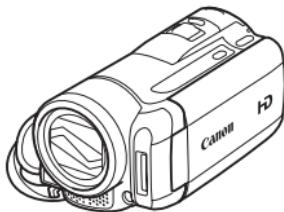
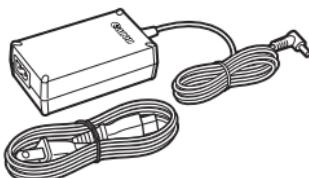
保存/共有

Chapter 6

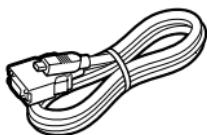
ふろく

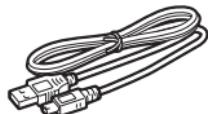
やりたいこと目次

そろっていますか？

箱の中に次のものが入っているかチェックしましょう。

iVIS HF M32 本体

コンパクトパワーアダプター
CA-570と電源コード 20

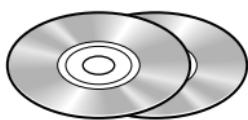
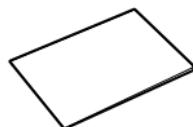
バッテリーパック BP-808 20

リモコン（ワイヤレス
コントローラー）WL-D89 23

D端子ケーブル
DTC-100/S 63

コイン型リチウム電池
CR2025（リモコン用） 23

USBケーブル IFC-300PCU
157 173 178 184 196

ステレオビデオケーブル
STV-250N 63 191

iVIS HF M32 使用説明書（本書）

動画用ソフトウェア 172 176 181 193

PIXELA（ピクセラ） Application（アプリケーション） Disc（ディスク） Disc1、Disc2 *
（動画の保存、管理、編集、再生用）

PIXELA ImageMixer 3 SE
インストールガイド

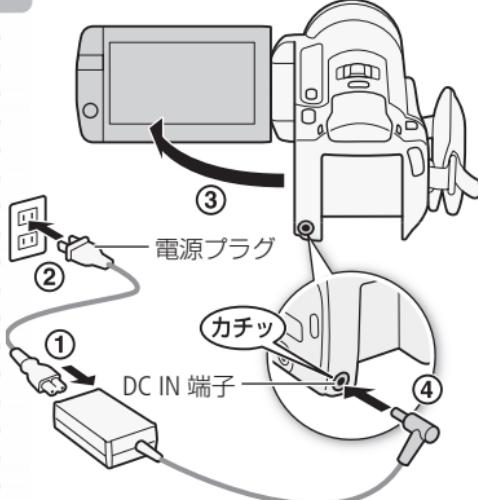
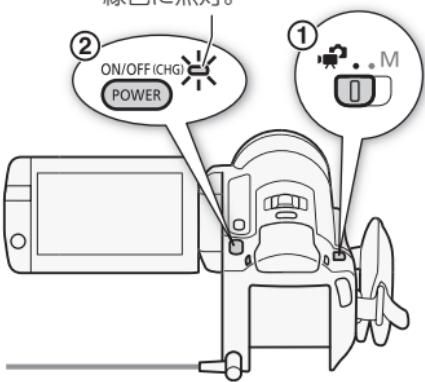
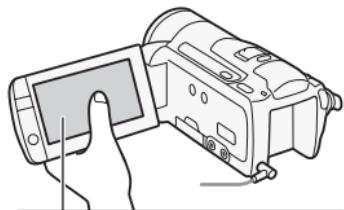
静止画用ソフトウェア 172／音楽データ 117

フォトアプリケーション Ver.34 /
音楽データディスク *
（静止画の保存、管理、印刷用）

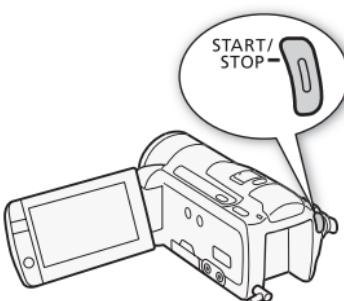
このディスクに入っている音楽データは、PIXELA ImageMixer 3 SEでのみ使用できます。CDプレーヤーでは再生できません。詳しくはImageMixer 3取扱説明書（PDF）をご覧ください。

* 説明書がPDFデータとして入っています。

さっそく撮ってみよう

箱から出して、今すぐ撮影してみたい----という方のために一通りの操作を説明します。まずは内蔵メモリーに気楽に撮ってみましょう。

3 時計を合わせる

❶ 年の数字をタッチして、［▲］［▼］で選ぶ。
- 月、日、時刻も同様に操作する。

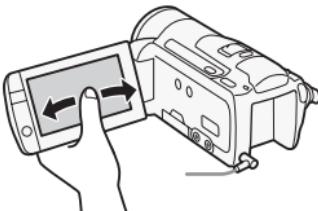
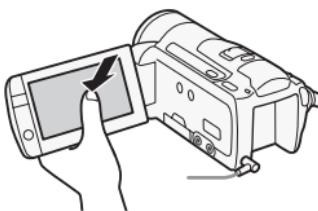
❷ 「OK」をタッチする。

4 押す ▶ 撮影開始！

- もう一度押すと撮影終了

映像を再生してみよう

電源を切らずにそのまま操作できます。

❶ 押す

❷ 見たいシーンを選ぶ
- タッチしたまま左右に動かす。

❸ 再生したいシーンをタッチ ▶ 再生開始！

- 再生を終えるときは画面をタッチ→［■］をタッチする。

ハイビジョンを楽しもう

本機は高精細なハイビジョン映像を撮影することができます。写真は、説明のためのイメージ写真です。

ハイビジョンは美しい

ハイビジョン画質 1920×1080画素*1

約6倍 全体画素数

約2倍 有効走査線数

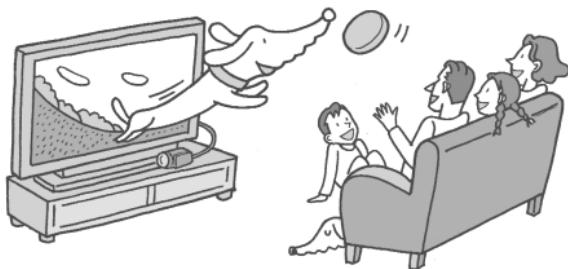
1080本

髪の毛一本までクッキリと再現

標準画質（従来） 720×480画素

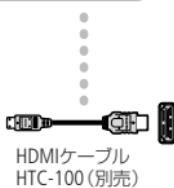
480本

フルHD CMOSセンサーによって、フルハイビジョン（水平1920×垂直1080画素）で映像を記録*1しますので、すみずみまで精細な美しさを再現します。

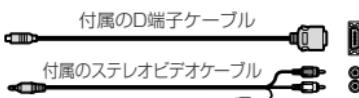
*1 録画モードがMXPとFXPの場合。他の画質では、水平1440×垂直1080画素で記録します。

ハイビジョンテレビで再生

HDMI™端子のあるハイビジョンテレビで見る　ハイビジョン画質

HDMIケーブル（別売）でつなぐだけ。もっとも美しく、カンタンにハイビジョン映像をお楽しみいただけます。

HDMIケーブル
HTC-100（別売）

ハイビジョンテレビで見る　ハイビジョン画質

付属のD端子ケーブルとステレオビデオケーブルでつないでハイビジョン映像を再生できます。

付属のD端子ケーブル

付属のステレオビデオケーブル

D端子ケーブルで映像、ステレオビデオケーブルで音声が出力されます。

カードスロットのあるテレビやレコーダーで再生する　ハイビジョン画質

お使いのカードに対応したカードスロットのあるAVCHD規格対応＊2のテレビやレコーダーで、映像を記録したカードを再生できます。詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

＊2 AVCHD規格に対応した機器でも、機器によっては正しく再生できないことがあります。その場合は本機で再生してください。

カードスロットのある
ハイビジョンテレビ

この本の読みかた

2 応用 — 本格的に撮る —

画質を選ぶ ビデオ 写真

録画モード

録画モードには MXP 、FXP 、XP+ 、SP 、LP の5種類があります。高画質で撮影したいときはMXPまたはFXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

撮る 見る | モードスイッチ M | タッチパネル

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 録画モードを選ぶ
❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。
❷ 上下にドラッグして、「録画モード」をタッチする。
❸ いずれかをタッチする。

総記録可能時間

× 3 タッチする

ビデオ

70

画質を選ぶ

POINT 録画時間の目安

録画モード	MXP*1	FXP*1	XP+	SP	LP
内蔵メモリー（64GB）*2	5時間55分	8時間20分	11時間30分	19時間10分	24時間30分
4GBカード	20分	30分	40分	1時間10分	1時間30分
8GBカード	40分	1時間	1時間25分	2時間20分	3時間
16GBカード	1時間25分	2時間5分	2時間50分	4時間45分	6時間5分

1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に一時停止し、約3秒後に再び記録が開始されます。なお、記録される映像は、別々のシーンになります。

*1 水平1920×垂直1080画素で記録されます。他の録画モードでは1440×1080画素で記録されます。
*2 ご購入時、内蔵メモリーには約75 MBの音楽データが保存されています。

MEMO
- MXPモードで撮影した動画は、別売のDVDライターDW-100を使ってディスクに保存できません。付属のソフトウェアImageMixer 3を使って保存してください。
- 録画時間は撮影するシーンによって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているためです。
- デュアルショットに切り換えても設定した録画モードは変わりません。

画質を選ぶ

71

探すための見出し

知りたい機能をすばやく探すための見出し。左ページに章タイトル、右ページには機能の名前を載せている。

本文中の表記

10（□10）	参照ページを示す。
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す。
画面	液晶画面のこと。
カード	SD／SDHC／SDXCメモリーカードのこと。
メモリー	「内蔵メモリー」または「カード」のこと。
ImageMixer 3	付属のソフトウェア「PIXELA ImageMixer 3 SE」のこと。

* 画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

ビデオと写真のどちらで使えるかを示すマーク

ビデオ
動画の撮影や再生で使える機能。

写 真
静止画の撮影や再生で使える機能。

モードスイッチやボタンの状態を示すマーク

撮る 見る
撮る/見るボタンを押すたびに、撮影と再生が切り換わる。この場合は撮影にする。

モードスイッチ M
撮影時に選択するモード。この場合は**M**(マニュアル)に設定。ほかにがある。

タッチパネル
モードスイッチを**M**にして撮影するとき、動画撮影または静止画撮影を選ぶ。この場合はをタッチ。

コラムのマーク

ご注意 守ってほしいこと。

知っておいてほしいこと。

知っていると便利なこと。

使う前に知っておいてください

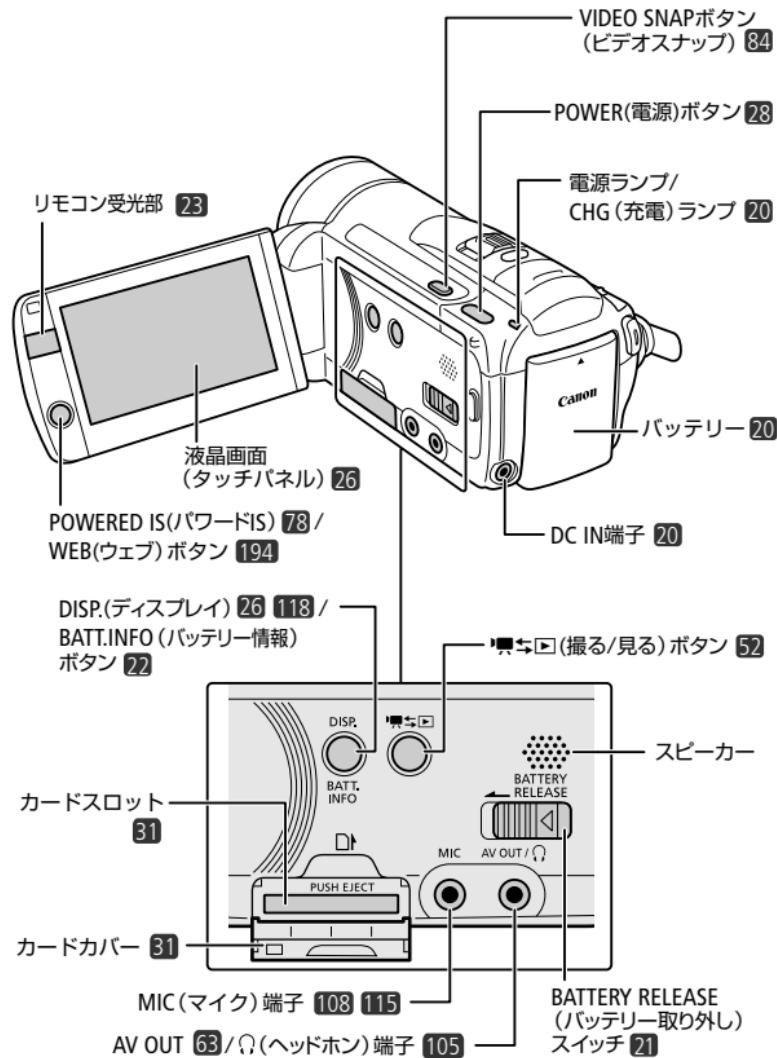
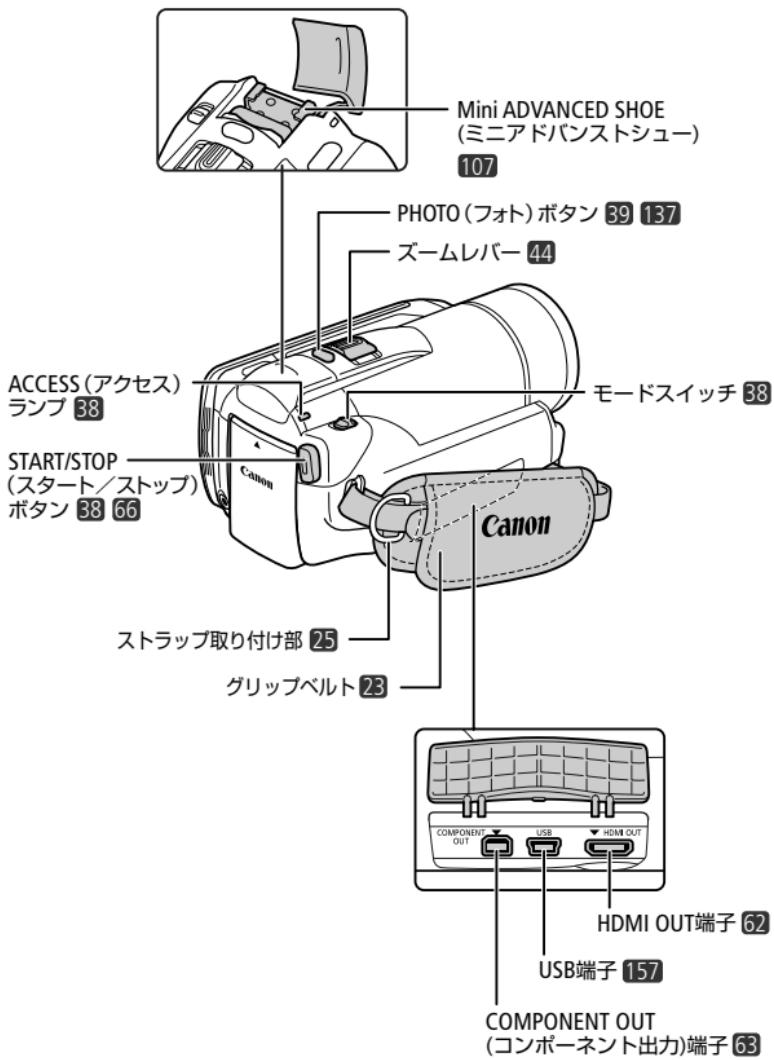
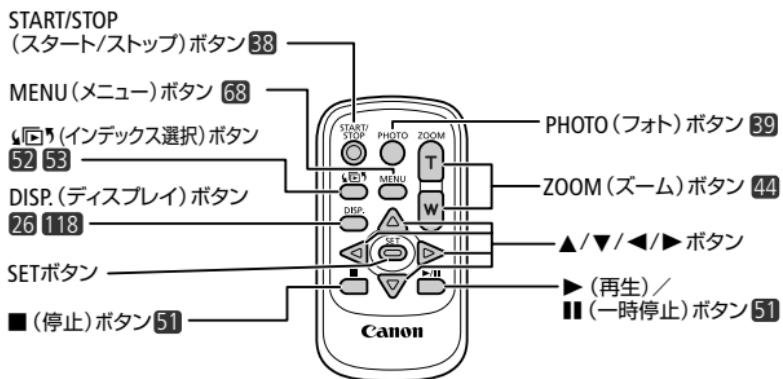
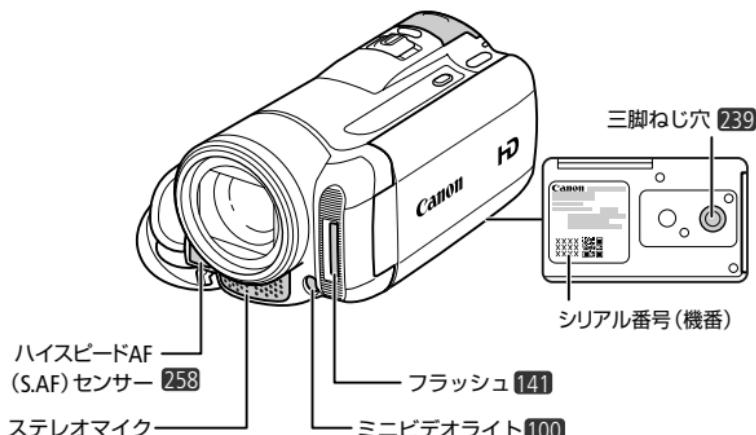
必ず「ためし撮り」しましょう
大切な映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません
ビデオカメラ、カードなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権に注意しましょう
本機で録画・録音したビデオや作成した音楽付き著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面について
液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

各部のなまえ

本文中に出てくる名称です。 ■ 内の数字は参照ページです。

Mini ADVANCED SHOE
(ミニアドバンストシュー)
107
PHOTO（フォト）ボタン 39 137
ズームレバー 44
ACCESS（アクセス）
ランプ 38
モードスイッチ 38
START/STOP
（スタート／ストップ）
ボタン 38 66
Canon
ストラップ取り付け部 25
グリップベルト 23
COMPONENT OUT
USB
HDMI OUT
HDMI OUT端子 62
USB端子 157
COMPONENT OUT
(コンポーネント出力)端子 63

三脚ねじ穴 239
シリアル番号（機番）
ハイスピードAF（S.AF）センサー 258
フラッシュ 141
ステレオマイク
ミニビデオライト 100
Canon
HD

START/STOP（スタート/ストップ）ボタン 38
MENU（メニュー）ボタン 68
（インデックス選択）ボタン 52 53
DISP.（ディスプレイ）ボタン 26 118
SETボタン
■（停止）ボタン 51
PHOTO（フォト）ボタン 39
ZOOM（ズーム）ボタン 44
▲/▼/◀/▶ボタン
▶（再生）／
❚❚（一時停止）ボタン 51
START/ STOP
PHOTO
ZOOM
T
W
MENU
DISP.
SET
Canon

Chapter 1 準備する

Getting Started

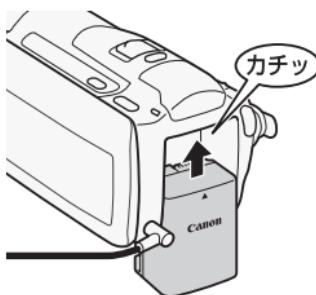
基本

応用

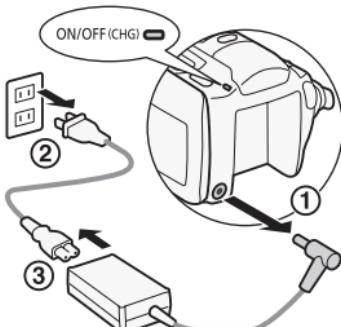
バッテリーを充電する

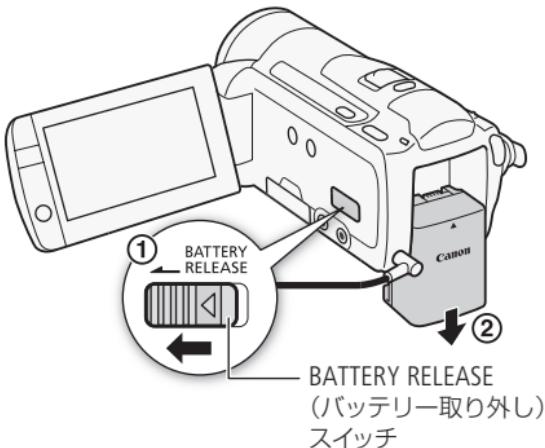
はじめてお使いになるときは、バッテリーを充電しましょう。

1 コンセントにつなぐ

2 バッテリーを取り付ける

3 電源OFFで充電開始

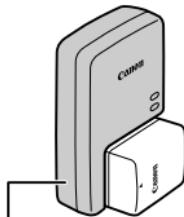
1秒に1回赤く点滅
他のパターンで点滅しているときは､｢故障かな？｣の｢表示やランプ｣(208)をご覧ください。

4 点滅→消灯で充電おわり

バッテリーを取り外すとき

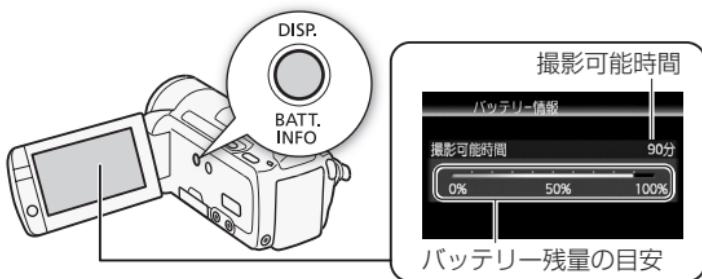
バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押して取り外す。

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 10 ℃～30º Cの場所で充電することをおすすめします。0 ℃未満、40 ℃を超える場所では充電できません。

MEMO

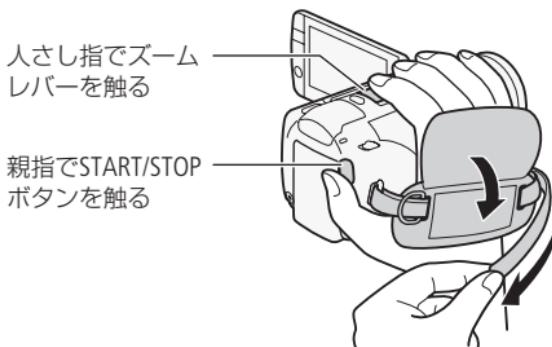
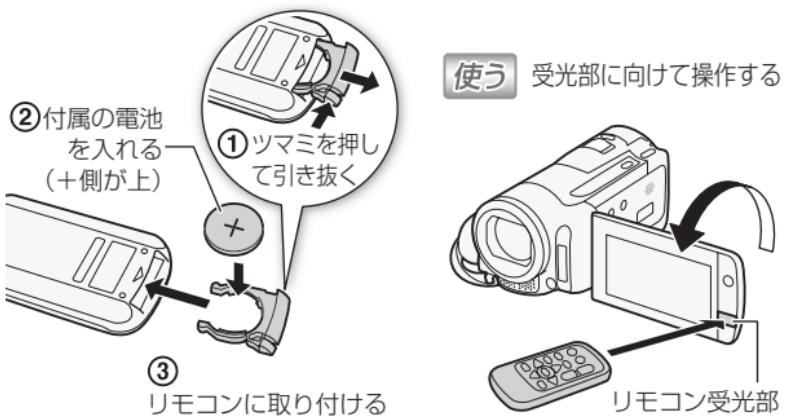
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は280～281ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。

- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- 付属のバッテリーBP-808の充電時間は約150分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャーCG-800を使うと約105分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、239ページをご覧ください。

バッテリーチャージャー
CG-800（別売）

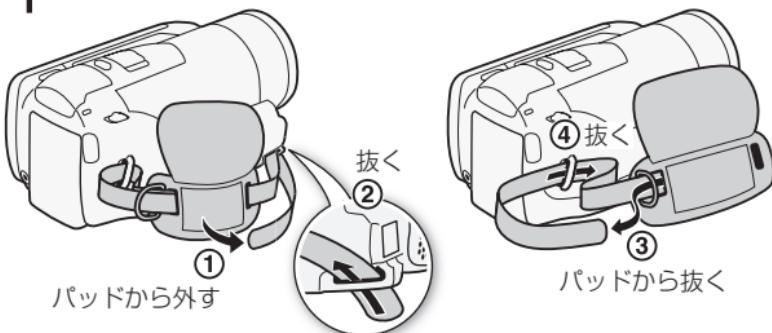
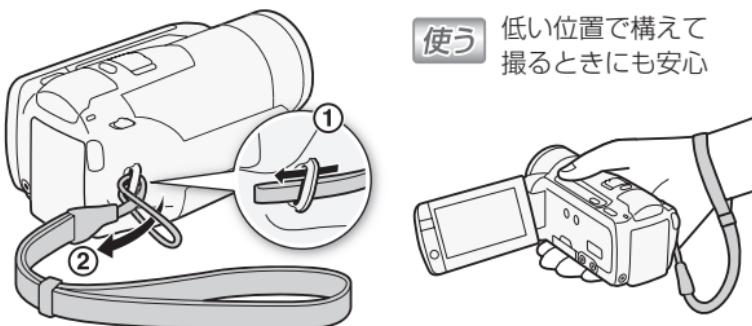
POINT バッテリーの残量を確認するには

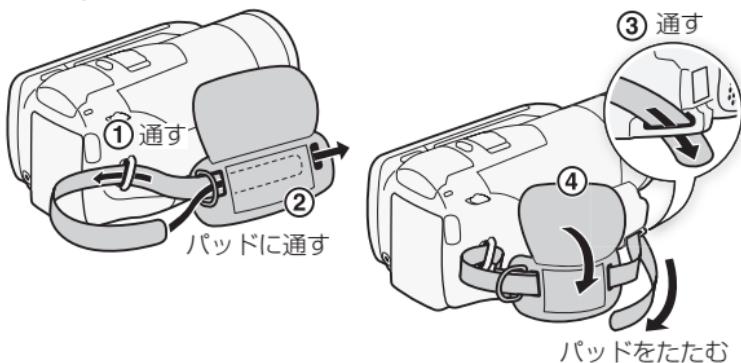
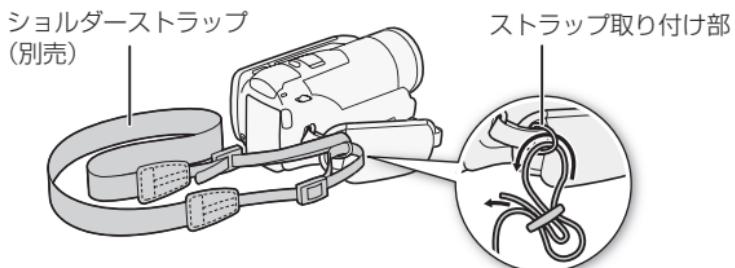
電源OFFのときにBATT. INFOボタンを押すと、バッテリーの残量と撮影可能時間が5秒間表示されます。ただしバッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

付属品を準備する

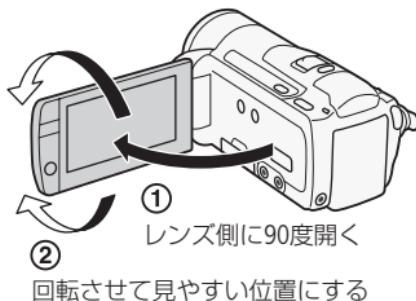
グリップベルトやストラップの調整をしましょう。

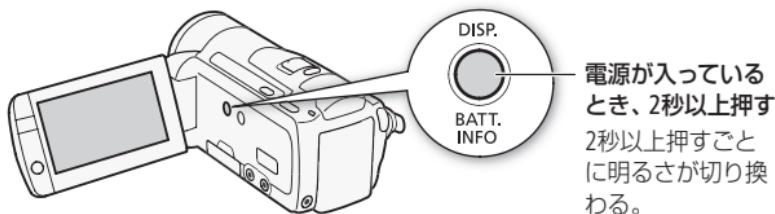
■ グリップベルトを調整する

■ リモコンを準備する

MEMO
- リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

■ リストストラップ(別売)を取り付ける

1 グリップベルトを外す

2 リストストラップを取り付ける

グリップベルトのストラップ取り付け部に取り付けることもできる。

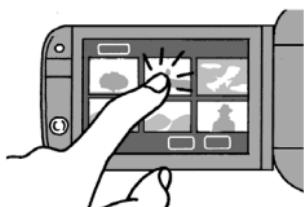
低い位置で構えて撮るときにも安心

■ ショルダーストラップ（別売）を取り付ける

液晶画面を調整する

■ 位置を調節する

■ 画面の明るさを調節する

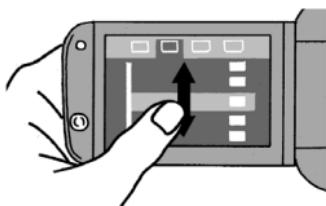
画面の明るさを2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。

- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 画面の明るさはメニューの「液晶明るさ調整」で細かく調整できます。また、「バックライト低輝度」で画面をより暗くできます（□268）。
- 液晶画面の取り扱いについては238ページを、お手入れについては245ページをご覧ください。

タッチパネルで操作する

液晶画面（タッチパネル）を直接タッチして直感的に操作できます。タッチパネルでの操作には、指で液晶画面を押すタッチ操作と、タッチしたまま指を上下や左右に動かすドラッグ操作があります。

タッチ

画面に表示される項目やボタンなどを指で押します。

- シーン（動画）の再生、項目の選択などに使います。

ドラッグ

画面を押したまま上下または左右に指を移動します。

- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。

- **タッチパネルは圧力を感知するタイプです。確実にタッチしてください。**
- 次の場合は正常に動作しないことがあります。
  - 爪先やボールペンなどで操作をしたとき。
  - ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
  - 強く押したまま擦る操作をしたとき。
  - 市販の保護シートやシールなどを貼った上から操作したとき。

時計を合わせる ビデオ 写真

時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所セットできます。海外旅行先の日時を指定しておくと、現地時間で記録できます(□248)。

撮る 見る　モードスイッチ * M　タッチパネル

* はじめて使うときのみ、でも操作できます。

POWER

1 ONにする

はじめて使うとき

自動的に操作4の画面が出るので、❷〜❸の操作をして終了。

FUNC.

2 撮るモードのとき タッチする

- 画面上の FUNC. をタッチする。

見るモードのとき 操作3へ進む

MENU

3 地域を選ぶ

❶ MENU(メニュー)→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「エリア/サマータイム」をオレンジ色のバーに合わせ、▶をタッチする。

❸ ▲/▼ をタッチして「トウキョウ」を選ぶ→ をタッチする。

4 日時を設定する

❶ 上下にドラッグして、「日付/時刻」をタッチする。

❷ 項目（年月日時分）をタッチし、[▲]/[▼]をタッチして設定する。

- この操作を繰り返して日時を設定する。

❸ 必要に応じて、日時スタイルを設定する。

- 使用したいスタイルをタッチして選ぶ。

❹ 「OK」をタッチする。

5 タッチする

● 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（□242）。

カードを入れる

動画や静止画をメモリーカードに記録できます(下表)。SDスピードクラス4、6、10のカードの使用をおすすめします。

	容量	SDスピードクラス	動画記録
SDメモリーカード	64MB以下	—	—
	128MB以上	—	○*
		CLASS 2 CLASS 4 CLASS 6 CLASS 10	○
SDHCメモリーカード	2GB超	CLASS 2 CLASS 4 CLASS 6 CLASS 10	○
SDXCメモリーカード	32GB超	CLASS 4 CLASS 6 CLASS 10	○

* カードによっては記録できないことがあります。

動画記録時の動作確認済みメモリーカード

SDメモリーカードとSDHCメモリーカードは、Panasonic、TOSHIBA、SanDiskの各社製品(2010年5月現在)。SDXCメモリーカードはPanasonicおよびTOSHIBAの各社製品(2010年5月現在)。

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

- SDXCメモリーカードはWindows 7で動作確認をしています(2010年5月現在)。SDXCメモリーカードに対応していないOSでお使いになると、初期化するようにメッセージが表示されることがあります。**初期化をするとデータが失われますので、キャンセルしてください。**

- パソコンのOS対応状況などについての詳細は、必ずメーカーが提供する情報を確認し、それに従ってください。
- カードリーダー/ライター、またはAVCHD対応のレコーダーなどを使う場合は、SDXCメモリーカード対応のものをご使用ください。
- SDXCメモリーカードに記録したデータは、DVDライターDW-100（別売）を接続してDVDを作成することはできません。DVDライターでDVDを作成したい場合は、ビデオカメラの内蔵メモリーか、SDHCメモリーカードに記録してください。なお、SDXCメモリーカードのデータを選んで、DVDライターと接続すると正しく動作しません。本機からUSBケーブルを抜き、DVDライターの電源を切ってください。
- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画を保存してから、本機でカードを初期化してください。

Eye-Fiカードをお使いになるときは

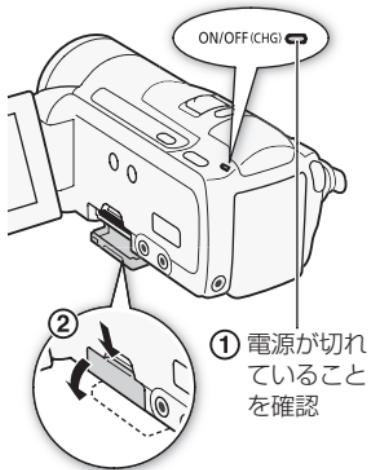
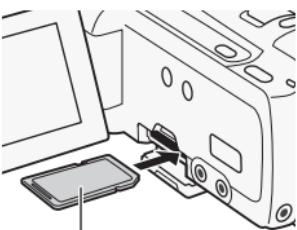
弊社は、Eye-Fiカードの機能（無線送信を含む）については保証いたしかねます。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

SDスピードクラスとは？

メモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。ご購入の際は、スピードクラスのマークを確認してください。

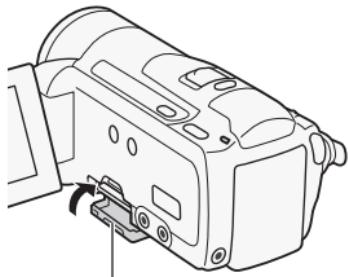
■ カードを入れる

はじめて使用するときは、まず初期化（□35）。

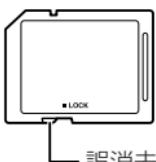
1 カバーを開ける

2 カードをまっすぐ入れる

ラベル面を上に。間違えると不具合の原因。

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

3 カバーを閉じる

カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

記録メモリーを準備する ビデオ 写真

動画や静止画を内蔵メモリーまたはカードに記録できます。

■ 記録メモリーを選ぶ

動画や静止画の記録先を選択します。

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 動画または静止画の記録先を選ぶ

❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「動画記録」または「静止画記録」をタッチする。

❸ （内蔵メモリー）または （カード）をタッチする。

動画撮影可能時間/静止画記録可能枚数の目安*

* 現在設定している動画の録画モードや静止画の画質/サイズをもとに算出。

- Eye-Fiカードを使用する場合は、事前に「Eye-Fiカードをお使いになるときは」（□31）を確認してください。

3 タッチする

- 撮影した動画を本機で変換して、標準画質のDVDを作成したりWebアップロードを行ったりするときは、動画の記録先を内蔵メモリーに設定して撮影してください。

■ 長時間連続して撮影する（リレー記録）

動画の場合、内蔵メモリーがいっぱいになったら自動的にカードに記録できます。

撮る 見る　モードスイッチ M　タッチパネル

1 動画を記録していないカードを入れる（□32）

2 リレー記録を選ぶ

❶ 33ページの操作2 ❷までの操作を行う。

❷ （内蔵メモリー）をタッチする。

❸「リレー記録」をタッチする。

❹ （内蔵メモリー →カード）をタッチする。

3 タッチする

リレー記録が解除される場合

- 電源を切ったとき。
- カードカバーを開けたとき。
- モードスイッチやボタンを操作したり、静止画モードに切り換えたとき。
- 記録先をカードに変更したとき。

■ 初期化する

カードをはじめて使用するときや、内蔵メモリー*やカードに記録した動画/静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

* ご購入時、すぐに撮影できるように内蔵メモリーは初期化されています。また、ビデオスナップなどに使う音楽が入っています。

撮る 見る　モードスイッチ M　タッチパネル

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

FUNC.

2 タッチする

MENU

3 初期化するメモリーを選ぶ

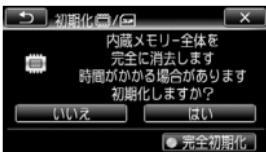
❶ MENU（メニュー）→ → 「初期化 / 」をタッチする。

❷ 「 内蔵メモリー」または「 カード」をタッチする。

4 初期化を選ぶ

❶ 「初期化する」をタッチする。

データを完全に消去するとき

「完全初期化」をタッチする。

❷「はい」→「OK」をタッチする。

完全初期化を中止するとき

「中止」→「OK」をタッチする。メモリーはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

5 タッチする

- 初期化すると、メニューでプロテクト設定をした静止画を含め、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンやDVDなどにバックアップ（📖172、176）してから初期化してください。
- 初期化すると、ビデオスナップなどに使用するために、パソコンから転送した音楽も消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリーに保存されていた音楽は消去されません。
- Eye-Fiカードを使用する場合は、あらかじめカードに付属のソフトウェアをパソコンにインストールしてから初期化してください。初期化すると、カードに保存されているソフトウェアも消去されます。

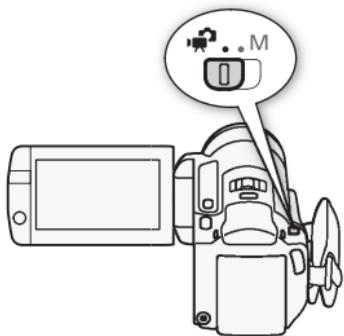
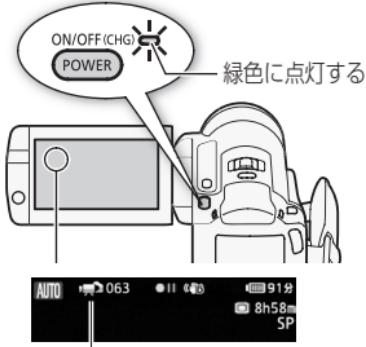
Chapter
2
簡単に撮る

Basic Recording of Movies or Photos

簡単にビデオや写真を撮る

デュアルショット

動画や静止画は内蔵メモリーまたはカードに記録できます。

1 にする

2 ONにする

が表示される。

- カードに記録するとき（33）。
- Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（42）を確認してください。

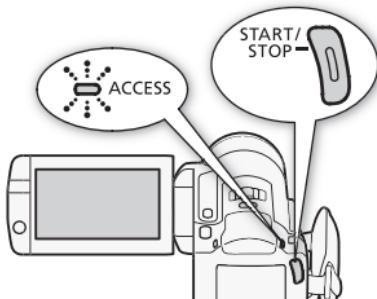
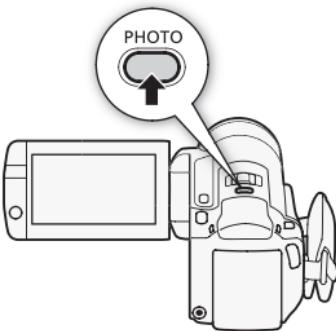
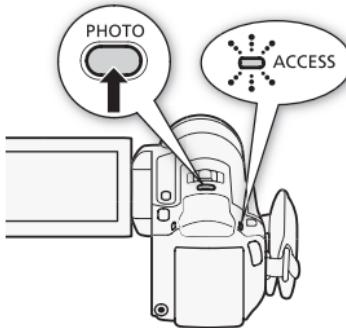
3 動画を撮るとき

押す ▶ 撮影開始！

静止画を撮るとき

❶ 浅く押し続ける

● ピントを調整し、終わると画面の◉が緑色になって緑色の枠が出る。

❷ 深く押す

● ACCESSランプが点滅。

動画の撮影を終えるとき

もう一度、START/STOPボタンを押す。

● 1シーン*の動画が記録され、撮影が一時停止する。

* 本書では、一回の撮影操作で記録された動画を「シーン」と呼びます。

電源を切るとき

1. ACCESSランプが消えていることを確認する。
2. POWERボタンを押す。
3. 液晶画面を垂直にしてから閉じる。

POINT デュアルショットとは

撮影時の設定はビデオカメラにすべておまかせ。気軽に動画や静止画を撮影できます。このモードでは、ズーム（□44）、クイックスタート（□47）、ビデオスナップ（□84）の他、以下の機能が使えます。設定を手動で変更するときは「マニュアルモード」（□66、137）を使用します。

進化した手ブレ補正（□77）

歩きながら撮ったときの手ブレもダイナミックモードで補正。手ブレが起きやすい望遠撮影も、POWERED IS（パワードIS）ボタンを押せば、安定した映像が撮れます。

フェイスキャッチ＆追尾（□81）

人物の顔を自動で検出してピントや明るさを合わせます。被写体が動いても、自動的に追いかけます。

タッチ追尾（□83）

画面上の被写体をタッチすると、タッチした被写体にピントや明るさを合わせます。被写体が動いても自動的に追いかけます。追尾をやめるときは「解除」をタッチします。

おまかせでキレイに撮れる「こだわりオート」

デュアルショットでは、ビデオカメラが被写体や撮影状況を判別して、シーンに最適な設定にするため、カメラまかせの全自動撮影ができます。

POINT こだわりオートの自動設定機能とは

ビデオカメラはシーンに応じて、ピント合わせや被写体の明るさ、色合い、手ブレ補正、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面に次のようなマークが出ます。

背景 / 被写体	明るい（灰色）	青空（水色）	鮮やかな色（緑/黄/赤色）	夕景（オレンジ色）
静止した人物	（ ）	（ ）	（ ）	－
動いている人物	（ ）	（ ）	（ ）	－
風景など、人物以外の被写体	AUTO （ ）	AUTO （ ）	AUTO （ ）	
近くの被写体	（ ）	（ ）	（ ）	－

*（　）は逆光下の場合。

背景 / 被写体	暗い（紺色）		
		スポットライト	夜景
静止した人物		－	－
動いている人物		－	－
風景など、人物以外の被写体	AUTO		
近くの被写体		－	－

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - モードスイッチを切り換えない。
  - 🎥⇆▶ボタンを押さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください（📖172）。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。
- Eye-Fiカードを記録先に設定して静止画を記録すると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（📖199）。

- バッテリーを使っているときに、約5分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます（□269）。このときは電源を入れ直してください。
- 液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節してください（□268）。

静止画のとき

- ■ 被写体に自動でピントが合いにくいときは、画面の◉が黄色くなります。静止画モードに切り換えて、手動でピントを調整してください（□93）。
- ■ 被写体が明るすぎると「露出オーバー」が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-H37UのNDフィルターを取り付けてください。

「こだわりオート」のシーン判別について

シーンによっては、実際のシーンと異なるマークが出ることがあります。特に背景がオレンジ色や青色の壁などのときは、🌅や「青空」のマーク類が出て、適切な色合いで撮影できないことがあります。そのときは**M**（マニュアル）モードで撮影することをおすすめします。

- デュアルショットでは、次の項目を除いてメニューの設定内容はご購入時の設定になります。
  - ■ 「AFモード」、「オートスローシャッター」、「ビデオスナップ記録時間」、「動画記録」、「録画モード」、「静止画記録」、「静止画画質・サイズ」、「静止画同時記録」、「パワードISボタン」
  - ■ 「[🔧] システム設定」の全項目

拡大して撮る ビデオ 写真

ズーム

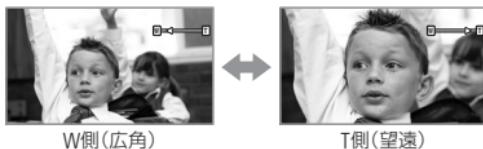
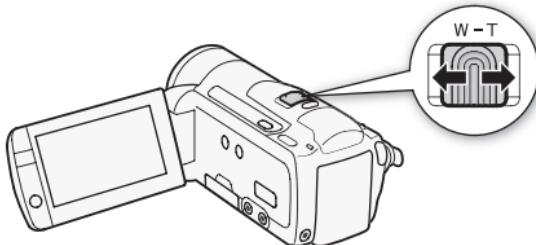
ズームは、ズームレバーまたは画面上のズームボタンで操作します。光学ズームで15倍*1まで拡大でき、デジタルズーム*2を使うと300倍まで拡大できます（□257）。

*1 FUNC. メニューの「手ブレ補正」を「ダイナミック」にしているときは、18倍（動画モードのみ）。

*2 デジタルズームは（デュアルショットモード）と（静止画モード）では使えません。

■ ズームレバーで操作する

ズームレバーを**T**側に押すと拡大し、**W**側に押すと元の大きさに戻ります。

W側（広角）　T側（望遠）

■ 画面のズームボタンで操作する

FUNC.

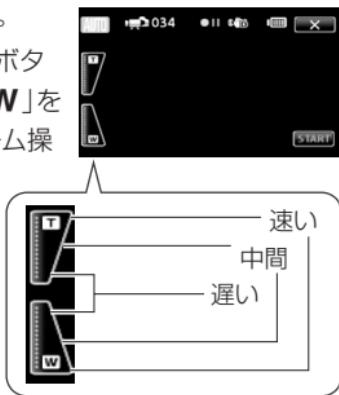
1 タッチする

- デュアルショットモードのときは、この操作は不要。

2 ズームを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、「ZOOM」（ズーム）をタッチする。

- ズーム画面が出る。

❷ 画面上のズームボタン「**T**」または「**W**」をタッチして、ズーム操作をする。

- ズームのスピードは、タッチする場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べる。

×

3 タッチする

被写体との距離について

- ズーム撮影をするときは被写体から1m以上離れてください。
- ズームレバーを**W**側に押して最も広角にすると、約1cmまで近づいて撮影できます。

ズームスピードについて

- ご購入時の設定では、ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします（可変速）。
- メニューの「ズームスピード」（□256）で、「スピード3」（速い）～「スピード1」（遅い）の固定速を選ぶこともできます。
- リモコンのズームボタンで操作すると固定速になります。ズームスピードを「可変速」に設定しているときは、「スピード3」（速い）になります。

- 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります（ただし、「ズームスピード」を「可変速」に設定したときのみ）。また撮影一時停止中にプレREC（□79）を「ON」にしていると遅くなります。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V2に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（□278）をご覧ください。

すばやく撮影をはじめる ビデオ 写真

クイックスタート

液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*2で撮影可能な状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

*1 バッテリーの消耗は撮影時の約1/3です。

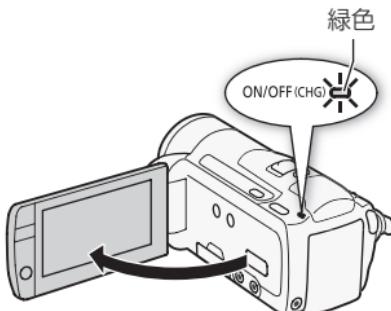
*2 撮影可能な状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

モードスイッチ M　タッチパネル

1. スタンバイする

- 液晶画面を閉じる→電源ランプがオレンジ色に点灯してスタンバイ状態になる。

2. クイックスタートする

- 液晶画面を開く→電源ランプが緑色に点灯して撮影できる状態になる。

● **スタンバイ中は電源を取り外さないでください。**

スタンバイ状態にならない場合

■ ACCESSランプ点滅中。
■ メニュー表示中。

次のときはスタンバイ状態にならないことがあります。必ず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。

■ カードカバーが開いているとき。
■ バッテリー残量が少ないとき。

スタンバイ中の電源OFFについて

■ スタンバイ後10分経過すると、節電のため自動的に電源が切れます。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。
■ 電源OFFまでの時間は、「パワーセーブ」メニューの「クイックスタートスタンバイ」で選べます（□269）。
■ スタンバイ中、通常の「オートパワーオフ」（□269）は無効になります。

● メニューの「パワーセーブ」で「クイックスタートスタンバイ」を「切」にすることで、クイックスタート機能を無効にすることもできます。
● スタンバイ中にモードスイッチを切り換えると、切り換えたモードで起動します。

Chapter 3 ビデオ

Recording and Playing Back Movies

ビデオを見る

撮った動画を液晶画面で見ます。

1 押す

2 タッチする

3 見たいシーンを探す

- 左右にドラッグした後、数秒間出る。つまみをドラッグしてスクロールする。

4 シーンをタッチする ▶ 再生開始！

- 画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。もう一度タッチすると消える。

- タッチしたシーンの再生が終わると、次のシーンが再生される。

画面の表示を消す／切り換える
DISP.ボタンを押すたびに切り換わる（118）。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - モードスイッチを切り換えない。
  - ボタンを押さない。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。

■ インデックス画面の一覧表示数を変える

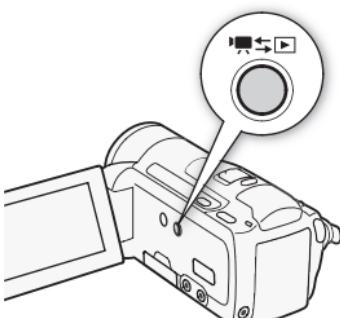
インデックス画面の一覧表示数を切り換えられます。ズームレバーを**W** 側に押すと15表示、**T**側に押すと6表示となります。

15表示

6表示

POINT 撮影と再生を切り換える（撮る／見る）ボタン

（撮る／見る）ボタンを押すと、撮影（撮るモード）と再生（見るモード）を切り換えられます。また、電源OFFのときに押すと、再生画面で起動します。

リモコン（18）の（インデックス選択）ボタンを2秒以上押しても、撮影と再生を切り換えられます。

メモリーと表示内容を切り換える

インデックス選択

インデックス画面では、表示するメモリー(内蔵メモリー/カード)とそれぞれの表示内容を切り換えることができます。また、1つの画面に表示するシーンや静止画の数を変えたり、撮影した動画を日付ごとに並べて表示したりすることもできます。

■ 表示するメモリーと内容を切り換える

1 タッチする

2 メモリーと表示内容を選ぶ

❶ (内蔵メモリー)または (カード)をタッチする。
❷ 表示する内容をタッチする。

ボタン	表示する内容
オリジナル	撮影した元の動画。
プレイリスト	プレイリストに登録した動画。
3Dビュー	撮影した元の動画。撮影日付ごとの3D表示。
静止画	静止画。
Web / DVD*	標準画質に変換した動画。Webアップロード用またはDVDライター用がある。
ビデオスナップ	撮影・作成したビデオスナップまたはプレイリストに登録したビデオスナップ。

* ❶で (カード)を選んだときのみ。

「'ᴾᴾWeb / DVD」を選んだとき

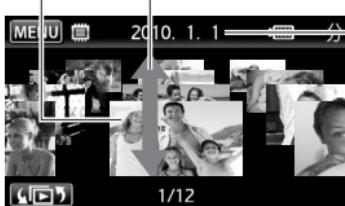
「🌐Web用(MPEG2)」または「⊘DVD用(SD-VIDEO)」をタッチする。

「ビデオスナップ」を選んだとき

「'ᴾ̥オリジナル」または「▦プレイリスト」をタッチする。

- 「Web用」または「DVD用」のシーンは、再生と停止のみ行えます。早送り/早戻しやスロー再生などはできません。

■ 3Dビュー(撮影日付)からシーンを選ぶ

3Dビューでは、撮影日付が同じシーンを立体的に重ねて表示できるので、見たいシーンを確認しながら探すことができます。シーンは、オリジナル(撮影した元の動画)の中から選ばれます。

見たいシーンを選ぶ

絞り込み

顔が検出されたシーンや特定の日に撮影したシーンだけをインデックス画面に表示して、見たいシーンを選ぶことができます。絞り込みをせずに、すべてのシーンを表示させて選ぶこともできます。

撮る **見る**

■ 顔が検出されたシーンを表示する

フェイスキャッチ機能（81）を使って撮ったシーンから、顔が検出されたシーンだけをインデックス画面に表示できます。オリジナルの動画のときのみ、この方法で選べます。

1 「全シーン」をタッチする

2 「顔」をタッチする

- 「顔」が出る。
- 顔が検出されたシーンだけが表示される。

■ 指定した撮影日のシーンを表示する

1 「全シーン」をタッチする

2 「日付」をタッチする

3 撮影日をタッチする

- シーンが撮影されている日は、白背景の黒文字で表示される。
- ［◀］または［▶］をタッチすると、撮影されたシーンがある前または次の月に移動する。

表示中の年月

■ すべてのシーンを表示する

1 タッチする

2 「全シーン」をタッチする

- すべてのシーンが表示される。

- カレンダーの開始曜日は、メニューの「カレンダー指定」で選ぶことができます（□269）。

早送りや早戻しなどをする

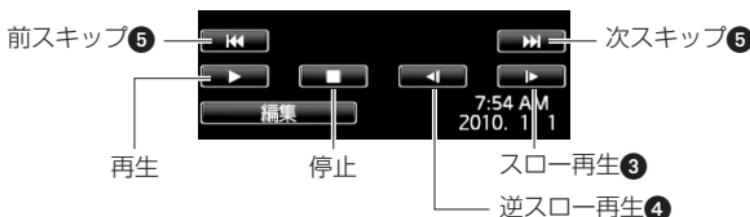
ビデオ
写真

早送りや早戻し、スロー再生、スキップ再生など、さまざまな再生方法があります。

再生中の操作

● 通常再生中にタッチ → 操作ボタンが出る。

● 早送り/早戻し中に（▶）ボタンまたは画面上をタッチ
→ 通常再生

再生一時停止中の操作

● スロー再生/スロー逆再生中に（II）ボタンまたは画面上をタッチ → 一時停止

	機能	操作		説明
❶	早送り*1	再生中に	▶▶	操作するたびに再生速度が5倍→15倍→60倍に切り換わる。*2
❷	早戻し*1	再生中に	◀◀	
❸	スロー再生*1	一時停止中に	❙▶	操作するたびに再生速度が1/8倍→1/4倍に切り換わる。*2
❹	スロー逆再生*1*3	一時停止中に	◀❙	
❺	スキップ再生	再生中／一時停止中に	▶▶❙	次のシーンの先頭から再生。
		再生中／一時停止中に	❙◀◀	現在のシーンの先頭から再生。
		再生中／一時停止中に2回押す	❙◀◀	前のシーンの先頭から再生。

*1 操作中、画面が乱れることがあります。
*2 画面に出る倍速表示は目安です。
*3 連続したコマ戻しのように再生されます。

MEMO ● 操作中は音声が聞こえません。

シーンを消す ビデオ 写真

消去

不要なシーンを複数選んでまとめて消すことができます。特定の日に撮ったシーンだけを消すこともできます。プレイリスト内のシーンを消すときは121ページをご覧ください。

撮る 見る

1 消去するシーンを含むインデックス画面を出す（□53）

特定の日に撮った全シーンを消すとき

絞り込み（□55）で撮影日を指定する。

2 タッチする

3 シーンを選ぶ

❶ 消すシーンをタッチする。

- ☑が付く。

❷ ❶の操作を繰り返して、消すシーンをすべて選ぶ。

シーンをすべて選ぶとき

☑をすべて外して、「全選択」をタッチする。

（編集）

4 シーンを消す

❶ （編集）をタッチする。

❷ 「消去」→「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部のシーンは消去される。

❸ 「OK」をタッチする。

- **一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください（📖172）。
- シーン消去中、ACCESSランプが点灯しているときは、次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - モードスイッチを切り換えない。

- プレイリストに追加されているシーンを消すと、プレイリスト上のシーンも消去されます。
- メモリーに記録されているすべてのシーンを消して容量を元に戻す場合は、初期化します（📖35）。

テレビで見る ビデオ 写真

テレビで再生すると、より大きな画面で鑑賞できます。ハイビジョンテレビにつないで美しい映像をお楽しみください。

1 テレビの端子をチェックし、接続方法を決める

2 本機とテレビの電源を切る

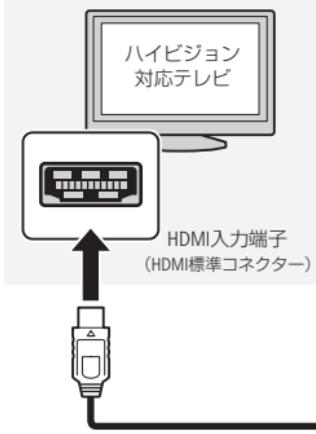
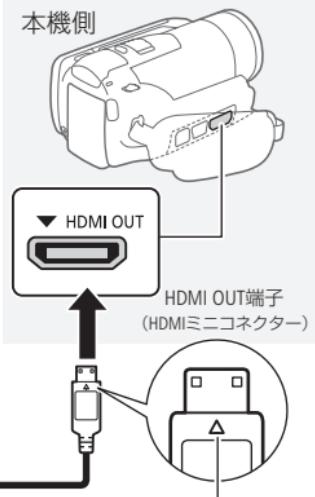
3 ケーブルを使ってテレビと接続する

次ページ

4 本機とテレビの電源を入れる
- テレビ側で入力端子を切り換える

5 再生する
動画を見るとき（📖 50）／静止画を見るとき（📖 132）

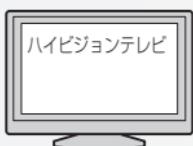
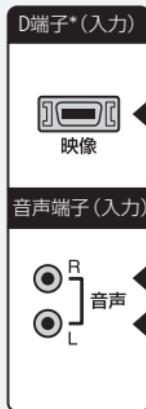
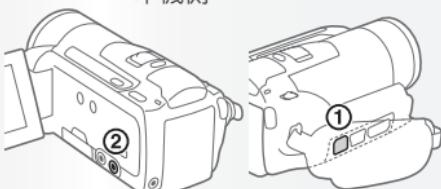
ハイビジョン画質で見る

HDMI端子に接続する

（HDMI OUT端子）に接続するときの注意

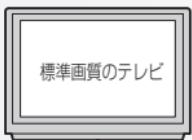
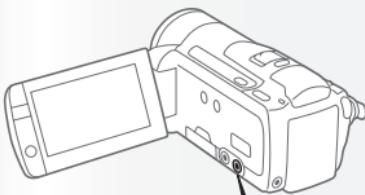
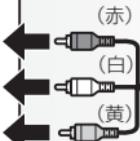
- この端子は出力専用です。他機の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- この端子で接続しているときは、他の端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、BまたはCの方法で接続してください。

HDMIとは？

1本のケーブルで映像と音声を高品位なデジタル信号のままで送受信できる規格です。本機のHDMI OUT端子では、接続するテレビの解像度に自動的に変換して映像を出力します（□ 270）。

B
ハイビジョン画質で見る
D端子と音声端子に接続する
つなぐ
テレビ側
本機側
ハイビジョンテレビ
①
②
D端子*（入力）
映像
音声端子（入力）
R
音声
L
D端子ケーブル
DTC-100/S（付属）
△を▲に
合わせて
つなぐ
（赤）
（白）
（黄）
ステレオビデオケーブル
STV-250N（付属）
①COMPONENT OUT端子
②AV OUT端子
AV OUT /
*D3端子／D4端子／D5端子につなぎます。D1端子／D2端子では見られません。
設定する
メニューの「AV/ヘッドホン」（□266）を「AV」に設定する。

標準画質で見る

C 映像／音声端子に接続する

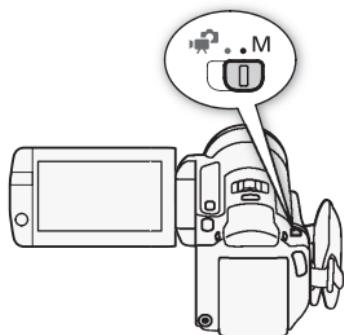
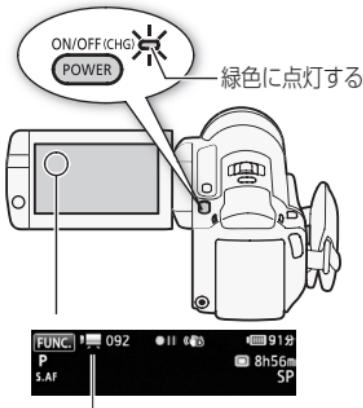
つなぐ

設定する

1 ワイド（16:9）モードのない標準画質のテレビ（4:3）につなぐときは、メニューの「テレビタイプ」（□261）を「ノーマルテレビ」に設定する。
2 メニューの「AV/ヘッドホン」（□266）を「AV」に設定する。

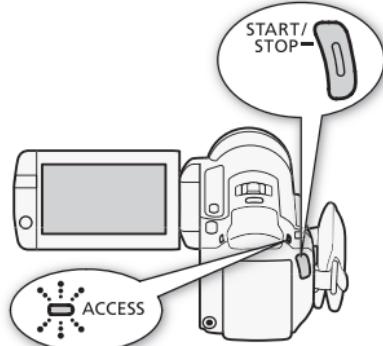
- メニューの「x.v.Color」を「入」にして撮影した動画を、x.v.Color対応のテレビで見るときは、テレビ側の設定が必要になることがあります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- テレビで見るときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- AV OUT端子にステレオビデオケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- 接続方法 C でつなぐ場合、テレビがビデオID-1方式に対応していると、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側で切り換えてください。

自分で設定してビデオを撮る

さまざまな設定を手動で行って本格的に撮影できます。

1 Mにする

2 ONにする

が表示される

- カードに記録するとき(□33)。

3 押す ▶ 撮影開始!

POINT Mマニュアルモードとデュアルショット

本機には、手動でいろいろな調整を行って撮影できるマニュアルモードと、ビデオカメラにおまかせで動画・静止画を撮影できるデュアルショット（□38）があります。

本格的な撮影に「マニュアルモード」

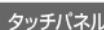
撮影シーンに合わせて、露出・ピントなどを調整したり、メニューからさまざまな設定を変更したりできます。ビデオカメラの機能を使いこなして、本格的な撮影をお楽しみいただけます。動画は「動画モード」に、静止画は「静止画モード」に切り換えて撮影します。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - モードスイッチを切り換えない。
  - 動画/再生ボタンを押さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください（□172）。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

液晶画面を閉じて撮影する

ピアノの発表会を撮るときなど、三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、液晶画面を閉じて撮影するとバッテリーの持ちが良くなります。メニューの「パワーセーブ」で「クイックスタートスタンバイ」を「切」にします（□269）。

メニューの設定を変える ビデオ 写真

本機のさまざまな機能の設定を、ご購入時の状態からメニューで変更できます。モードスイッチを、**M**(マニュアル)にして操作します。モードスイッチを にすると、一部の機能を除いてご購入時の設定になります。

例 「おしらせ音」を「切」に設定する

FUNC.

1 タッチする

- 見るモードのときは、この操作は不要。

MENU

2 項目を選ぶ

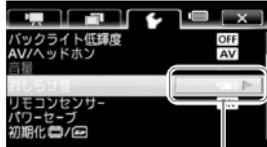
❶ MENU (メニュー)をタッチする。

❷ をタッチする。

3 機能を選ぶ

❶ 上下にドラッグして、「お知らせ音」をオレンジ色のバーに合わせる。

❷ 「お知らせ音」の枠をタッチする。

ビデオ

OFF

4 設定内容を選ぶ

OFF（切）をタッチする。

[×]

5 タッチする

- リモコンでメニューの設定を変えるときは、あらかじめリモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで[FUNC.]を選んでSETボタンを押し、メニューの項目を表示させてから、MENUボタンを押してください。
- [×]をタッチすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

画質を選ぶ ビデオ 写真

録画モード

録画モードには MXP 、FXP 、XP+ 、SP 、LP の5種類があります。高画質で撮影したいときはMXPまたはFXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

POINT 録画時間の目安

録画モード	MXP *1	FXP *1	XP+	SP	LP
内蔵メモリー（64GB）*2	5時間55分	8時間20分	11時間30分	19時間10分	24時間30分
4GBカード	20分	30分	40分	1時間10分	1時間30分
8GBカード	40分	1時間	1時間25分	2時間20分	3時間
16GBカード	1時間25分	2時間5分	2時間50分	4時間45分	6時間5分
32GBカード	2時間55分	4時間10分	5時間45分	9時間35分	12時間15分

1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に一時停止し、約3秒後に再び記録が開始されます。なお、記録される映像は、別々のシーンになります。

*1 水平1920×垂直1080画素で記録されます。他の録画モードでは1440×1080画素で記録されます。

*2 ご購入時、内蔵メモリーには約75 MBの音楽データが保存されています。

- MXPモードで撮影した動画は、別売のDVDライターDW-100を使ってディスクに保存できません。付属のソフトウェアImageMixer 3を使って保存してください。
- 録画時間は撮影するシーンによって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているためです。
- デュアルショットに切り換えても設定した録画モードは変わりません。

場面に合わせて撮る

ビデオ 写真

シーンモード

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

FUNC.

1 タッチする

P

2 撮影モードを選ぶ

❶ P（撮影モード）→（ポートレート）をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、いずれかをタッチする。

×

3 タッチする

POINT 「場面に合わせて撮るとき」に選べる項目

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

スポーツ

動きの速い被写体を撮る。

夜景

夜景をきれいに撮る。

スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。

ローライト

暗い場所で被写体を明るく撮る。

スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。

打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。

水中

水中で自然な色合いで撮る。

水上

ダイビングのときに水上で撮る。

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームレバーを**T**側にすると、より効果的に背景がぼけます。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

ビデオ

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください（📖93）。

打上げ花火について

- 手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
- 静止画撮影中は、シャッタースピードが遅くなるため、三脚などで固定してください。

水中、水上について

- 本機を別売のウォータープルーフケースWP-V2に入れて撮影するときに使用します。
- 水中モードは、状況が様々に変化する水中*専用の撮影モードです。水上で撮影するときや照明器具を使って撮影するときは、水上モードの使用をおすすめします。
- PHOTOボタンを押しながら電源を入れると、ケースに入れたまま水中モードと水上モードを切り換えられます。
- 本機が高温になると画面にが出ることがあります。そのときは本機の電源を切ってケースから出し、涼しい場所で冷ましてください。さらに高温になると、電源が自動的に切れることがあります。
- 水中モードに設定して水中で撮影するとき、画面の映像が赤味がかることがありますが、記録される映像の色合いには影響しません。
- ウォータープルーフケースにワイドコンバーターなど市販のアクセサリーを取り付けると、アクセサリー内部にピントが合うことがあります。その場合は、ズームレバーをT側に押すと、被写体にピントを合わせられます。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V2に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」(□278)をご覧ください。

* 水中は、天気や水の状態、水深などによって状況が様々に変化する特殊な環境です。また、光の赤色成分が水に吸収されるため、青と緑が強く見えます。

映画のように撮る ビデオ 写真

シネマエフェクト

シネマエフェクトを使用すると、映画のような雰囲気の映像を撮影できます。

FUNC.

1 タッチする

P / ⊏⊐ / ×

2 シネマモードを選ぶ

❶ P（撮影モード）→ ⊏⊐（シネマモード）をタッチする。

❷ × をタッチする。

FUNC. / MENU / PF24

3 動画の場合 フレームレートをPF24にする

❶ FUNC. → MENU（メニュー）→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「フレームレート」をタッチする。

❸ PF24 をタッチする。

×

4 タッチする

手ブレをおさえて撮る

ビデオ
写真

手ブレ補正

手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。撮影のしかたによって補正方式を選べます。

撮る 見る | モードスイッチ M | タッチパネル

FUNC.

1 タッチする

2 手ブレ補正を選ぶ

❶ 上下にドラッグして、（手ブレ補正）をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

058 ダイナミック スタンダード 切

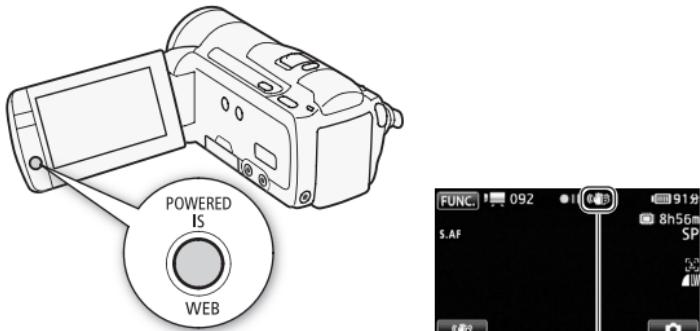
ダイナミック	歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。
スタンダード	静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを使うときはこの設定にする。
切	三脚などを使って撮影するとき。

- 静止画モードのときは「入」と「切」になります。
- 動画モードで「スタンダード」または「切」にすると、望遠撮影時の撮影範囲が若干変わります。

×

3 タッチする

望遠撮影時の手ブレを、さらにおさえて撮影する（パワードIS）

パワードISを使うと、手ブレ補正を強化することができます。静止して撮影するときに、ズームを望遠側にするほど効果的です。液晶画面に左手をそえると、より安定して撮影できます。

POWERED IS（パワードIS）ボタン*を押し続ける。

- 画面に が出る。

* 操作のしかたは、メニューの「パワードISボタン」で選べます（260）。

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 静止画撮影のときは、パワードISを使用できません。
- カメラを左右や上下に動かして撮るときは、手ブレ補正を「ダイナミック」または「スタンダード」にすることをおすすめします。

撮影チャンスを逃さない ビデオ 写真

プレREC

3秒前からの映像が自動的に記録され、決定的瞬間を逃しません。

FUNC.

1 タッチする

ON

×

2 プレRECを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、(プレREC)→ ON (入)をタッチする。

❷ × をタッチする。

解除するとき

❶で OFF (切)をタッチする。

3 押す

- ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。

MEMO

- プレRECを「ON」にしていると、おしらせ音は出ません。
- プレRECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。

プレRECが解除される場合

- プレRECを設定した後、約5分間操作しなかったとき。
- モードスイッチや🎥⇆▶ボタンを操作したり、静止画モードに切り換えたとき。
- ビデオスナップモードをONにしたとき。
- 液晶画面を閉じて、スタンバイ状態にしたとき（📖47）。
- メニューや、FUNC. メニュー（「撮影モード」、「AGCリミット」、「ホワイトバランス」、「デジタルエフェクト」、「手ブレ補正」）の操作をしたとき。

顔を検出してきれいに撮る ビデオ 写真

フェイスキャッチ＆追尾

人物の顔を検出して、自動でピントや明るさを合わせます。複数の人物から、特定の人をねらって撮影することもできます。

FUNC.

1 タッチする

MENU
ON
×

2 フェイスキャッチ＆追尾を選ぶ

❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「フェイスキャッチ＆追尾」をタッチする。

ズームスピード VAR
AFモード S.AF
フォーカスアシスト ON
フェイスキャッチ&追尾 ON
自動逆光補正 ON
オートスローシャッター ON
画質効果 OFF

❸ ON（入）→ × をタッチする。

解除するとき ❸で OFF（切）をタッチする。

3 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

複数の人物から特定の人を選ぶとき

特定の人物の顔をタッチする。

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合はフェイスキャッチ＆追尾を「OFF」にしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して、極端に小さいまたは大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ＆追尾が使用できない場合

- FUNC.メニューの撮影モードを「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」または「水中」に設定しているとき。
- シャッタースピードを1/30秒未満にしているとき（メニューの「フレームレート」を「PF24」にしているときは、1/24秒未満）。
- デジタルズームで60倍を超えて拡大（青色のズーム表示）しているとき。

- フェイスキャッチ＆追尾を「ON」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上に設定されます。また、メニューの「フレームレート」を「PF24」にしているときは、1/24秒以上に設定されます。

ねらった被写体をきれいに撮る

ビデオ 写真

タッチ追尾

被写体が動いてもピントと明るさを合わせながら撮影できます。ペットなど、動いている被写体を確実に撮りたいときに便利です。

1 フェイスキャッチ＆追尾をONにする

81ページの操作1〜2を行う。

2 カメラを被写体に向ける

3 画面上の被写体をタッチする

- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと自動で枠も一緒に動く。

解除するとき 「〔〕解除」をタッチする。

MEMO **タッチ追尾が働かない場合**

- 被写体が大きすぎるとき。
- 被写体の大きさが画面上で非常に小さいとき。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

ビデオスナップを撮る

ビデオ
写真

ビデオスナップモードを使って撮影すると、4秒間*の短い映像（ビデオスナップ）が記録できます。記録されたビデオスナップは、好きな音楽と一緒に再生できます（□114）。

* 記録時間は、メニューの「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒のいずれかに変更できます（□262）。

1 押す

- 画面に青い枠が出る。

START/STOP

2 押す

- 約4秒間撮影し、自動的に撮影が一時停止する。
- 撮影中は青い枠が動き、記録後、シャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。
- ビデオスナップのシーンにはインデックス画面で♪が付く。

- モードスイッチや再生ボタンを操作したり、静止画モードに切り換えると、ビデオスナップモードは解除されます。

ビデオ

場面の切り換えと特殊効果

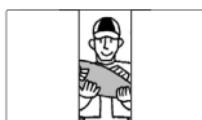
デジタルエフェクト

映像の始まりと終わりを演出するフェーダーや、色を変えるエフェクトを使って、思い出のシーンや静止画にひと工夫加えてみましょう。静止画のときは「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。

フェーダー

シーンの始まりと終わりを映画のように演出します。F1↻オートフェード（毎回）またはF2↻ワイプ（毎回）を使うと、シーンの始まりと終わりに毎回効果を付けることができます。

F1 オートフェード（1回）／F1↻オートフェード（毎回）

F2 ワイプ（1回）／F2↻ワイプ（毎回）

エフェクト

シロクロやセピアにしてノスタルジックな雰囲気を出すことができます。

E1 シロクロ　　E2 セピア

1 タッチする

2 目的の効果を選ぶ

❶ 上にドラッグして、(D.エフェクト)をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

デジタルエフェクトを使わないとき

(切)をタッチする。

❸ ［×］をタッチする。

3 動画の場合 押す

- 撮影一時停止中（●II）にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影中（●）に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影が一時停止する。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。
- 静止画が「シロクロ」または「セピア」で記録される。

フェーダーが使用できない場合

- ビデオスナップモードのとき。
- プレRECが「ON」のとき。

ビデオ

動きの速いものを撮る 背景をぼかして撮る

ビデオ 写真

シャッタースピード／しぼり

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れのような流動感を表現できます。しぼり数値が小さい(開く)と背景をぼかしたポートレートが、しぼり数値が大きい(閉じる)と風景の近くから遠くまでボケを少なくして撮影できます。

FUNC.

1 タッチする

P

2 撮影モードを選ぶ

❶ P(撮影モード)をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

P (プログラムAE)	:シャッタースピードとしぼりが自動で設定される。
Tv (シャッター優先AE)	:シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動で設定される。
Av (絞り優先AE)	:しぼりを自分で選ぶ。シャッタースピードは自動で設定される。

Tv または Av を選んだとき

❸ 左右にドラッグして、好みの数値を選ぶ

3 タッチする

POINT シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「Tv 30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

(動画のとき)	(静止画のとき)	こんなときに使います
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。 水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500秒	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	―	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

動画記録時、メニューの「フレームレート」を「PF24」(263)に設定しているときのシャッタースピードは、1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒です。

ビデオ

Tvのとき

- 暗いところでスローシャッターを使うと、明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 高速シャッターでは、映像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯下で動画を撮影する場合、画面のちらつきがとれないときは、**Tv**を選んでから1/100秒を選んでください。

Avのとき

- しぼり数値

  1.8、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0
- 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。

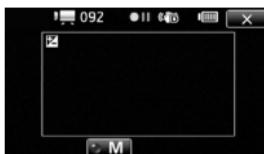
- AEはAutoExposure（オートエクスポージャー）（自動露出）、TvはTime value（タイム バリュー）（時間量）、AvはAperture value（アパーチャー バリュー）（開口量）の略です。
- 数値が点滅するときは、明るさが適正ではありません。点滅しなくなるまで、シャッタースピードを調整してください。
- 撮影モードが**Tv**または**Av**のとき、露出を手動で調整してから、シャッタースピードやしぼりを変更することはできません。あらかじめシャッタースピードやしぼりを設定してから、露出を調整してください。

明るさを調整する ビデオ 写真

露出

逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。なお、撮影モードを「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

1 タッチする

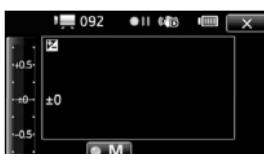
2 露出を選ぶ

（露出）をタッチする。

3 露出を調整する

❶ 画面上の、露出を合わせたい被写体をタッチする。

- タッチした場所にが点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
- **M**ボタンがONになり、メーターが出る。

❷ さらに調整するときは、メーターを上下にドラッグする。

- 調整後の明るさで固定される。
- 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。

- ❶の操作のかわりに**M**ボタンをタッチして、メーターで調整することもできる。

自動の露出調整に戻すとき

Mをタッチする。

[×]

3 タッチする

- 露出固定中は、画面に◪と露出の調整値が出る。

- 露出を手動で調整後、撮影モードを切り換えると自動調整に戻ります。
- 被写体を逆光下で撮影する場合でも、逆光を自動的に補正するため、被写体を明るく撮影できます。メニューの「自動逆光補正」で「切」にすることもできます。

暗いところできれいに撮る

AGCリミット

暗い場所で撮影すると、ノイズの目立った映像になることがあります。これは、ビデオカメラが自動的に感度を高くするためです。AGCリミットで感度の上限を設定すると、暗いシーンを暗いままできれいに撮影できます。

FUNC.

1 タッチする

AGC
M

2 AGCリミットを選ぶ

上下にドラッグして、AGC（AGCリミット）→**M**（マニュアル）をタッチする。

- MがONになり、メーターが出る。

3 感度の上限を選ぶ

メーターを左右にドラッグして好みの感度を選ぶ。

- 数値を小さくする程、感度の上限が低くなる。

感度の上限を解除するとき　**A**（オート）をタッチする。

×

4 タッチする

- AGCリミット設定中は、画面に感度の上限値（dB）が出ます。

ピントを合わせる ビデオ 写真

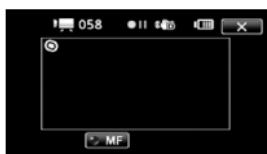
フォーカス

自動でピントが合いにくい場合は、ピントの調整をします（マニュアルフォーカス）。なお、ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。

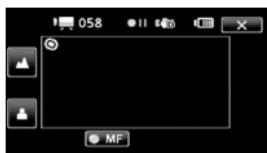
FUNC.

1 タッチする

2 フォーカスを選ぶ

（フォーカス）をタッチする。

3 ピントを合わせる

❶ 画面上の、ピントを合わせたい被写体をタッチする。

- タッチした場所にが点滅して、ピントが自動で調整され、ピントが固定される。
- **MF** ボタンがONになり、（近距離）と（遠距離）が出る。

❷ さらに調整するときは、または をタッチする。

- メニューの「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、画面の中央が拡大される。
- 操作中は、操作方向の目安として被写体との距離表示が数秒間出る。

❸ 👤または▲▲をタッチし続ける。

- ▲▲をタッチし続けて遠くのものにピントを合わせると、画面に∞が出る。花火や山などを撮影するときには∞に合わせる。
- ❶の操作のかわりに**MF**をタッチして、👤と▲▲で調整することもできる。

自動のピント合わせに戻すとき　**MF**をタッチする。

[×]

4 タッチする

- ピント固定中は、画面にMFが出る。

POINT 自動でピントが合いにくいときはどんなとき？

強い光が反射

動きが速い

夜景

画面の中央に明暗の差がない
水滴が付いているガラス越しの撮影

- 別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを取り付けると、被写体との距離表示は正しく表示されません。

色合いを調整する ビデオ 写真

ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すようにに色を調整できます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、シネマモードのときに調整できます。

FUNC.

1 タッチする

WB

2 ホワイトバランスを選ぶ

❶ WB（ホワイトバランス）をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、いずれかをタッチする。

- 撮影する環境に合わせて目的のホワイトバランスを選ぶ。

AWB オート	通常は AWB（オート）*を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
日陰	日陰で撮影するときに選択。
くもり	曇天時に撮影するときに選択。
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。

* AWBはAuto White Balance（オート ホワイト バランス）の略です。

蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
セット	上記のモードで対応できない場合は(セット)を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

(セット)を選んだとき

❸ 白紙、白布を画面いっぱいに写す。

❹ 「白取り込み」をタッチする。

- (セット)が点滅→消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

×

3 タッチする

(セット)を選んで調整するとき

- メニューの「デジタルズーム」を「切」にしてください(257)。
- 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに(セット)が点滅→消灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB(オート)でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば(セット)で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影。

- 蛍光灯の種類によっては、(蛍光灯)や(蛍光灯H)を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB(オート)または(セット)を選んでください。

好みの画質にする ビデオ 写真

画質効果

肌をなめらかに表現してきれいに撮影したり、コントラストに強弱を付けて撮影したりすることができます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、シネマモードのときに設定できます。

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 目的の画質効果を選ぶ

❶ MENU（メニュー）→［ビデオ］または［写真］をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「画質効果」→いずれかをタッチする。

OFF	切	画質効果を使わないとき。
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑える。
LS	ソフト	輪郭の強調を抑える。
SD	美肌	肌をなめらかに表現して、きれいに見せる。
C	カスタム	色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを自由に設定。

ビデオ

c（カスタム）を選んだとき

❸ ◀ または ▶ をタッチしてカスタムの項目を選ぶ。

❹「**+1**」または「**−1**」をタッチして調整する。

色の濃さ	：薄い（−1）、濃い（＋1）
シャープネス	：弱い（−1）、強い（＋1）
コントラスト	：弱い（−1）、強い（＋1）
明るさ	：暗い（−1）、明るい（＋1）

× 3 タッチする

ミニビデオライトを使う ビデオ 写真

暗いところで撮影する場合、ミニビデオライトを使って被写体を明るく撮影できます。

FUNC.

1 タッチする

ON

2 ミニビデオライトを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、(ミニビデオライト)→ ON (入)をタッチする。

092
ミニビデオライト
ON 入
OFF 切

- ミニビデオライトが点灯する。
- 点灯中は が出る。

消灯するとき ❶で OFF (切)をタッチする。

×

3 タッチする

- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたときは、影が映るため、ミニビデオライトは使わないことをおすすめします。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V2に入れて撮影するときは、「水中/水上モードの制限事項」(□278)をご覧ください。

ビデオ

セルフタイマーを使う ビデオ 写真

家族や仲間たちと自分も一緒に撮影したいときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

1 タッチする

2 セルフタイマーを選ぶ

❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。
❷「セルフタイマー」をタッチする。
❸「ON 入」をタッチする。

解除するとき

❸で OFF（切）をタッチする。

3 タッチする

- 画面に が出る。

4 動画の場合 押す

- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。
- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

セルフタイマーを解除するには

- 撮影開始までの時間を表示中に、START/STOPボタン（動画のとき）やPHOTOボタン（静止画のとき）を押す。
- 電源を切る。
- 🎥⇆▶ボタンやモードスイッチを操作する。
- 液晶画面を閉じて、スタンバイ状態にする（□47）。

録音時の音量を変える

ビデオ 写真

マイクレベル

内蔵マイクや外部マイクの録音時の音量(マイクレベル)を手動で調整できます。

撮る 見る　モードスイッチ M　タッチパネル

FUNC.

1 タッチする

M

2 マイクレベルを選ぶ

(マイクレベル)→**M**(マニュアル)をタッチする。

- レベルメーターと調整用の◀/▶ボタンが出る。

◀ ▶

3 マイクレベルを調整する

◀または▶をタッチして調整する。

- レベルメーターの表示が－12dBよりも右の位置で時々点灯するように調整する。

自動調整に戻すとき　**A**(オート)をタッチする。

×

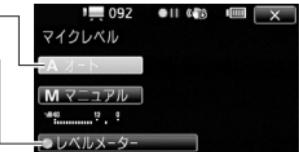
4 タッチする

- 調整した位置で録音レベルが固定される。

POINT 自動調整のときにレベルメーターを表示する

レベルメーターを常に表示して、録音時の音量を確認することができます。

❶ **A**（オート）をタッチする。
❷「レベルメーター」をタッチする。
- レベルメーターが出る。

❸ [×]をタッチする。

MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください（📖260）。
- マイクレベルを調整したり、「マイクアッテネーター」を使ったりするときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします（📖105）。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V2に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（📖278）をご覧ください。

ヘッドホンを使う ビデオ 写真

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

(ヘッドホン)端子は、AV OUT端子と兼用です。ヘッドホンを使うときは、まずメニューで切り換えます(266)。なお、デュアルショットモードでヘッドホンを使うときは、あらかじめ動画モードまたは動画／静止画の見るモードで、設定を(ヘッドホン)に切り換えておいてください。

FUNC.

1 タッチする

- 見るモードのときは、この操作は不要。

MENU

2 ヘッドホンを選ぶ

❶ MENU (メニュー)→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「AV/ヘッドホン」をタッチする。

❸ → をタッチする。

3 ヘッドホン音量を調整する

❶ 上下にドラッグして、「音量」をタッチする。

❷ または をタッチして調整する。

[×]

4 タッチする

- 🎧が出る。
- 調整した位置で音量が固定される。

■ 再生中にヘッドホン音量を調整する

撮る 見る*

* 静止画の場合、スライドショーで音楽と一緒に再生しているときのみ調整できます。

1 再生中 音量を調整する

❶ 画面上をタッチして、操作ボタンを出す。

❷ 🎧または🎧をタッチして音量を調整する。

- ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。
- 画面に🎧が出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。雑音によって耳を痛める恐れがあります。

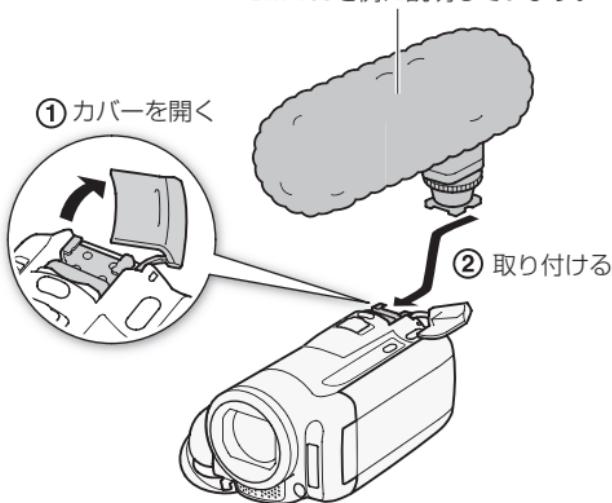
- 再生時に設定した「AV/ヘッドホン」は、電源を切ると「AV」に戻ります。

別売アクセサリーを使う

ビデオ
写真

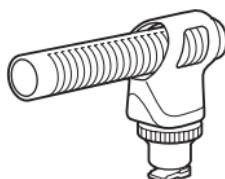
ミニアドバンストシュー

本機のミニアドバンストシューに、別売の各種アクセサリーを取り付けられます。取り付け方や使い方については、各アクセサリーの説明書もあわせてご覧ください。

取り付けかた

● 本機には、右のロゴ表記がある「ミニアドバンストシュー」対応アクセサリーをご利用ください。従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは取り付けられません。

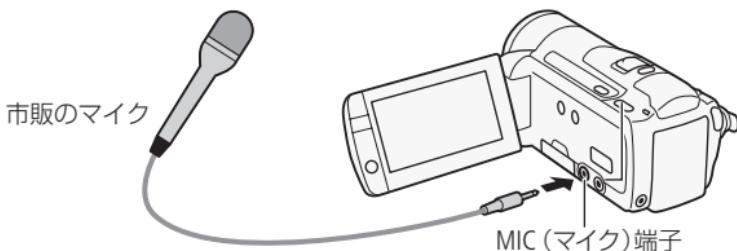
■ サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）／指向性ステレオマイクロホンDM-100（別売）を使う

撮る 見る ／ モードスイッチ M ／ タッチパネル

サラウンドマイクロホンSM-V1を使用すると、臨場感のある5.1chの音声を記録できます。また、指向性ステレオマイクロホンDM-100を使用すると、とらえたい音声を確実に記録でき、大切なシーンの言葉を逃しません。SM-V1またはDM-100を取り付けると、画面に が表示されます。

サラウンドマイクロホン
SM-V1

指向性ステレオマイクロホン
DM-100

市販のマイクを使うとき

MIC端子に接続し、マイクは手に持つなどして使う。

MEMO

- 静かな場所で撮影するとき、内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合は、外部マイクの使用をおすすめします。
- 本機にSM-V1を取り付けると、メニューの「サラウンドマイク」でサラウンドマイクの設定を切り換えられます（□260）。
- 本機にSM-V1を取り付けて記録した5.1chの音声は、本機と5.1ch対応機器をHDMIケーブル（別売）で接続すると5.1chで再生されます。ステレオビデオケーブル（付属）で他機に接続するか、ヘッドホンを接続すると2chで再生されます。本機のスピーカーからはモノラルで出力されます。
- 市販のマイクを使うときは、電源内蔵タイプのコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5 mmのステレオマイクであれば、ほとんどが使用できます。音量は内蔵マイクと異なります。
- 外部マイク接続中、メニューで設定した「ウィンドカット」は自動的に「切」になります。
- 音声がひずむときは、メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください。それでもひずむときは、マイクレベルを調整してください（□103）。

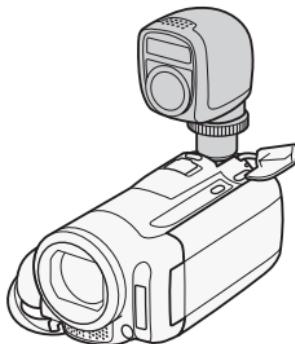
■ ビデオライトVL-5（別売）を使う

撮る 見る | モードスイッチ M | タッチパネル

内蔵ミニビデオライトよりも強く発光します。ビデオライトを取り付けて、ビデオライトの電源スイッチを「AUTO」または「ON」にすると、画面に が表示されます。

■ ビデオフラッシュライトVFL-2（別売）を使う

撮る 見る | モードスイッチ M | タッチパネル

内蔵フラッシュよりも強く発光します。フラッシュの設定のしかたは、内蔵フラッシュ（□141）と同じです。ビデオライトとして使用することもできます。ビデオフラッシュライトを取り付けて、ビデオフラッシュライトの電源スイッチを「AUTO」または「ON」にすると、画面に が表示されます。

- フラッシュを使うときは、約1〜4 mの距離で撮影できます。撮影条件により、距離は変わります。
- 別売のビデオライトを使用すると、内蔵のミニビデオライトは自動的に使用できなくなります。内蔵ミニビデオライトを使うときは、別売のビデオライトのスイッチをOFFにしてください。

■ リモートコントロールアダプターRA-V1（別売）を使う

撮る 見る | モードスイッチ M | タッチパネル

別売のズームリモートコントローラーZR-2000と一緒に使うと、ビデオカメラを三脚などにすえつけたまま、撮影操作を手元で行えます。リモートコントロールアダプターRA-V1を取り付けると、画面に が表示されます。

ZR-2000で操作できる機能

電源のON/OFF、START/STOP、ズーム、フォーカス（マニュアル／オート切り換え、フォーカス調整、プッシュAF*1）、フォーカスアシスト、オンスクリーン

*1 プッシュAFは、マニュアルフォーカスを使用中、ボタンを押しているときだけ自動的にピントを合わせる機能です。

各機能の詳細については、ズームリモートコントローラーの使用説明書をご覧ください。

MEMO

● デュアルショットモードのときは、電源のON/OFF、START/STOP、ズームのみ操作できます。

お好みのコマから再生する

タイムライン/顔タイムライン

1シーンの中からお好みのコマを選んで、選んだコマから再生できます。コマの一覧には、一定の時間ごとのコマを表示するタイムラインと、顔が検出されたコマを時間順に表示する顔タイムラインがあります。

撮る 見る

■ 時間単位のコマ一覧から再生する(タイムライン)

i

1 シーンを選ぶ

❶ i をタッチする。

❷ シーンをタッチする。

2 コマを選ぶ

他のシーンを見るとき

◀または▶をタッチする。

次／前の5つのコマを表示するとき

左右にドラッグする。

コマの間隔を変えるとき

❶「6秒」をタッチする。

❷ いずれかを選ぶ→［⮌］をタッチする。

インデックス画面に戻るとき

［⮌］を2回タッチする。

3 コマをタッチする

- 再生が始まる。

POINT 顔検出されたコマから再生する（顔タイムライン）

撮影したシーンの中から顔が検出されたコマだけを表示できます。

❶「6秒」をタッチする。

❷ 顔をタッチする。

- 顔タイムラインでは、1シーンに対して最大100コマまで表示できます。

ビデオスナップを再生する

ビデオ
写真

撮りためたビデオスナップの映像を好きな音楽と一緒に再生*すると、短編映画のような映像を楽しむことができます。携帯オーディオプレーヤーなどとつないで、好きな音楽と一緒に再生することもできます。

* このとき、映像に記録されている音声は再生されません。

撮る 見る

■ ビデオカメラ内の音楽と一緒に再生する

VIDEO SNAP

1 押す

- ビデオスナップのインデックス画面が表示される。

MENU

2 選曲する

❶ MENU（メニュー）→「選曲」→ ON（入）をタッチする。

❷ ▲ または ▼ をタッチして曲の番号を選ぶ。

- ▶（再生）をタッチすると曲が試聴できる。もう一度タッチすると停止する。
- OFF（切）をタッチすると撮影時の音声が再生される。

曲を消すとき ❷の後、🗑→「はい」をタッチする。

✕

3 タッチする

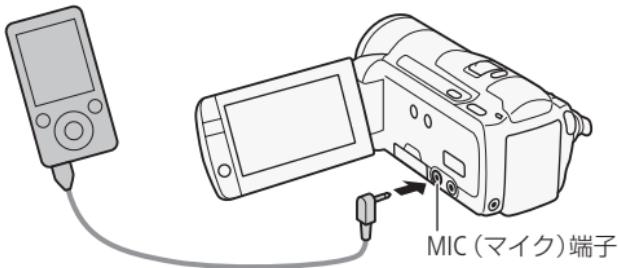
ビデオ

4 シーンをタッチする

- 映像と音楽が再生される。

■ オーディオプレーヤーの音楽と一緒に再生する

お気に入りのプレイリストに好きな音楽を重ねて、より印象的な映像にして楽しめます。

プレーヤーと接続する

本機のMIC（マイク）端子には、Φ3.5 mmステレオミニプラグが接続できます。

操作する

VIDEO SNAP

1 押す

- ビデオスナップのインデックス画面が出る。

MENU
ON

2 外部音源入力を選ぶ

❶ MENU（メニュー）をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「外部音源入力」→「ON 入 ♫⊖」をタッチする。

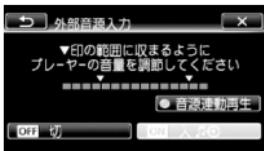
×

3 音量を調節する

❶ プレーヤーの音楽を再生する。

- 現在の音量がレベルメーターに表示される。

外部音源入力
▼印の範囲に収まるように
プレーヤーの音量を調節してください
● 音源連動再生
OFF 切
ON 入

❷ レベルメーターの表示が2つの▼の間に収まるように、プレーヤーの音量を調整する。

プレーヤーの音楽と連動して再生するとき

プレーヤーの音楽を停止して、「音源連動再生」をタッチする。

❸ × をタッチする。

4 「音源連動再生」がOFFの場合 シーンをタッチする

- プレーヤーの音楽と一緒にシーンが再生される。
- 映像と音楽の停止は連動しない。

「音源連動再生」がONの場合 プレーヤーを再生する

- インデックス画面の最初の映像から自動で再生される。

ビデオ

- プレーヤーの音楽が終了すると、自動的に映像の再生も一時停止する。音楽が始まると、映像の再生が再開される。
- 映像の再生が終了しても、プレーヤーの音楽は自動的に停止しない。

- 本機能で複製した音楽著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。責任を持ってご使用ください。

- プレイリストに登録すると、見たいシーンだけを選んで、順番を入れ換えて再生できます（🕮119）。
- メモリーを初期化すると、パソコンから転送した音楽が消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリーに保存されていた音楽は消去されません。
- 音楽はパソコンを使って付属の「フォトアプリケーション Ver.34 / 音楽データディスク」の音楽データと「PIXELA Application Disc」から転送できます。その際、再生する動画と同じメモリーに保存してください。詳しくは ImageMixer 3の取扱説明書（PDF）をご覧ください。
- ビデオスナップ/プレイリストのシーンやスライドショーの再生時に、プレーヤーなど外部の音楽と連動して再生できます。
- 外部機器の音量が小さすぎる、外部機器からの音声信号にノイズが入るなどによって、映像が音楽に連動して再生されないことがあります。
- 据え置き型のCDプレーヤーなど、機器側で音量の調節ができない場合、音量が大きすぎるときは、自動的に音量を下げます。

画面の表示を切り換える

ビデオ
写真

画面に表示する撮影情報などを切り換えられます。

撮る 見る　モードスイッチ M　タッチパネル

押す

- 表示される撮影情報は、押すたびに切り換わる。

例： 動画撮影中の場合

すべて表示

表示なし

●や●IIは表示される。

POINT 表示される内容や切り換わりかた

動画撮影中	すべて表示	→	表示なし*1		
動画再生中*2	すべて表示	→	メニューの「データコード表示」の設定情報を表示	→	表示なし
静止画撮影中	すべて表示	→	表示なし*1		
静止画再生中*2	すべて表示	→	日時を表示	→	表示なし

*1 メニューで設定したマーカー、レベルメーターは表示される。
*2 画面をタッチすると、設定内容にかかわらず操作ボタンが出る。

データコードとは？

日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり）などの撮影情報を「データコード」といいます。データコードはメニューの「データコード表示」で切り換えられます（□261）。

プレイリストを作る

プレイリスト追加

プレイリストとは、再生(プレイ)したい順にシーンを並べた一覧(リスト)のことです。お好みのシーンを集めて自分だけのアルバムができます。プレイリストには、オリジナル(撮影した元の動画)またはビデオスナップのシーンを追加できます。

☑

1 タッチする

2 シーンを選ぶ

❶ 追加するシーンをタッチする。

- ☑が付く。

❷ ❶の操作を繰り返して、追加するシーンをすべて選ぶ。

シーンをすべて選ぶとき

☑をすべて外して、「全選択」をタッチする。

編集

3 プレイリストに追加する

❶ 編集 をタッチする。

❷ 「プレイリスト追加」→「はい」をタッチする。

❸ 「OK」をタッチする。

- プレイリストのシーンを編集しても、オリジナルデータは変わりません。
- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンは、プレイリストに追加できません。
- 内蔵メモリーとカードの両方のシーンを同じプレイリストに追加するときは、まず追加したい内蔵メモリーのシーンをカードにコピーし（□168）、次にカードのシーンを選んでプレイリストに追加します。

プレイリストのシーンを消す

プレイリスト消去

プレイリスト内の不要なシーンを消去できます。消去は、1シーンごとまたは全シーンまとめて行うことができます。

撮る 見る

■ ひとつのシーンを消す

1 プレイリストまたはビデオスナッププレイリストのインデックス画面に切り換える（□53）

2 シーンを選ぶ

❶ [i] をタッチする。
- シーン選択画面が出る。

❷ 消すシーンをタッチする。
- タイムライン画面が出る。

[編集]

3 シーンを消す

❶ [編集] をタッチする。

❷「消去」→「はい」をタッチする。

❸「OK」をタッチする。

■ すべてのシーンを消す

(↺▶↻)

1 プレイリストまたはビデオスナッププレイリストのインデックス画面に切り換える（□53）

(編集)

2 シーンを消す

❶ (編集)をタッチする。

❷「消去」→「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部のシーンは消去される。

❸「OK」をタッチする。

プレイリストのシーンを並べ換える

移動

プレイリスト内のシーンをお好みの順に並べ換えられます。

撮る 見る

1 プレイリストまたはビデオスナッププレイリストのインデックス画面に切り換える

（□53）

2 シーンを選ぶ

❶ i をタッチする。
- シーン選択画面が出る。

❷ 移動するシーンをタッチする。
- タイムライン画面が出る。

3 移動を選ぶ

編集 →「移動」をタッチする。

4 移動する位置を選ぶ

❶ 移動先の□をタッチする。
- □内に ▸I◂ が出る。

❷「実行」→「はい」をタッチする。

プレイリストのシーンを音楽と一緒に再生する

プレイリスト内のシーンやプレイリスト内のビデオスナップを音楽と一緒に再生*できます。携帯オーディオプレーヤーなどとつないで、好きな音楽と一緒に再生することもできます。

* このとき、映像に記録されている音声は再生されません。

撮る 見る

1 プレイリストまたはビデオスナッププレイリストのインデックス画面に切り換える（□53）

2

ビデオカメラ内の音楽と一緒に再生するとき

選曲して再生する

- 114ページの操作2〜4を行う。

オーディオプレーヤーの音楽と一緒に再生するとき

プレーヤーをつないで再生する

- 115ページを参照して、本機とプレーヤーとを接続し、操作2〜4を行う。

ビデオ

映像からビデオスナップや写真を作る

撮影した映像から4秒間*のビデオスナップを作ったり、写真として切りとったりすることができます。

* 記録時間は、メニューの「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒のいずれかに変更できます（□262）。

撮る 見る

■ 映像からビデオスナップを作る

1 シーンをタッチする

- 再生が始まる。
- ビデオスナップを作成するシーンを再生する。

2 押す

- 4秒間のビデオスナップが作成され、再生が一時停止する。
- ビデオスナップ作成中は青い枠が動き、作成後はシャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。

■

3 タッチする

- 再生を停止する。

- 再生中のみビデオスナップを作成できます。再生一時停止中は作成できません。
- 元のシーンと同じメモリーに保存されます。

ビデオスナップを作成できない場合

- ■ 約1秒未満のシーンのとき。
- ■ 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。

再生中のシーンがビデオスナップのときは、作成元となるシーンの記録時間によってはビデオスナップを作成できないことがあります。

- シーンの終わりから約1秒以内の位置で作成すると、次のシーンの先頭からのビデオスナップになります。
- 再生中のシーンから作ったビデオスナップは、再生時、シーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

■ 映像を写真として切りとる（あとからフォト）

撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切りとれます。映像の中の1秒間を連続して静止画に切りとることもできます。記録される静止画のサイズはMW（1920×1080）で、画質は3種類から選ぶことができます。

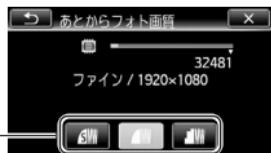
準備する

MENU

1 静止画の画質を選ぶ

❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。

ビデオ

❷ 上下にドラッグして、「あとからフォト画質」をタッチする。

❸ いずれかをタッチ→ (⮌)をタッチする。

(⮌)

2 切りとりかたを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、「あとからフォト」をタッチする。

❷「単写」または「連写」をタッチする。

(×)

3 タッチする

静止画を切りとる

Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」(□128)を確認してください。

1 静止画を切りとるシーンを再生する

シーンをタッチする。

- 再生が始まる。

(❚❚)

2 静止画を切りとる位置で再生一時停止にする

画面上をタッチする→❚❚をタッチする。

3 「単写」を選んだとき 深く押す

「連写」を選んだとき 深く押しつづける

- コマ送りをしながら静止画が記録される。

- Eye-Fiカードを記録先に設定して静止画を記録すると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（□199）。

- 切りとった静止画の撮影日時は、元の動画を撮影したときの日付と時刻が設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、メニューの「静止画記録」で記録先として選んだメモリーに記録されます。

連写のとき

- 最大100枚まで記録できます。
- 連写中、次のシーンに切り換わると連写が止まります。
- 約1/30秒ごとにコマ送りをしながら記録します。メニューの「フレームレート」を「PF24」に設定して撮影した動画の場合は、約1/24秒ごとのコマ送りになります。

シーンを分割する

ビデオ
写真

分割

撮影したシーンは分割できます。分割することで、必要な部分だけを残したシーンにできます。オリジナルのシーンのみ分割できます。

1 分割するシーンを再生一時停止にする

❶ シーンをタッチする。

- 再生が始まる。

❷ 画面上をタッチ→ⅠⅠをタッチする。

- 一時停止する。

2 分割を選ぶ

編集→「分割」をタッチする。

3 分割する位置を決める

❶ 分割する位置を探す。

- ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止する。

再生中	◀◀／▶▶	早戻し／早送り
一時停止中	◀II／II▶	逆コマ送り／コマ送り

❷ 分割する位置で一時停止にする。

4 分割する

「✂分割」→「はい」をタッチする。

- 分割した元のシーンの次に挿入される。

MEMO

- 分割する位置を決めるときのコマ送り／逆コマ送りの間隔は0.5秒です。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

分割できない場合

- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始めまたは終わりから約1秒以内の位置のとき。
- ビデオスナップのシーンのとき。
- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。

Chapter

4

写真

Taking and Viewing Photos

写真を見る

1 押す

- インデックス画面が出る。
- 静止画のインデックス画面が出たときは、操作3に進む。

2 押す

3 見たい静止画を探す

メモリーや表示内容を切り換える（□53）

4 静止画をタッチする

- 静止画が再生される(1枚表示画面)。
- 再生中、左右にドラッグで次または前の静止画に切り換わる。

■ 再生中に他の静止画にジャンプする(静止画ジャンプ)

1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

2 タッチする

3 ジャンプバーのつまみをドラッグする

- ジャンプ先の静止画が再生される。
- 左右にドラッグで、前後の静止画に切り換わる。

4 タッチする

■ インデックス画面を出す

静止画再生中にインデックス画面に切り換える方法です。

1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

2 タッチする

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - ■ カードカバーを開けない。
  - ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - ■ モードスイッチを切り換えない。
  - ■ 再生切換ボタンを押さない。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - ■ 本機以外の製品で記録したとき。
  - ■ パソコンで作成や加工をしたとき。
  - ■ パソコンでファイル名を変更したとき。

写真を消す ビデオ 写真

静止画消去

不要な静止画は消去できます。再生中の静止画を消す方法と、選んだ静止画をまとめて消す方法とがあります。

■ 再生中の静止画を消す

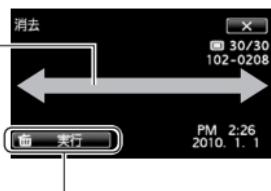
1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

編集

2 消去を選ぶ

❶ 編集 →「消去」をタッチする。

- 消去画面が出る。
- 左右にドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。

❷「実行」→「はい」をタッチする。

×

3 タッチする

■ 静止画を選んでまとめて消す

(☑)

1 タッチする

2 静止画を選ぶ

❶ 消す静止画をタッチする。

- ☑が付く。

❷ ❶の操作を繰り返して、消す静止画をすべて選ぶ。

静止画をすべて選ぶとき

☑をすべて外して、「全選択」をタッチする。

(編集)

3 静止画を消す

❶ (編集)→「消去」→「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部の静止画は消去される。

❷ 「OK」をタッチする。

- **一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。**
- プロテクトされている静止画は消せません。

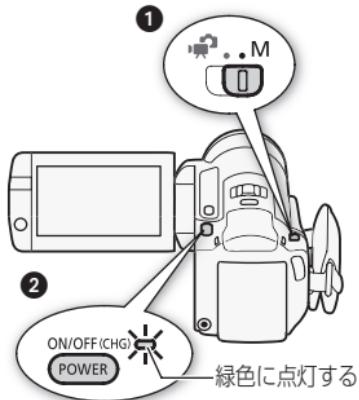
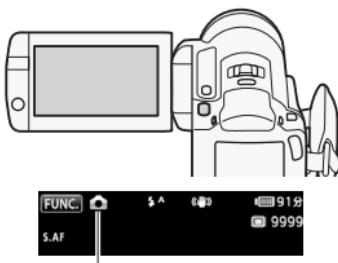
自分で設定して写真を撮る

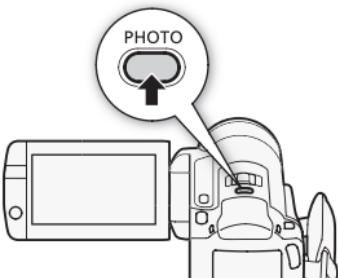
マニュアルモード（静止画）

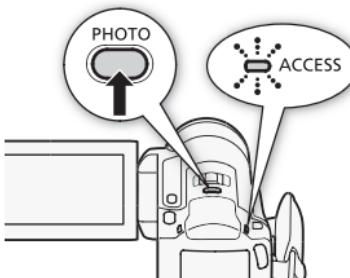
さまざまな設定を手動で行って本格的に撮影できます。

1 MにしてONにする

2 をタッチする

が表示される

- カードに記録するとき（33）。
- Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（138）を確認してください。

3 浅く押し続ける

- ピントを調整し、終わると画面のが緑色になって緑色の枠が出る。

4 深く押す

- ACCESSランプが点滅。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - ■ カードカバーを開けない。
  - ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - ■ モードスイッチを切り換えない。
  - ■ ボタンを押さない。
- Eye-Fiカードを記録先に設定して静止画を記録すると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（199）。

■ いま撮った写真を消す

撮影直後の静止画確認時間中に、いま撮った静止画を消せます。操作は、単写（143）で記録しているときのみ行うことができます。なお、静止画確認時間は、メニューで変更できます（263）。

- 静止画確認時間中にDISP.ボタンを押すと、静止画が再生され続けます。PHOTOボタンを浅く押すと、撮影可能な状態に戻ります。

画質やサイズを選ぶ

ビデオ 写真

静止画のサイズは、高画質で撮るときは大きく、枚数を多く撮るときは小さく設定します。LWを選ぶとワイド画面で撮影できます。

1 タッチする

2 画質とサイズを選ぶ

❶ MENU (メニュー)→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「静止画画質/サイズ」をタッチする。

❸ いずれかの画質をタッチする。

❹ いずれかのサイズをタッチする。

3 タッチする

MEMO

- 画質やサイズ、撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。
- デュアルショットに切り換えても設定した画質やサイズは保持されます。

POINT カードに記録できる枚数の目安

サイズ	LW 2304×1296			L 2100×1575			MW *1 1920×1080		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
1GB	465	700	1390	420	630	1265	670	1000	1970

サイズ	M 1600×1200			SW *2 848×480			S 640×480		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
1GB	720	1075	2115	3360	4760	9525	4395	6350	11430*3

*1 あとからフォトのとき(□126)。
*2 動画モードまたはデュアルショットモードで動画撮影中の同時記録(□145)のとき。
*3 画面には「9999」と出ますが、実際は表の枚数の目安まで記録できます。

S：スーパーファイン、 ◢：ファイン、 ▟：ノーマル

静止画サイズによって用途が異なります。

LW、MW　：ワイドサイズの用紙に印刷するときやワイドテレビで見るとき
L　：A4サイズまでを印刷するとき
M　：Lサイズまたはポストカードサイズで印刷するとき
SW　：ワイドサイズの用紙に印刷するとき
S　：電子メールで添付するときやWeb用

写真

フラッシュを使う

ビデオ 写真

フラッシュを使うと、暗いところでも静止画をきれいに撮影できます。また、暗いところで人物を撮影したときに目が赤く写る現象を軽減することもできます。

FUNC.

1 タッチする

2 フラッシュを選ぶ

❶ (フラッシュ)をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

ϟA	オート	被写体の明るさによって、自動で光る。
◉	赤目緩和オート	赤目緩和用にミニビデオライトが点灯し、フラッシュが自動で光る。
ϟ	強制発光	被写体の明るさに関係なく光る。
⊘	発光禁止	光らない。

×

3 タッチする

フラッシュが発光しない場合

- ⚡ᴬと◉に設定して露出を固定したとき。
- ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
- 撮影モードを「夜景*」、「打上げ花火」、「水中」または「水上」に設定しているとき。
- 別売のビデオライトを使用しているとき。

* ⚡ᴬまたは◉に設定しているとき。

AF補助光について

PHOTOボタンを浅く押したときに、被写体が暗くてピント合わせができない場合は、被写体を照らすためにミニビデオライトが点灯することがあります（AF補助光）。AF補助光は点灯しないようにすることもできます（📖256）。なお、AF補助光が点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。

- 別売のウォータープルーフケースWP-V2に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（📖278）をご覧ください。

- フラッシュで撮影できる距離は、約1～2 mです（撮影条件により距離は変わります）。
- 連写のときはフラッシュの光量が減るため、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。
- ◉では、写される人が赤目緩和用のミニビデオライトを見る必要があります。赤目緩和効果の度合いは、写される人との距離によって異なり、また、個人差があります。
- 露出を固定すると、フラッシュの設定を変更できません。
- 別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを取り付けると、影が映るため、フラッシュは使わないことをおすすめします。

連写する

ビデオ 写真

ドライブモード

運動会で走る子供を連続した静止画で記録できます。また、3段階の明るさで連続して撮ることもできます。なお、撮影モードを「打上げ花火」に設定しているときは操作できません。

FUNC.

1 タッチする

2 ドライブモードを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、□をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

□	単写	1枚の静止画を撮影。
	AEB	標準、暗め、明るめの順で3枚の静止画を連続撮影。撮影後、最適な明るさを簡単に選べる。
	連写	連続撮影。
	高速連写	高速の連続撮影。

×

3 タッチする

4 浅く押す

● ピントを合わせる。

5 連写／高速連写の場合 深く押し続ける

AEBの場合 深く押す

MEMO 1回の連写で記録できる最大枚数

1秒あたりの記録枚数			連続記録可能枚数
連写	高速連写	フラッシュ使用時	
約3枚	約5枚	約2.1枚	60枚

* 枚数は撮影条件や被写体によって変わります。スローシャッター（1／30秒以下）のときは、1秒あたりの連写枚数が少なくなります。

● AEBはAuto Exposure Bracketing（オート エクスポージャー ブラケッティング）の略。

ビデオを撮りながら写真も撮る

同時記録

動画モードで動画を撮影中、または撮影一時停止中に、静止画を記録できます。また、デュアルショットモードで動画撮影中にも、静止画を記録できます。静止画のサイズや画質は動画モードで選びます。

撮る 見る | モードスイッチ * M | タッチパネル

* デュアルショットモードのときは設定を変更できません。撮影のみ可能です。

■ 準備する

FUNC.

1 撮影一時停止中 タッチする

MENU

2 画質とサイズを選ぶ

❶ MENU(メニュー)→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「静止画同時記録」をタッチする。

❸ いずれかの画質をタッチする。

❹ いずれかのサイズをタッチする。

撮影できる枚数の目安

同時記録を行わないとき

OFF(切)をタッチする。

×

3 タッチする

■ 撮影する

Eye-Fiカードを使うときは、事前に下記の「ご注意」を確認してください。

1 撮影中 撮影一時停止中 押す

● 静止画が記録される。記録先は、メニューの「静止画記録」で選んだメモリーとなる。

POINT 同時記録とデュアルショットの静止画撮影について

撮影状況／撮るモード	動画撮影中（●）	動画撮影一時停止中（●❚❚）
動画モード	同時記録*1*2	同時記録*1*2
デュアルショットモード	同時記録*1*2	デュアルショットの静止画記録*3

*1 動画モードで設定した画質・サイズ（前ページ）で記録される。
*2 より高画質で撮影するには、「静止画モード」または「デュアルショットの静止画記録」を使用する。
*3 静止画モードで設定した画質・サイズ（□139）で記録される。

● Eye-Fiカードを記録先に設定して静止画を記録すると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（□199）。

● デジタルエフェクト実行中やテジタルズームを使用しているときは、同時記録できません。
● FUNC. メニューの「手ブレ補正」を「ダイナミック」にして**T**（望遠）側にズームすると、15倍を超えて拡大できますが、このとき記録される静止画のズーム倍率は15倍です。

明るさの調整のしかたを選ぶ

ビデオ 写真

測光方式

カメラは被写体に当たる光を自動的に測って、撮影する明るさを決めます。光の測定方法は、被写体に応じて3種類から選べます。撮影モードがシーンモード以外のときに選択できます。

❶ 上下にドラッグして、をタッチする。

❷ いずれかをタッチ→ × をタッチする。

評価測光
普段の撮影に適している。画面内を分割して測光する。被写体の位置や明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の要素を本機が判断し、被写体を常に適正な明るさにする。

中央重点平均測光
画面全体の明るさのバランスをとりながら、中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光する。

スポット測光
画面中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の枠([ ])内を測光する。

写真でも使える便利機能

ビデオ
写真

静止画記録時でも、動画のときと同じようにズームやセルフタイマーを使ったり、明るさを調整したりできます。

44 拡大して撮る

ズーム

光学ズームによって15倍まで拡大して撮影(望遠撮影)できます。

47 すばやく撮影をはじめる

クイックスタート

液晶画面を閉じると省エネ状態で待機します。再び開くと、約1秒で撮影可能な状態に戻ります。

68 メニューの設定を変える

さまざまな機能をメニューから設定できます。

72 場面に合わせて撮る

シーンモード

海に沈む夕日や夜空を彩る打上げ花火など、場面に合わせてきれいに撮影します。

81 顔を検出してきれいに撮る

フェイスキャッチ＆追尾

人物の顔を検出して、自動でピントや明るさを合わせます。

83 ねらった被写体をきれいに撮る

タッチ追尾

画面上で被写体にタッチすると、自動でピントや明るさを合わせます。

85 場面の切り換えと特殊効果

デジタルエフェクト

思い出の写真にセピア色などの効果をつけることができます。

87 動きの速いものを撮る 背景をぼかして撮る

シャッタースピード／しぼり

被写体に合わせてシャッタースピードやしぼり値を調整できます。

90 明るさを調整する

露出

強い光が被写体に当たるときなどに明るさを調整します。

93 ピントを合わせる

フォーカス

自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせます。

95 色合いを調整する

ホワイトバランス

撮影時の光に応じて、色合いを調整します。

98 好みの画質にする

画質効果

コントラストを付けたり、輪郭の強調を抑えたりして撮影します。

100 ミニビデオライトを使う

暗いところで撮影する場合、被写体を明るく撮影できます。

101 セルフタイマーを使う

約10秒間カウントダウンした後に撮影されます。

順番に再生する

ビデオ 写真

スライドショー

音楽と一緒に静止画を順番に再生します。テレビにつないで家族や友人と見るときなどに便利です。音を出さないで再生することもできます。

撮る 見る

■ 音楽と一緒に再生する

1 選曲する

カメラ内の音楽のとき

114ページの操作2～3を行う。

プレーヤーなどの音楽のとき

116ページの操作2～3を行う。

2 「音源連動再生」がONの場合 プレーヤーを再生する

- インデックス画面の最初の静止画からスライドショーが始まる。

「音源連動再生」がOFFの場合

カメラ内の音楽の場合

スライドショーを開始する

❶ スライドショーを開始する静止画をタッチする。

❷ 画面上をタッチ→ ▶ (再生)をタッチする。

- スライドショーと音楽の再生が始まる。

音量を変えるとき　🔊または🔉をタッチする。

スライドショーを止めるとき　⏸をタッチする。

POINT 効果をつけて再生する

スライドショーに効果をつけて見ることができます。

❶ MENUをタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「スライドショーエフェクト」をタッチする。

❸ 「▩クロスフェード」または「□■スライド」をタッチ→×をタッチする。

- 付属の音楽と一緒に再生するときは、静止画と音楽を同じメモリーに保存してください。詳しくはImageMixer 3の取扱説明書（PDF）をご覧ください。
- プレーヤーなどの音楽と一緒に再生する場合、スライドショーは音楽が終わるまで繰り返し再生され、音楽が終わると終了します。

写真を拡大して見る

再生ズーム

静止画の1枚表示画面でズームレバーを押すと、5倍まで拡大できます。拡大できない静止画のときは、✗が表示されます。

W – T

T側に押す

- 拡大した静止画を縮小したいときは**W**側に押す。

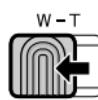
POINT

静止画を上下左右に動かす

拡大した後、画面上をドラッグして上下左右に移動できます。

画面に表示している範囲を示す枠が移動する。

画面の拡大をやめる

拡大表示枠が消えるまで**W**側に押し続けます。

この枠が消えるまで押し続ける。

写真

写真を回転して再生する

ビデオ 写真

回転

再生中の静止画を、時計回りまたは反時計回りに90度ずつ回転します。

撮る 見る

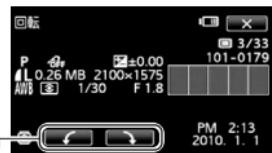
1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

2 回転を選ぶ

(編集)

❶ (編集)→「回転」をタッチする。

❷ (↷)または(↶)をタッチする。

- 押すたびに90度ずつ回転する。

3 (×) タッチする

写真の明るさを図で確認する

ヒストグラム

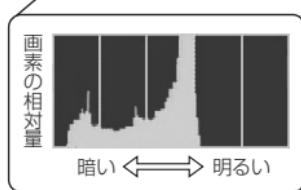
撮影した静止画の明るさを確認して、撮影するときの明るさの目安にしましょう。この明るさの図を「ヒストグラム」といいます。画素の相対量が図の右側に多いと明るく、左側に多いと暗いことを表しています。ヒストグラムの表示は、DISP.ボタンを押して消せます。

撮る 見る

1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンとヒストグラム、画質/サイズ、記録モードなどが出る。

2 押す

- ヒストグラムなどが消える。

- ヒストグラムは、撮影直後の静止画確認時間中も表示されます（DISP.ボタンを押して、画面表示を消している場合を除く）。

写真を保護する

ビデオ
写真

静止画プロテクト

大切な静止画を誤って消さないように保護します。

■ 再生中の静止画を保護する

1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

編集

2 静止画プロテクトを選ぶ

❶ 編集 →「静止画プロテクト」をタッチする。

- 静止画プロテクト画面が出る。
- 左右ドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。

❷ (静止画プロテクト)をタッチする。

- 画面に が出る。

保護を解除するとき

もう一度、 (静止画プロテクト)をタッチする。

×

3 タッチする

■ 静止画を選んでまとめて保護する

複数の静止画を選んで保護します。静止画の保護をまとめて解除することもできます。

☑

1 タッチする

2 静止画を選ぶ

❶ 保護する静止画をタッチする。
- ☑が付く。

❷ ❶の操作を繰り返して、保護する静止画をすべて選ぶ。

静止画をすべて選ぶとき

☑をすべて外して、「全選択」をタッチする。

編集

3 静止画プロテクトを選ぶ

❶ 編集 →「静止画プロテクト」をタッチする。

❷ 「プロテクトする」→「OK」をタッチする。

静止画の保護を解除するとき

❷で「解除する」をタッチする。

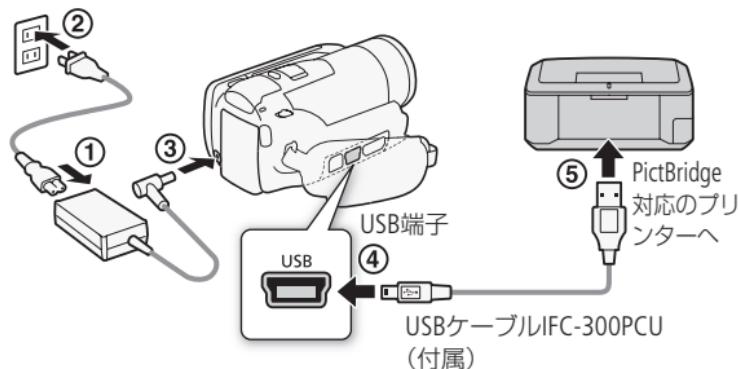
- プロテクト設定をしても、メモリーを初期化するとすべてのデータは消えます。

写真

写真を印刷する

ビデオ
写真

本機に直接、PictBridge対応プリンターを接続して、パソコンなしで簡単な操作で印刷できます。キヤノン製プリンターでは、PictBridge対応のSELPHY CP／ES／DSシリーズやPIXUSシリーズを使用できます。

■ プリンターとつなぐ PictBridge

撮る 見る

1 本機 印刷する静止画を再生する

2 プリンター 電源を入れる

3 本機とプリンターをつなぐ

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコン/🖶」をタッチする。

- 本機の画面に•⇆が点滅した後、⁄⁄と🖶（印刷）ボタンが出る。

写真

- 操作3で•⇆が約1分以上点滅し続ける場合、または⁄⁄が出ない場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してからつないでください。
- すべての静止画の消去中や印刷指定の全解除中は、プリンターにつないでも認識されません。

- 印刷できない静止画のときは 🖶 が表示されます。
- プリンターの説明書もあわせてご覧ください。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコン/🖶」にすると、プリンターとつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。
- プリンター接続時は、静止画を100枚以下にすると快適に操作できます。

■ 簡単に1枚印刷する

再生中の静止画をそのまま1枚印刷するときは、ボタン→「はい」をタッチするだけで印刷できます。

1 再生中 印刷する

(印刷)→「はい」をタッチする。

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。

続けて他の静止画を印刷するとき

左右にドラッグして選ぶ。

印刷を中止するとき

印刷中に「中止」→「OK」をタッチする。

■ 用紙を選んで印刷する

MENU

1 用紙設定を選ぶ

❶ MENU → (記録)をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「用紙設定」をタッチする。

[×]

2 設定する項目を選ぶ

❶ 上下にドラッグして、いずれかをタッチする。

❷ [×]をタッチする。

用紙設定	標準設定	KG 4 x 6
	L判	8.5"x 11"
	2L判	A3
	はがき	A4
	カード	10.1 x 18cm

3 印刷する

- 159ページの操作1を行う。

印刷が終了したとき

❶ USBケーブルを本機とプリンターから抜く。

❷ 本機の電源を切る。

写真

印刷中に異常が発生したとき

「用紙がありません」/「用紙が詰まりました」(229)、「インクがありません」(227)などのお知らせ表示が本機の画面に出るので、トラブルを解決する。

キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合

以下のいずれかの操作をする。

- 「続行」をタッチする。
- 「中止」をタッチして印刷し直す。

上記操作をしても再開しない場合

USBケーブルを抜き差しした後、本機の電源を入れ直す。

- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。

印刷したい写真を選ぶ ビデオ 写真

印刷指定

印刷したい静止画と枚数を指定できます（DPOF）。998枚までの静止画に印刷指定できます。印刷指定した静止画を保存したカードを、DPOF対応のプリンターなどのスロットに入れて印刷操作を行うと、指定した静止画を印刷できます。

* SDXCメモリーカードをお使いの場合は、SDXCメモリーカード対応のプリンターをご使用ください。

■ 静止画を再生中に印刷指定する

1 カードの静止画インデックス画面に切り換える

2 印刷指定する静止画をタッチする

- 静止画が再生される。

3 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

編集

4 印刷指定を選ぶ

「編集」→「印刷指定」をタッチする。

写真

5 枚数を選ぶ

（▲）または（▼）で枚数を選ぶ→「決定」をタッチする。

印刷指定を解除するとき

枚数を「0」にする→「決定」をタッチする。

他の静止画を指定するとき

左右にドラッグして静止画を選ぶ。

6 タッチする

■ 静止画を選んでまとめて印刷指定する

複数の静止画を選んで、まとめて印刷指定できます。印刷指定をすべて解除することもできます。

撮る 見る

1 カードの静止画インデックス画面に切り換える

（☑）

2 タッチする

3 静止画を選ぶ

❶ 印刷指定する静止画をタッチする。
- ☑が付く。

❷ ❶の操作を繰り返して、印刷指定する静止画をすべて選ぶ。

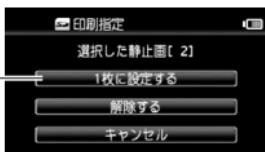
静止画をすべて選ぶとき

☑をすべて外して、「全選択」をタッチする。

編集

4 印刷指定を選ぶ

❶ 「編集」→「印刷指定」をタッチする。

❷ 「1枚に設定する」→「OK」をタッチする。

印刷指定をすべて解除をするとき

① 操作2で静止画をすべて選ぶ。

② 操作3 ❷で「解除する」→「OK」をタッチする。

写真

Chapter

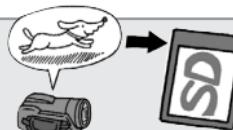
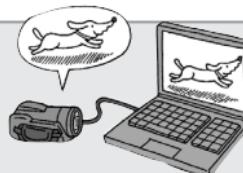
5

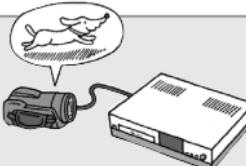
保存/共有

Backing Up and Sharing Movies/Photos

残しかたいろいろ

ビデオ
写真

カードにコピーしたい

パソコンに保存したい

ビデオ機器にダビングしたい

動画共有サイトでお披露目したい

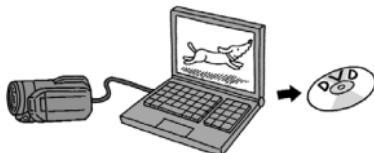
ディスクを作りたい

ハイビジョン画質のディスクを作る

● パソコンを使って　176

● DVDライター（別売）を使って　176

標準画質のDVDを作る

● パソコンを使って　181

● DVDライター（別売）を使って　185

残しかたいろいろ

ビデオ／写真をカードにコピーする

ビデオ
写 真

コピー

撮影した動画や静止画を内蔵メモリーからカードにコピーできます。コピーは、複数のシーン／静止画を選んでまとめて行います。動画の場合は、特定の日に撮影したシーンをすべてコピーすることもできます。プレイリストの場合は、すべてのシーンをまとめてコピーします。

撮る 見る

■ 動画をコピーする

1 コピー元となる内蔵メモリーのインデックス画面を出す（□53）

全シーン、特定の日に撮ったシーンをコピーするとき

絞り込み（□55）で、「全シーン」または「指定した撮影日のシーン」のみ表示する。

2 タッチする

3 シーンを選ぶ

❶ コピーするシーンをタッチする。

- ☑が付く。

保存

❷ ❶の操作を繰り返して、追加するシーンをすべて選ぶ。

シーンをすべて選ぶとき

☑（チェックマーク）をすべて外して、「全選択」をタッチする。

編集

4 カードにコピーする

❶ 編集 →「コピー［ → ］」をタッチする。

❷「はい」をタッチする。

中止するとき　「中止」をタッチする。

❸「OK」をタッチする。

■ 静止画をコピーする

Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（□171）を確認してください。

再生中の静止画をコピーする

1 静止画再生中 コピー元となる静止画を選ぶ

- 内蔵メモリーに保存されている静止画を選ぶ。

2 画面をタッチする

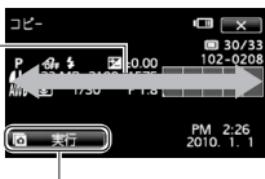
- 操作ボタンが出る。

（編集）
[内蔵メモリー→SD]
[静止画]
（×）

3 コピーを選ぶ

❶ （編集）→「コピー[内蔵メモリー→SD]」をタッチする。

- コピー画面が出る。
- 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。

❷ 「[静止画]実行」→「はい」→（×）をタッチする。

静止画を選んでまとめてコピーする

（インデックス）

1 コピー元となる内蔵メモリーのインデックス画面を出す（□53）

（☑）

2 タッチする

3 静止画を選ぶ

❶ コピーする静止画をタッチする。

- ☑が付く。

❷ ❶の操作を繰り返して、追加する静止画をすべて選ぶ。

静止画をすべて選ぶとき

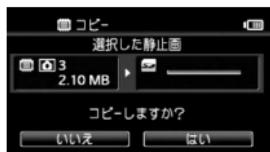
☑をすべて外して、「全選択」をタッチする。

保存

（編集）

4 カードにコピーする

❶ （編集）→「コピー[➔SD]」をタッチする。

❷「はい」をタッチする。

中止するとき　「中止」をタッチする。

❸「OK」をタッチする。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - モードスイッチを切り換えない。
  - ボタンを押さない。
- Eye-Fiカードをコピー先に設定して静止画をコピーすると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（□199）。

コピーできない場合

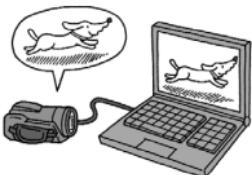
- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。

- カードの空き容量が足りない場合、コピーは中断されます。

パソコンに保存する

撮影した映像は内蔵メモリーやカードに記録されます。万一に備えてパソコンなどに保存(バックアップ)しましょう。

撮る 見る

■ ハイビジョン画質で動画を保存する

付属の動画用ソフトウェアImageMixer 3を使って、本機の内蔵メモリーやカードに記録された動画をパソコンに保存することができます。

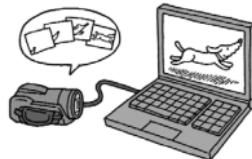
* SDXCメモリーカードをご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」(📖30〜31)をあらかじめご確認ください。

インストールについて

→ PIXELA ImageMixer 3 SEインストールガイド

詳細について

→ ImageMixer 3 の取扱説明書(PDF)

■ 静止画を保存する

付属の静止画用ソフトウェア「フォトアプリケーション」を使って、撮影した静止画をパソコンに保存することができます。詳しくは、フォトアプリケーションVer.34 / 音楽データディスクに入っている「フォトアプリケーション使用説明書」をご覧ください。

準備する

はじめて静止画をパソコンに保存するときは、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

1 パソコン フォトアプリケーションをインストールする

参考 ▸▸ フォトアプリケーション使用説明書の「フォトアプリケーションをインストールする」

2 本機 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

3 本機 静止画見るモードにする

4 本機 取り込む静止画の画面に切り換える

- 内蔵メモリーまたはカードのインデックス画面に切り換える（□53）。

5 本機とパソコンをつなぐ

付属のUSBケーブル

参考 ▸▸ フォトアプリケーション使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコン/🖶」をタッチする。

Windowsのとき

CameraWindowが自動で起動するようにパソコンで設定する。

参考 ▸▸ フォトアプリケーション使用説明書の「CameraWindowを起動する」

Macintoshのとき

CameraWindowが自動で表示される。

参考 ▶▶ フォトアプリケーション使用説明書の「パソコンに画像を取り込む」

パソコンに取り込む

1 パソコンで操作して静止画を保存する

参考 ▶▶ フォトアプリケーション使用説明書の「パソコンに静止画を取り込む」

- パソコンに接続しているときは次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - カードを抜き差ししない。
  - パソコンから本機のメモリー内のフォルダーやファイルを直接操作しない。記録したデータが破損する恐れがあります。映像データをパソコンに保存したり、本機に書き戻したりするときは、付属のImageMixer 3を使って行ってください。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、静止画は必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。

● 本機のACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データが破損することがあります。
 ■ カードカバーを開けない。
 ■ USBケーブルを抜かない。
 ■ 本機やパソコンの電源を切らない。
 ■ モードスイッチや 🎥⇆▶ ボタンを操作しない。

● パソコンに保存した映像を本機に書き戻しているときは、次のことを必ず守ってください。本機に再生できないシーンが残ることがあります。
 ■ USBケーブルを抜かない。
 ■ 本機やパソコンの電源を切らない。

MEMO

● パソコンの説明書もあわせてご覧ください。

● Windows 7、Windows Vista、Windows XPおよびMac OS Xをお使いの場合は、付属のフォトアプリケーションをインストールしなくても、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで静止画をパソコンに取り込めます。

● DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコン/🖶」にすると、パソコンとつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。

● 動画見るモードでパソコンに接続すると、自動的にサムネイルの作成が始まります。その場合は以下の操作を行ってください。
 ① 本 機 「サムネイル作成中」の画面が表示されたら、スキップをタッチする
 ② パソコン 安全な取り外しを行い、USBケーブルを抜く。
 ③ 本 機 静止画見るモードに切り換え、パソコンと接続する。

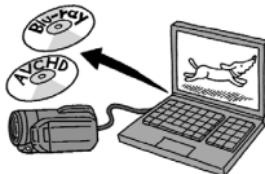
ハイビジョン画質のディスクを作る

付属の動画用ソフトウェアImageMixer 3を使って、ハイビジョンのディスクを作成できます。また、別売のDVDライターDW-100があれば、パソコンを使わなくてもディスクが作れます。

* SDXCメモリーカードをご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」（□30～31）をあらかじめご確認ください。

撮る 見る

■ パソコンを使って作る

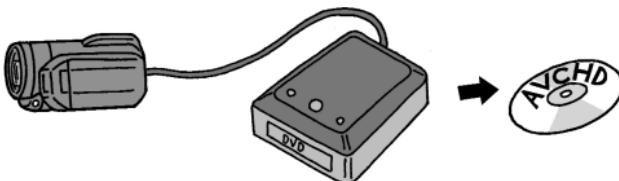
ImageMixer 3を使って、ブルーレイやDVD（AVCHD規格）のディスクを作成できます*。

* パソコンに、書き込み可能なブルーレイドライブまたはDVDドライブが必要です。

インストールについて

→ PIXELA ImageMixer 3 SEインストールガイド

詳細について

→ ImageMixer 3の取扱説明書（PDF）

■ DVDライター（別売）を使って作る

DVDライターDW-100（別売）を使うと、ハイビジョン画質のDVD（AVCHD規格）を作成できます。DVDライターの操作については、DVDライター使用説明書をご覧ください。

本機の準備をする

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 動画見るモードにする

3 保存するデータがある画面に切り換える

- 内蔵メモリー/カードのオリジナル、プレイリストまたはビデオスナップのインデックス画面に切り換える。
- MXPモードのシーンは保存できない。MXPモードのシーンがあるときは、それ以外のシーンのみプレイリストに登録し、ここでプレイリスト画面を出す。

MENU

4 保存するデータを指定する

- 操作3でプレイリストの画面に切り換えた場合は、プレイリストの全シーンが保存されるため、この操作は不要。

❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「DVDライター書き込み指定」をタッチする。

❸ いずれかをタッチする。

全シーン	すべてのシーン。
未作成シーン	DVDに保存したことがないシーン。

* 現在インデックス画面に表示しているメモリーのシーンについて指定します。

❹ × をタッチする。

DVDに保存する

1 DVDライター 電源を入れる

参考 ▸▸ DVDライター使用説明書の「DVDを作成する」

2 本機とDVDライターを接続する

付属のUSBケーブル

参考 ▸▸ DVDライター使用説明書の「接続する」

- 接続準備のあと、「ディスクがありません」が出る。

「接続機器を選択してください」が出たとき

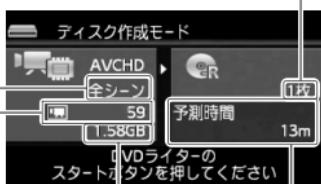
「DVDライター」をタッチする。

3 DVDライター 未使用のディスクを入れる

❶ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを開く。

❷ 未使用のディスクを入れる。

❸ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

保存

「使用済み-RWディスクです」が出たとき

上書きするときは「OK」→「はい」をタッチする。

- 上書きすると記録されていたデータはすべて消去されます。

4 DVDライター スタートボタンを押す

- 本機の画面に書き込み状況が出る。
- スタートボタンを押してディスクの作成を開始した後は中止できません。
- 「終了しました」が出たらディスクを取り出してトレイを閉める。

「未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉じてください」が出たとき

❶ 未使用のディスクを入れる。

❷ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

同じディスクをもう1枚作るとき

未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉める。

作成したディスクを他機で再生する場合

	AVCHD規格対応 DVDプレーヤーまたはブルーレイディスクプレーヤー	AVCHD規格非対応プレーヤー
FXP/XP+/SP/LPモードの映像を保存したDVD	◯ 再生できる	× 再生できない

ご注意：×が付いているプレーヤーにディスクを入れないでください。取り出せなくなることがあります。

- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やDVDライターの電源を切らない。

- 1枚のディスクに入りきらないシーンは、シーンの途中から次のディスクに保存される場合があります。
- 保存するシーン数が多いと、178ページの操作2の接続準備に時間がかかることがあります。保存するシーン数は500シーン以内をおすすめします。その場合、接続準備にかかる時間は約3分以内です。

保存

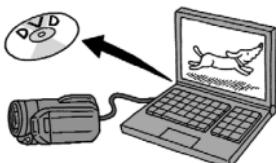
標準画質のDVDやフォトDVDを作る

付属の動画用ソフトウェアImageMixer 3で、DVDを作成できます。また、別売のDVDライターDW-100があれば、パソコンがなくてもDVDを作れます。作ったDVDはDVDプレーヤーなどで再生できます。DVDライターで、静止画をディスクに保存することもできます(フォトDVD)。

* SDXCメモリーカードをご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」(□30〜31)をあらかじめご確認ください。

■ パソコンを使ってDVDを作る

パソコンにImageMixer 3で、標準画質のDVD(DVD-Video規格)を作成できます*。

* パソコンに書き込み可能なDVDドライブが必要です。

撮る　見る

パソコンの準備をする

パソコンを使ってはじめてDVDをつくるときは、ソフトウェアImageMixer 3のインストールが必要です。

インストールについて

→ PIXELA ImageMixer 3 SEインストールガイド

詳細について

→ ImageMixer 3の取扱説明書(PDF)

DVD作成に使うシーンを準備する

DVDを作成する前に、保存する動画を標準画質(SD-Video形式)に変換(ダウンコンバート)します。変換は内蔵メモリーからカードへコピーしながら行います。

1 カードを入れる

2 内蔵メモリーのインデックス画面に切り換える（📖53）

- オリジナル、プレイリストまたはビデオスナップのインデックス画面に切り換える。

3 シーンを選ぶ

- 操作2でプレイリストの画面に切り換えた場合は、プレイリストの全シーンが変換されるため、この操作は不要。

❶ ［☑］をタッチする。

❷ DVDに保存するシーンをタッチする。

- タッチしたシーンすべてに☑が付く。

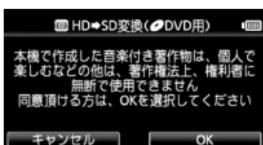
シーンをすべて選ぶとき

☑をすべて外して、「全選択」をタッチする。

4 「HD→SD変換」を選ぶ

［編集］→「HD→SD変換（DVD用）」をタッチする。

著作権に関する確認画面が出たとき

同意する場合は、「OK」をタッチする。

変換後の動画に日時を表示するとき

❶ →「日時記録」をタッチする。

❷「入」→ → をタッチする。

画質を設定するとき

❶ →「ビットレート(画質)」をタッチする。

❷「9 Mbps」または「3 Mbps」→ → をタッチする。

5 変換する

❶「はい」をタッチする。

- 変換が始まり、シーンが再生される。

中止するとき （中止）をタッチする。

❷「OK」をタッチする。

MEMO

- 変換には、撮影時間とほぼ同じ時間がかかります。なお、パソコンより短時間で変換できる場合が多いので、本機での変換をおすすめします。
- プレイリストまたはビデオスナップのシーンを変換する場合、音楽を選曲していると、元の音声が音楽で置き換わります。

プレイリストをDVD用に変換する場合

- 登録されているシーンが1つのシーンとして結合される。
- 変換後のサイズが大きい場合、2GBごとに分割されて別々のシーンになる。
- 変換できる記録時間は、2時間30分まで。

変換した動画を再生するには

「DVD用」のインデックス画面に切り換え（📖53）、シーンをタッチする。

パソコンを使ってDVDを作る

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 本機とパソコンをつなぐ

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコン/🖨」をタッチする。

- パソコンの画面にImageMixer 3のランチャー画面が出る。

3 パソコン ImageMixer 3を操作してDVDを作る

❶「ディスク作成」をクリックする。

❷ 以降は、画面の指示に従って操作する。

参考 ▸▸ ImageMixer 3の取扱説明書（PDF）

保存

- パソコンと接続しているときは､カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。

■ DVDライター（別売）を使ってDVDを作る

お好みのシーンを選んでDVDを作成できます。オリジナルはもちろんのこと、プレイリストやビデオスナップのシーンから選ぶこともできます。プレイリストやビデオスナップのシーンから作るときは、音楽をつけることもできます。

撮る 見る

DVD作成に使うシーンを準備する

DVDを作成する前に、保存する動画を標準画質（SD-Video形式）に変換します。変換は内蔵メモリーからカードへコピーしながら行います。181ページの「DVD作成に使うシーンを準備する」の操作を行う。

DVDを作る

DVDライターの操作については、DVDライター使用説明書をご覧ください。

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 動画見るモードにする

3 カードの「DVD用」のインデックス画面を出す

- 変換後の動画が保存されているカードのインデックス画面に切り換える（□53）。

4 DVDライターをつないでDVDを作る

- 178ページの操作1〜4を行う。

- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やDVDライターの電源を切らない。

MEMO

- 保存するシーン数が多いと、178ページの操作2の接続準備に時間がかかることがあります。保存するシーン数は500シーン以内をおすすめします。

■ DVDライター（別売）を使ってフォトDVDを作る

静止画をフォトDVDとしてディスクに保存できます。フォトDVDを作ると自動的にフォトムービー*1も作成されます。現在インデックス画面に表示されているすべての静止画*2がディスクに保存されます。DVDライターの操作については、DVDライター使用説明書をご覧ください。

*1 静止画が3秒ごとのスライドショーとして再生されます。
*2 カードに記録された静止画を保存する場合、カード内にWeb用のシーンがあると、それらのサムネイル（縮小画像）も保存されます。

撮る 見る

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 静止画見るモードにする

3 保存するデータがある画面に切り換える

- 内蔵メモリーまたはカードの静止画インデックス画面に切り換える。
- 静止画再生中の画面で操作することもできる。

4 DVDライターをつないでフォトDVDを作る

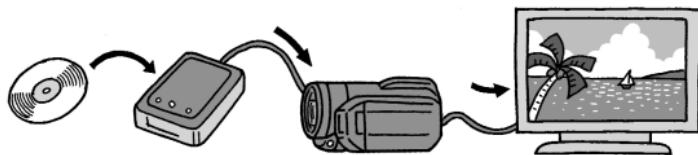
- 178ページの操作1～4を行う。

DVDライター接続時のご注意について（□186）。

DVDライターを使って作ったディスクを見る

DVDライターDW-100（別売）を使って作ったハイビジョン画質のDVDは、本機とDVDライターをつないで再生します。フォトDVD／標準画質のDVDは市販のDVDプレーヤーやパソコンなどで再生できます。

■ ハイビジョン画質のDVDを見る

ハイビジョンテレビにつないで、高精細な映像をお楽しみください。本書とDVDライターの説明書をあわせてご覧ください。

* 本機とテレビの接続については、61ページをご覧ください。

撮る 見る

1 本機とテレビを接続する

2 本機 動画見るモードにする

3 DVDライター 電源を入れて「再生モード」に切り換える

参考 ▶▶ DVDライター使用説明書の「DVDを再生する」

保存

4 本機とDVDライターを接続する

参考 ▶ DVDライター使用説明書の「接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「DVDライター」をタッチする。

5 DVDライター ディスクを入れる

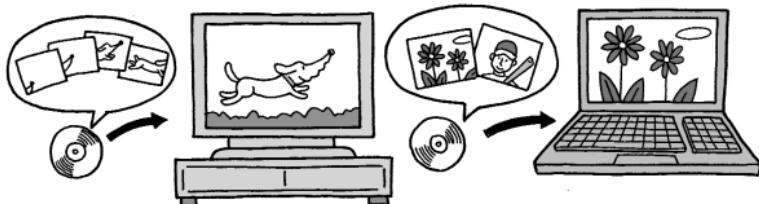
- ディスクの内容がインデックス画面に出る。

6 本機 見たいシーンを再生する

- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。

- DVDライターと接続中は、メニューやFUNC.メニューは使用できません。
- 約60倍の早送り/早戻し以外の再生機能が使用できます（□57）。

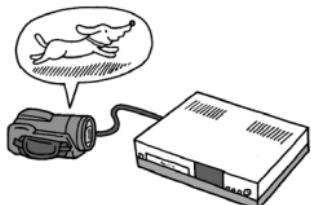
■ フォトDVD／標準画質のDVDを見る

DVDに保存したフォトムービーや標準画質のDVDは、DVD-Video規格に対応したDVDプレーヤーやDVDレコーダーで再生できます。また、静止画はパソコンで見ることができます。なお、フォトムービーはAVCHD規格ではありません。

● フォトDVDや標準画質のDVDは、DVDライターDW-100では再生できません。

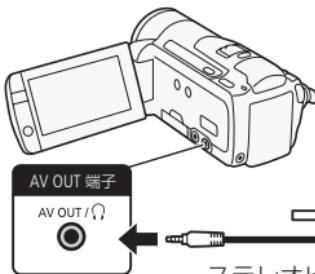
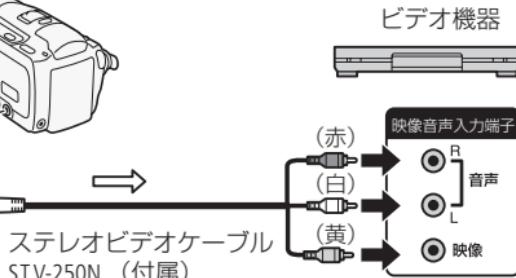
ビデオ機器にダビングする

撮影した映像を他のビデオ機器にダビングすることができます。

撮る 見る

■ ハイビジョン画質のままダビングする

USBケーブル(付属)でAVCHD規格対応のレコーダーなどと接続すれば、ハイビジョン画質のままダビングできます。また、レコーダーがお使いのカードに対応している場合は、カードからダビング可能です。なお、本機との動作確認については、お使いのレコーダーの説明書やホームページなどでご確認ください。

■ 標準画質に変換してダビングする

本機で撮った動画を映像／音声端子付きのビデオ機器にダビングできます。画質は標準画質に変換されます。

接続する

ダビングする

1 本機 動画見るモードにする

2 本機 メニューの設定を確認する

MENU

- メニューの「AV/ヘッドホン」が「AV」になっていることを確認する（□266）。

3 録画機 録画一時停止状態にする

4 本機 シーンをタッチして再生する

- 画面に表示される日時などを入れて録画するには、DISP.ボタンを押して好みの表示に切り換える（□118）。

5 録画機 録画を始める場面で、録画操作をする

6 録画機 録画を終える

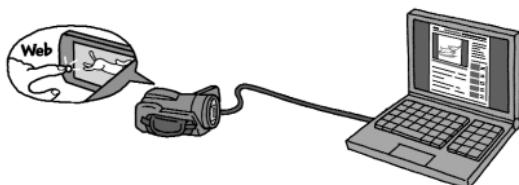
7 本機 再生を終える

画面上をタッチ→［■］をタッチする。

MEMO
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせず録画できます。

動画共有サイトにアップロードする

WEBボタンと付属の動画用ソフトウェアImageMixer 3を使うと、撮影した映像を簡単に動画共有サイト(YouTube)にアップロードできます。Eye-Fiカードを使ってアップロードすることもできます。

■ WEBボタンを使ってアップロードする

撮る 見る

準備する

はじめてパソコンからアップロードするときは、ソフトウェアImageMixer 3のインストールが必要です。

インストールについて

→ PIXELA ImageMixer 3 SEインストールガイド

詳細について

→ ImageMixer 3の取扱説明書(PDF)

動画をWeb用に変換(ダウンコンバート)する

はじめに、アップロードする動画を標準画質(MPEG2形式)に変換します。変換は内蔵メモリーからカードへコピーしながら行います。

1 カードを入れる

2 内蔵メモリーのインデックス画面に切り換える（□53）

- オリジナル、プレイリストまたはビデオスナップのインデックス画面に切り換える。

3 シーンを選ぶ

- 操作2でプレイリストの画面に切り換えた場合は、プレイリストの全シーンが変換されるため、この操作は不要。

❶ ［☑］をタッチする。

❷ DVDに保存するシーンをタッチする。

- タッチしたシーンすべてに☑が付く。

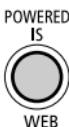
表示中の全シーンを選ぶとき

☑をすべて外して、「全選択」をタッチする。

シーンの途中から変換するとき

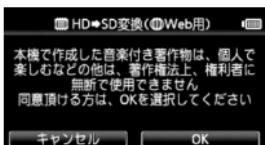
① ❶、❷を行わないで、変換するシーンをタッチする。

② 画面をタッチして操作ボタンを出す。

③ 好みの位置で再生一時停止にする。

4 押す

著作権に関する確認画面が出たとき

同意する場合は、「OK」をタッチする。

変換に必要な容量
記録時間

変換後の動画に日時を表示するとき

① →「日時記録」をタッチする。
② 「入」→ → をタッチする。

画質を設定するとき

① →「ビットレート(画質)」をタッチする。
② 「3 Mbps」または「9 Mbps」→ → をタッチする。

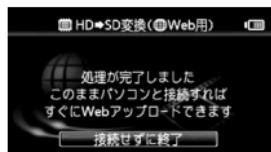
- 3Mbpsは9Mbpsよりデータ容量が小さくなるため、アップロード時間が短くなる。

5 変換する

「はい」をタッチする。

- 変換が始まり、シーンが再生される。

中止するとき ■(中止)をタッチする。

- 変換が終わると右の画面が出る。

パソコンからアップロードする

1 本機とパソコンをつなぐ

- パソコンの画面にImageMixer 3のランチャー画面が出る。

2 パソコン ImageMixer 3を操作してアップロードする

❶「Webアップロード」をクリックする。

❷ 以降は、画面の指示に従って操作する。

参考 ImageMixer 3の取扱説明書（PDF）

- パソコンと接続しているときは､カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。

- 変換には、撮影時間とほぼ同じ時間がかかります。なお、パソコンより短時間で変換できる場合が多いので、本機での変換をおすすめします。

- 195ページの操作5で「接続せずに終了」をタッチした場合、アップロードするときは動画のインデックス画面に切り換えてからパソコンに接続してください。詳しくはImageMixer 3の取扱説明書(PDF)をご覧ください。
- プレイリストまたはビデオスナップのシーンを変換する場合、音楽を選曲していると、元の音声が音楽で置き換わります。

プレイリストをWeb用に変換する場合

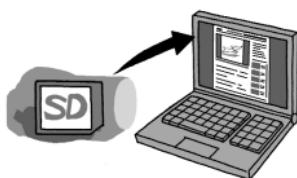
- 登録されているシーンが1つのシーンとして結合される。
- 変換後のサイズが大きい場合、10分ごとに分割されて別々のシーンになる。
- 変換できる記録時間は、2時間30分まで。

- 再生一時停止状態で変換すると、一時停止位置から最大で10分間のシーンになります。

変換した動画を再生するには

「Web用」のインデックス画面に切り換え(□53)、シーンをタッチする。

■ Eye-Fiカードを使ってアップロードする

動画のアップロードに対応したEye-Fiカード(市販)を使うと、内蔵メモリーに撮影した動画を標準画質(MPEG2形式)に変換するだけで、自動的に動画共有サイトにアップロードできます。

撮る 見る

準備する

あらかじめ、Eye-Fiカードに付属しているソフトウェアをパソコンにインストールして、アップロードに必要な設定を行う必要があります。詳しくは、お使いのEye-Fiカードの説明書をご覧ください。

動画をアップロード用に変換（ダウンコンバート）する

1 Eye-Fiカードを入れる

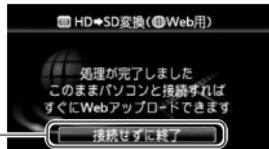
- 事前に「ご注意」（□199）を確認してください。

2 シーンを選んで、アップロード用に変換する

❶ 194ページの操作2～5を行う。

- 変換が終了すると、自動的にアップロードが始まる。

❷ 「接続せずに終了」をタッチする。

- Eye-Fiカードの通信状態は、次のマークで確認できる。

（灰色）	未接続。
（白色点滅）	接続中。
（白色）	データの送信待機中。
（アニメーション）	データを送信中。
OFF	メニューの「Eye-Fi通信」を「切」に設定している。
	中断中。
	カード情報取得エラー（□208）。

保存

POINT Eye-Fi通信を無効にする

次の操作を行うと、Eye-Fi通信を無効にできます。

❶ [MENU]（メニュー）→[ ]をタッチする。

❷「Eye-Fi通信」→「切」をタッチする。

❸ [×]をタッチする。

ご注意

- 弊社は、Eye-Fiカードの機能（無線送信を含む）については保証いたしかねます。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。
- 航空機の機内など、無線の使用が禁止されている場所では、Eye-Fiカードを使用しないでください。カードはあらかじめ本機から抜いてください。

- データの容量が大きいときや通信状態によっては、アップロードに時間がかかることがあります。また、通信状態が悪くなると、アップロードを中断することがあります。

MEMO 電源について

■ Eye-Fiカードによる通信は、バッテリーの消耗を早めます。本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずアップロードできます。
■ アップロード中は、「パワーセーブ」メニューの「オートパワーオフ」は働きません。

- 通信中に、外部マイクを使用して動画を撮影すると、記録される音声に雑音が入ることがあります。外部マイク使用時は、メニューの「Eye-Fi通信」を「切」にすることをおすすめします。
- Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にしていると、メニューの「Eye-Fi通信」で通信機能をON/OFFすることはできません。また、通信状態を表すマークは が表示されます。通信機能を使用するときは、誤消去防止ツマミのLOCKを解除してください。
- Eye-Fiカード使用中は、定期的にACCESSランプが点灯することがあります。

Chapter

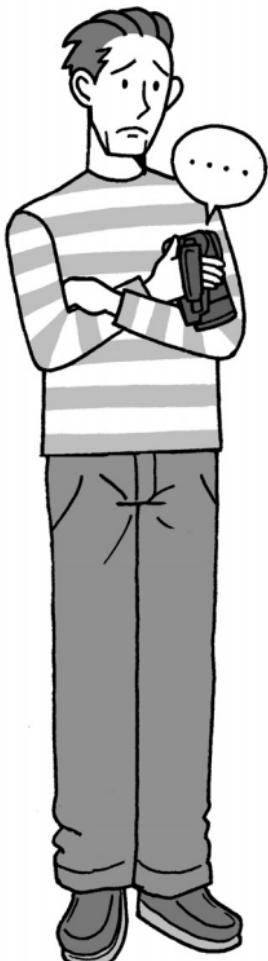
6

ふろく

Additional Information

故障かな？

修理に出す前にこの「故障かな？」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（□291）またはご購入になった販売店にご相談ください。

まずココを確認しよう！

電源

□ バッテリーは充電されていますか？（□20）

□ 本機はコンパクトパワーアダプターで正しく接続されていますか？（□20）

撮影するとき

□ 電源を入れて撮るモードにしていますか？見るモードになっているときは 撮る⇆見る ボタンを押してください。

□ カードに記録する場合は、本機にカードが入っていますか？（□32）

再生するとき

□ 電源を入れて見るモードにしていますか？撮るモードになっているときは 撮る⇆見る ボタンを押してください。

□ カードから再生する場合は、本機にカードが入っていますか？（□32）

その他

□ 本機を振るとカタカタ音がするときは？撮るモードにして音がしなければ、内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

電源

こんなときは	どうするの？	
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	●バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ●バッテリーを正しく取り付け直す。	20
	●撮影モードを「水中」または「水上」に設定しているときに、ビデオカメラが高温になると、電源が自動的に切れることがある。	—
バッテリーが充電できない。	●電源を切ってから充電する。 ●バッテリーの温度が0 ℃未満になったかまたは40 ℃を超えている。0 ℃未満の場合はバッテリーを温めてから、40 ℃を超えた場合は放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ●周囲の温度が0 ℃〜40 ℃のときに充電する。 ●バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ●本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、充電できない。	20
コンパクトパワーアダプターから音がする。	●コンパクトパワーアダプターを使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	●バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

■ 撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 ● メモリーに空き容量がない。または3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	— 35 59 135
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始/終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	93 245
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／●II撮影一時停止／▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	35 172
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	35 172

こんなときは	どうするの？	📖
動画撮影中、静止画を記録できない。	● 次の場合は動画撮影中に静止画を記録できない。 ・メニューの「静止画同時記録」を「OFF（切）」に設定しているとき。 ・ズーム倍率がデジタルズーム領域のとき。 ・デジタルエフェクト実行中。	—
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	291

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	📖
プレイリストに追加できない。	● プレイリストには999シーンまでしか追加できない。MXP/FXPモードとそれ以外のモードのシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。 ● 他機で記録・編集したシーンは、プレイリストに追加できないことがある。 ● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	— 35 59 135

こんなときは	どうするの？	📖
プレイリストのシーンの並べ換えができない。	● メモリーの空き容量がない。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	35 59 135
シーンの消去ができない。	● 他機で記録・編集をしたシーンは消去できないことがある。	—
シーンの消去に時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	35 172
静止画を消せない。	● 静止画のプロテクト設定を解除する。	155
ビデオスナップを作成できない。	● 他機で記録したシーンからは作成できない。 ● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	35 59 135
音楽と映像を組合せて再生した場合、正しく再生できない。	● 記録や消去を繰り返したメモリーに音楽を転送すると、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。音楽を転送し、動画や静止画を書き戻す。 ● ImageMixer 3を使って音楽を転送中に、USBケーブルが抜けると、本機で再生できない音楽ファイルになることがある。その曲を消去してから、転送し直す。 ● カードの読み取り速度が遅い。推奨のカードを使う。	35 172 114 30
プレーヤーの音楽と連動して再生できない。	● オーディオプレーヤーの音量が小さいと、連動しないことがある。プレーヤーの音量を上げる。	—

こんなときは	どうするの？	📖
シーンを分割できない。	● 他機で記録・編集したシーンは分割できない。 ● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	— 35 59 135
シーンまたは静止画をコピーできない。	● 他機で記録したシーンや静止画はコピーできないことがある。	—
シーンまたは静止画を選択できない。	● シーンや静止画は、100個を超えて選択できない。 ● 選択する数を減らすか、「全選択」を使う。	—

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で [バッテリー] が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	20
画面に [?] が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
[SD] が赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。 ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、動画または静止画を消す。	32 35 32 59 135

こんなときは	どうするの？	📖
⚡が赤く点滅する。	● 本機が故障している。カメラ修理受付センターにご相談ください。	291
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	● 撮影したシーンをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
画面に🌡が出る。	● 撮影モードを「水中」または「水上」に設定しているときに、ビデオカメラが高温になった。電源を切って涼しい場所で冷ます。	75
充電中にCHGランプが速く点滅する。	● ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ （0.5秒に1回の点滅） コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。	291
充電中にCHGランプがゆっくりと点滅する。	● ☀ ☀ （2秒ごとに1回の点滅） バッテリーの温度が0 ℃未満になったかまたは40℃を超えている。0 ℃未満の場合はバッテリーを温めてから、40℃を超えた場合は放置して40 ℃以下になってから、充電を開始する。 ● 周囲の温度が0 ℃～40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	20
画面に📶が出る。	● Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミが「LOCK」側になっている。LOCKを解除する。 ● Eye-Fiカードから情報が取得できなかった。本機の電源を入れ直す。頻繁に発生する場合は、カードの不具合の可能性がある。カードメーカーに問い合わせる。	—

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
液晶画面が暗い。	● バックライトが低輝度設定になっている。DISP.ボタンを約2秒以上押すと解除できる。	26
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しない場合は、メニューの「設定初期化」を行う。すべての設定が解除される。	21 271
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	238
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。撮影モードを **Tv** にしているときは **P** に切り換えると軽減する。故障ではない。	87
動画の音声に雑音が入る。	● Eye-Fiカードの通信中に外部マイクを使用して動画を撮影すると、記録される音声に雑音が入ることがある。メニューの「Eye-Fi通信」を「切」にする。	267

こんなときは	どうするの？	📖
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にするか、マイクレベルを手動で調整する。	103 260
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ステレオビデオケーブルをはずす。 ● メニューの「AV/ヘッドホン」を「AV」にする。	51 — 266

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	32
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画や静止画を消す。 ● はじめて使用するときは、カードを初期化する。	30 59 135 35
カードに記録できない。	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 ● 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。 ● 静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「静止画番号」を「オートリセット」にする。	32 30 265

こんなときは	どうするの？	📖
リモコンが動作しない。	● メニューの「リモコンセンサー」を「入」にする。 ● リモコンの電池を交換する。	269 23
Eye-Fiカードからアップロードできない。	● メニューの「Eye-Fi通信」が「切」になっている（画面に が出る）。「オート」にする。 ● 電波状況が悪いときは、液晶画面を開くと改善することがある。 ● 通信中に、本機が高温になる、通信状況が悪くなる、などによって通信が停止することがある（画面に が出る）。電源を切って本機を冷ます。または、通信状況の良い場所に移動する。 ● カードメーカーに問い合わせる。	267 — — —

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	—
再生しても、テレビに映像が出ない。	● テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	—
テレビで音声が出ない。	● D端子ケーブルでテレビにつなぐときは、音声を出力するためにステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。	63

こんなときは	どうするの？	📖
HDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
HDMI機器制御機能が動作しない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機とテレビの電源を入れ直す。	—
	● 本機の「HDMI機器制御」が「切」になっているので、「入」にする。	270
	● テレビのHDMI機器制御機能が無効になっているので、有効にする。	—
	● テレビによってHDMI機器制御機能でできることが異なる。テレビの説明書を確認する。	—
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコン/🖶」にする。	266
	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。	—
	● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	
	● 静止画の消去中は、パソコンにつないでも認識されない。	
正しく接続しているのにプリンターが動作しない。	● メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコン/🖶」にする。	266
	● 接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直す。	—
	● 2500枚以上の静止画があると、PictBridge対応プリンターに接続できない。	

こんなときは	どうするの？	📖
プリンターと接続時、「処理中…」が表示されたままになる。	● USBケーブルを一度抜き、つなぎ直す。	—
正しく印刷されない。	● 他機で記録・作成・加工した静止画やファイル名が変更された静止画はPictBridge対応プリンターで正しく印刷されないことがある。	—
静止画をパソコンに取り込めない。	● 内蔵メモリーまたはカードに2500枚以上（Windows）/1000枚以上（Macintosh）の静止画があると、パソコンに取り込めないことがある。	—
	● カードリーダーなどを使って取り込む。内蔵メモリーの場合は、静止画をカードにコピーしてからパソコンに取り込む。	169
正しく接続しているのにDVDライターが認識されない。	● メニューの「USB接続指定」が「パソコン/🖶」になっているときは、「接続時に選択」か「DVDライター」にする。 ● SDXCメモリーカードに記録したデータは、DVDライターDW-100（別売）を接続してDVDを作成することはできない。DVDライターでDVDを作成したい場合は、ビデオカメラの内蔵メモリーか、SDHCカードメモリーカードに記録する。 ● SDXCメモリーカードのデータを選んで、DVDライターと接続した場合は、正しく動作しない。本機からUSBケーブルを抜き、DVDライターの電源を切る。	266

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。本機使用時、DVDライター接続時（📖225）、プリンター接続時（📖227）の3つの場合のメッセージについて説明しています。

■ 本機使用中に表示されるメッセージ

メッセージ	どうするの？	📖
空き容量が不足しています	● カードの不要な動画・静止画を消去するか、「ビットレート（画質）」を「3Mbps」に設定する。	59 135 183 195
カードカバーがあいています	● カードを入れたらカードカバーを閉じる。	32
カードがありません	● カードを本機に入れる。	32
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画や静止画を消す。	59 135
カード シーン数がいっぱいです	● カードに3999シーン記録されているため、動画のコピーができない。カードの不要な動画を消す。	59
カードにアクセス中です カードを取り出さないでください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—
カードにシーンがあるためリレー記録できません	● カードの動画をバックアップしたあと、カードの動画をすべて消去する。	172

ふろく

メッセージ	どうするの？	📖
カード 認識できない記録方式です	● カードに記録されている動画のテレビ方式が異なるため再生できない。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	32
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	32
カードを確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 ●「カードを確認してください」が4秒後に消えて[SD]が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。[SD]が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	32 — 30 35 172

メッセージ	どうするの？	📖
顔を検出していないシーンです	● 表示中のシーンは顔が検出されていない。フェイスキャッチ＆追尾をONに設定し、顔を検出させて撮影する。	81
書き込みエラーがあります 他の機器で使用していなければ修復を推奨します カードを修復しますか？	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「はい」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨します。	—
画像がありません	● 静止画を撮影する。	38
記録できません	● ビデオスナップは、他機で記録したシーンから作れません。 ● メモリーに異常があるため、記録できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	291
記録できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、記録できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	35
記録できません 内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、記録できない。 ● 内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	35 291
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードを入れた。クラス2、4、6または10のカードを使用する。	30

メッセージ	どうするの？	📖
このカードでは録画モードXP+/SP/LPを推奨します	● 録画モードをMXP/FXPにすると、動画が正しく記録できないことがある。	—
このカードは動画記録できません	● 64 MB以下のカードは動画の記録・再生ができない。推奨のカードを入れる。	30
このカードは動画再生できません		
このカードは動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	35
このカードは動画再生できません 本機で初期化してお使いください		
コピーできません	● カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消すか、コピーするシーンを減らす。 ● 記録可能なシーン数を超えた。不要なシーンを消す。	59
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● メモリーに異常があるため、再生できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	291

メッセージ	どうするの？	📖
再生できません カードを確認してください	●カードに異常があるため、再生できない。 ●カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	35
再生できません 内蔵メモリーにアクセスできません	●内蔵メモリーに異常があるため、再生できない。内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	35 291
シーンがありません	●動画を撮影していないならば、撮影する。 ●顔が検出されたシーンで絞り込みを行ったときに、フェイスキャッチ機能で顔を記録したシーンがなかった。	35 —
シーン数がいっぱいです	●記録可能なシーン数を超えた。不要なシーンを消す。 ●プレイリストには999までしか追加できない。不要なシーンを消す。	59 121
シーン番号を選択してください	●動画管理情報が異なる同一日付が複数あった。日付変更線の付近で撮影したり、パソコンで編集したシーンを本機に書き戻したりすると、このようになることがある。いずれかを選択する。	—
時間が長すぎます	●HD→SD変換を行うプレイリストの記録時間が、2時間30分を超えている。プレイリストのシーンを減らす。	121
消去ができないシーンがありました	●他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。	—

メッセージ	どうするの？	📖
使用するには → **M**に切り替えてください	● デュアルショットでは使えないボタンを押した。モードスイッチを**M**（マニュアル）にして操作する。	66 137
処理中です 電源をはずさないでください	● 内蔵メモリーまたはカードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで、そのまま待つ。	—
水中（水上）モードです PHOTOボタンを押しながら電源を入れると、水中モードと水上モードが切り替わります	● 表示の操作を行うと、本機をウォータープルーフケースに入れたまま、撮影モードの「水中」と「水上」を切り換えられる。	75
スタンバイに入れません	● バッテリー残量が少なくなっているときは、スタンバイに入れない。バッテリーを充電する。	20
静止画は消去できません	● プロテクトされた静止画は消去できない。静止画のプロテクト設定を解除する。	155
静止画は消去できませんでした		

メッセージ	どうするの？	📖
静止画像が多すぎます　USBケーブルをぬいてください	● メモリーに記録されている静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、静止画をカードにコピーしたあと、カードリーダーなどを使用して静止画をパソコンに移動する。または、不要な静止画を消す（プリンター/Windowsパソコン：2500枚未満に。Macintochパソコン：1000枚未満に）。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● パソコンの場合、OSの設定によってはパソコンのモニターに画面が出ることがある。画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	169 —
静止画モードです	● モードスイッチが**M**で、静止画モードになっているときにSTART/STOPボタンを押した。動画を撮るときは、デュアルショットまたは動画モードにする。	38 66
追加できないシーンがありました	● 他機で記録したシーンはプレイリストに追加できないことがある。 ● MXP/FXP（録画モード）とそれ以外のシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。不要なシーンを消す。	121
追加できませんでした	● MXPモード、FXPモードまたはそれ以外のシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。不要なシーンを消す。	121

メッセージ	どうするの？	📖
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、記録メモリーを初期化する。	35 172
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	172
内蔵メモリーがいっぱいです	● 内蔵メモリーに空き容量がない。画面に「▣END」が出る。不要な動画を消すか、動画と静止画をバックアップして内蔵メモリーを初期化する。	35 59 172
内蔵メモリーが認識できません	● 内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。	291
内蔵メモリーから動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	35
内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。	291
内蔵メモリーに動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	35
認識できない記録方式です	● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。	—

メッセージ	どうするの?	📖
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください コンパクトパワーアダプターを接続してください	● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● コンパクトパワーアダプターをつないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、データの転送や書き戻しができる。	—
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください 書き込みできない接続方法です 書き込む場合はコンパクトパワーアダプターを接続してからUSBを接続しなおしてください	● コンパクトパワーアダプターをつながないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作や書き込みはできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● 本機のメモリー内にデータを書き込む場合は、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、コンパクトパワーアダプターを接続してから、USBケーブルを接続しなおす。	—
バックライトが低輝度に設定されています	● 明るくするときは、DISP.ボタンを2秒以上押す。	26

メッセージ	どうするの?	📖
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか?	●キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ●キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	291
バッテリーパックを取り替えてください	●バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	20
バッファオーバーです 記録を中断しました	●カードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。SDスピードクラス2、4、6または10のカードを使用する。 ●撮影や編集を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを初期化してから使用する。	30
ファイル名が作成できません	●フォルダー番号や静止画番号が最大になった。「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画をすべて消す。	35 135 265
プレイリスト登録数オーバーです 分割できません	●プレイリストに映像が999シーンあると、プレイリストに登録しているシーンを分割できない。プレイリストの不要なシーンを消す。	121
分割できません	●本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。動画と静止画をバックアップして、記録メモリーを初期化する。シーンを本機に書き戻して、再度分割を行う。	35 172
分割できません 初期化が必要です		

メッセージ	どうするの?	📖
変換できないシーンがあります	● 変換元に、他機で記録した24p方式のシーンが含まれている。他機で記録したシーンを変換対象からはずす。	—
変換できません	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。	32
		30
	● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。	—
	● 変換するシーンの総記録時間が短すぎる。合計0.5秒以上シーンを選ぶ。	35
	● ファイル名が作成できなかった。メニューの「静止画番号」を「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画と標準画質の動画(Web用/DVD用)をすべて消す。	265
編集できません	● プレイリストでシーンの移動ができなかった。プレイリストの不要なシーンを消す。	121
本機で記録したシーンではありません コピーできません	● 他機で記録したシーンはコピーできない。	—
本機で記録したシーンではありません 追加できませんでした	● 他機で記録したシーンはプレイリストに追加できない。	—
本機で記録したシーンではありません 分割できません	● 他機で記録したシーンは分割できない。	—

メッセージ	どうするの？	📖
本機で記録したシーンではないためコピーできないシーンがあります	● 他機で記録したシーンが含まれた動画はコピーできない。	—
本機で初期化してお使いください	● メモリーに異常があるためアクセスできない。内蔵メモリーまたはカードを本機で初期化する。	35
レンズカバーが開ききっていません 電源を入れなおしてください	● 撮影開始時、レンズカバーが正常に開かなかった。電源を入れ直しても解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	291
MXPではDVD(AVCHD)記録できません	● MXPモードで撮影した動画は、DVDライターDW-100（別売）を使って、ハイビジョン画質のDVD（AVCHD形式）に保存	70

■ DVDライター（別売）接続中に表示されるメッセージ

メッセージの対処方法についてはDVDライターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
カードカバーを閉めてください	● DVDライターと接続中はカバーを開けない。	32

メッセージ	どうするの？	📖
コピーが中断されました	● USBケーブルがはずれたため、ディスクの作成を中断した。USBケーブルを確認する。 ● MXPモードのシーンは保存できない。MXPモード以外のシーンのみプレイリストに登録して、保存する。	— 119 177
コンパクトパワーアダプターを接続してください	● 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ。	—
シーンがありません	● ディスクに保存できるシーンがビデオカメラにない。	—
静止画がありません	● ディスクに保存できる静止画がビデオカメラにない。	—
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、記録メモリーを初期化する。	35 172
ディスクがありません	● ディスクを入れる。 ● 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	178 243
ディスクが認識できません ディスクを確認してください	● ディスク作成時に、8 cmのディスクや市販のDVDソフトウェアなどを入れた。未使用のディスクを入れる。 ● ディスク再生時に、未使用のディスクや市販のDVDソフトウェアなどを入れた。DVDライターで作成したディスクを入れる。	—

メッセージ	どうするの？	📖
ディスクへのアクセスに失敗しました ディスクを確認してください	●ディスクの書き込み中または読み込み中にエラーが発生した。 ●結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 ●ディスクを取り出し、汚れていれば柔らかい布でふき取って、DVDライターに入れ直す。それでも解決しない場合は、別のディスクに交換する。	— 243 —
ビデオカメラから読み出せません	●USBケーブルがはずれていないか確認する。	—
未作成シーンがありません	●ディスクにまだ保存していないシーンがビデオカメラにない。	—

■ プリンター接続中に表示されるメッセージ

メッセージの対処方法については、プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どうするの？
インクエラー	●インクの残量を正しく検知できないか、またはインクがない。インクを交換する。
インクがありません	●インクが正しく入っていない、またはインクがない。インクを交換する。
インクが残りわずかです	●インクの交換時期が近づいている。「続行」をタッチすると、印刷を再開する。

メッセージ	どうするの？
インク吸収体が満杯です	●お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）に、インク吸収体の交換を依頼してください。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできません。
印刷エラー	●「用紙設定」で選んだ用紙にプリンターが対応していない。「標準設定」またはプリンターが対応している用紙を選ぶ。 ●「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。プリンターの状態を確認する。
紙間レバー位置が不正です	●紙間レバー位置を正しい位置に直す。
通信エラー	●「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。 ●大量の静止画が記録されたカードを使って印刷しようとした。静止画の枚数を減らす。
ハードウェアエラー	●「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 ●プリンターの状態を確認する。 ●インクに異常がある。インクを交換する。
ファイルエラー	●他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。

メッセージ	どうするの?
プリンターカバーが開いてます	●プリンターのカバーを閉じる。
プリンタートラブル発生	●修理が必要なエラーが起きている可能性がある。キヤノン製プリンターの場合、電源ランプ(緑色)とエラーランプ(オレンジ色)が交互に点滅する。USBケーブルを抜いた後、プリンターの電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。修理受付窓口(プリンターに付属の一覧参照)にご相談ください。
プリンターは使用中です	●プリンターが使用中。プリンターの状態を確認する。
プリントヘッド未装着	●プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良。
用紙エラー	●用紙に異常がある。プリンターの用紙が正しく入っていないか、用紙サイズが間違っている。 ●排紙トレイが閉じているときは、開ける。
用紙がありません	●プリンターに用紙が正しく入っていない、または用紙がない。
用紙が詰まりました	●印刷中に用紙が詰まった。[中止]を選んで印刷を中止する。用紙を取り除き、用紙を入れ直してから再度印刷する。

キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズについて

- プリンターのエラーランプが点滅しているときや、操作パネルや接続したテレビにエラーメッセージが出ているときは、必ずプリンターの説明書でご確認ください。
- 本書やプリンターの説明書を参考に対処をしてもエラーメッセージが表示されるときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

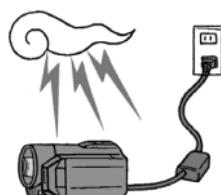
こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落としてこわした
- 内部に水や異物が入った

▶ **バッテリーをはずして、電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（□291）に問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。
➤ 火災　感電　けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。 ➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 ➤ 感電

ぬらさない。 ➤ 火災　感電　やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。

➤ 皮膚の傷害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。

➤ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。

➤ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

禁止

電源コードについて次のことを守る。

➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

禁止

バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。

➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。➤ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。➤ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。

➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

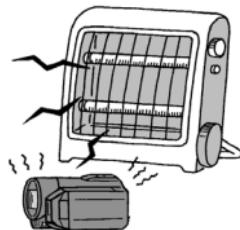
➤ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入る恐れあり。

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。

➤ 火災 やけど けが

発熱や破裂の恐れあり。

運転中に使用しない。➤ 交通事故

禁止

不安定な場所に置かない。

➤ けが

落下、転倒の恐れあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。

➤ 感電 けが

ふろく

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

強制

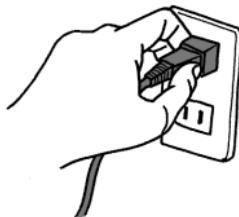
電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

➤ 火災 感電

強制

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。

➤ 火災 感電

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。

➤ けが 交通事故

⚠注意 傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。

➤ やけど

発熱の恐れあり。

禁止

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。

➤ 火災

内部に熱がこもる恐れあり。

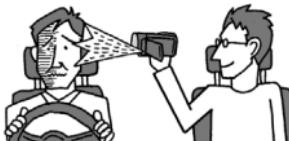
フラッシュやミニビデオライトを目に近づけて発光しない。

➤ けが

目を痛める恐れあり。特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れる。

禁止

車の運転者に向けてフラッシュやミニビデオライトを使用しない。

➤ 交通事故

フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。

➤ やけど

コード類は、つまずかないように配置する。➤ けが

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

強制

バッテリー、リストストラップ、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが

バッテリーやテレコンバーター、ワイドコンバーターなどを取り外すときは、落とさないように気をつける。

➤ けが

ふろく

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ➤ 火災

なるべくビデオカメラを固定して撮影する。

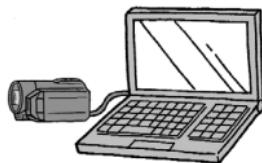
撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こす恐れがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休めてください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

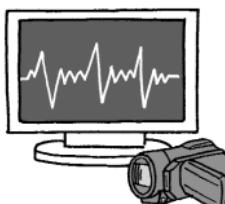
■ ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

テレビの上などで使わない

プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。

太陽にレンズを向けない

太陽や強いライトなどにレンズを向けると内部の部品が溶けることがあります。

液晶画面を...

つかんでもちあげない

➔ 液晶画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない

➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなどの尖ったものでタッチしない

➔ タッチパネルが破損することがあります。

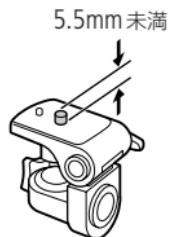
強くタッチしない

➔ タッチパネルの表示がムラになったり、液晶画面の接合部が破損することがあります。

保護シートなどを貼らない

➔ タッチパネルは圧力を感知するタイプのため、正しく動作しなくなることがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されない場合があります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

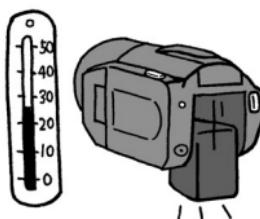
- インテリジェントシステム（📖251）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャーCG-800（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10 ℃～30 ℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30 ℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。

- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

❶電源を切る
❷本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ

■ その他のご注意

個人情報の流出に注意（譲渡・廃棄するときは）

内蔵メモリーやカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。

譲渡するときは

一度内蔵メモリーの完全初期化（📖35）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、データの復元を困難にすることができます。

破棄するときは

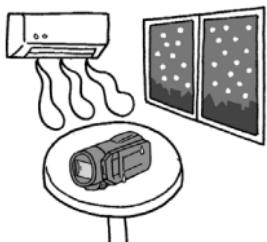
内蔵メモリーやカードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ　http://www.jbrc.com

○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。

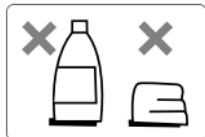
○ 被覆をはがさないでください。

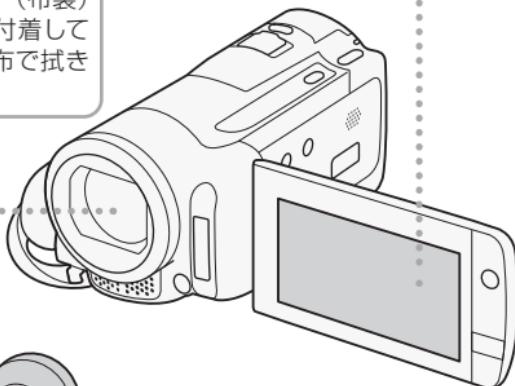
○ 分解しないでください。

日常のお手入れ

本体がよごれたときは

柔らかい布で拭こう

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。

液晶画面

市販の眼鏡クリーナー(布製)で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。

自動でピントが合わない？
レンズやハイスピードAFセンサーが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

ハイスピードAFセンサー

市販の眼鏡クリーナ(布製)で拭きます。

レンズ

ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー(布製)で拭きます。

海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

■ 充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（AC100～240 V 50／60 Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。
コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障する恐れがあります。

国や地域によって変換プラグが異なります

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A
メキシコ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
カナリア諸島	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

ふろく

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

■ テレビで見る

本機は撮影した動画をNTSC方式で記録します。以下の国や地域ではNTSC方式を採用しているため、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 大韓民国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NTSC方式を採用している国や地域　－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－）

旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像を現地時間で記録できます。

1. 「時計を合わせる」(□28)の操作1～操作3❷までを行う。

2. ✈の項目をタッチする。

3. (▲)/(▼)をタッチして、旅行先を選ぶ。

旅行先がサマータイムのとき

☀をタッチする。

4. (⮌)をタッチする。

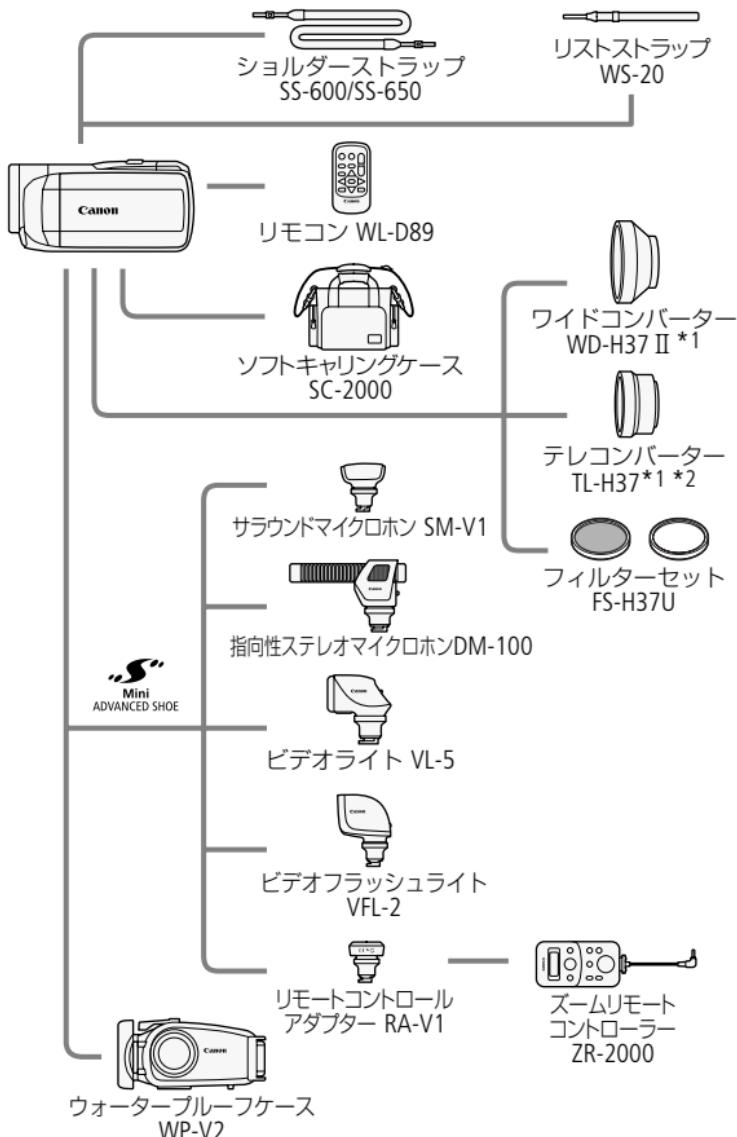
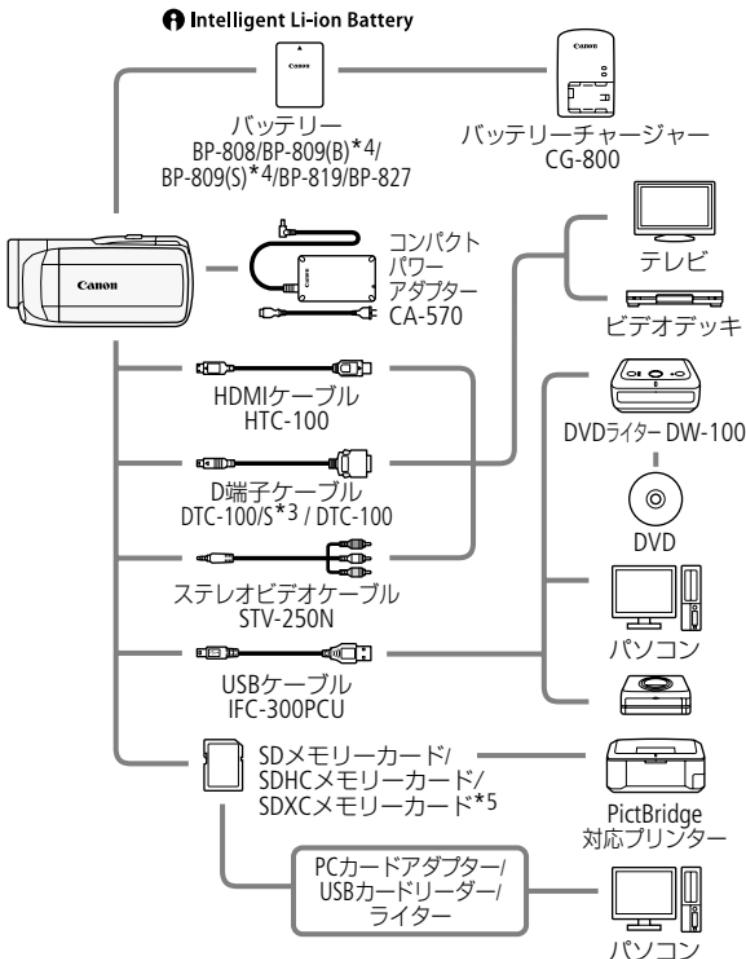
5. 「時計を合わせる」(□29)の操作4～5を行う。

旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作2で、🏠の項目をタッチする。

2. (×)をタッチする。

アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。

*1 ミニビデオライトやフラッシュを併用すると影が出ることがあります。

*2 本機に取り付けると、ピントの合う距離はズームのT端で約2.3 mとなります。

*3 本機の付属品です。別売していません。

*4 付属品とは形状・色が異なりますので、あらかじめご了承ください。

*5 ご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」（□30～31）をあらかじめご確認ください。

- **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**
  本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
  なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは、本機の「ミニアドバンストシュー」には取り付けられません。本機には、右記のマークが表示されているミニアドバンストシュー対応アクセサリーをご利用ください。

MEMO

インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-808は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャーCG-800（別売）でのみ使用／充電できます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

FUNC.／編集メニューの紹介

撮影時の設定に使用するFUNC. メニューと、再生時に様々な編集操作を行うための編集メニューとがあります。FUNC. メニューは、ご購入時には .... がついた内容に設定されています。各機能の詳細は、📖覧のページをご覧ください。

撮影時に使う「FUNC.メニュー」

機能	設定内容	動画	静止画	📖
MENU メニュー	ー	●	●	68
撮影モード	P（プログラムAE）、Tv（シャッター優先AE）、Av（絞り優先AE）	●	●	87
	シネマモード	●	●	76
	ポートレート、スポーツ、夜景、スノー、ビーチ、夕焼け、ローライト、スポットライト、打上げ花火、水中、水上	●	●	72
WB ホワイトバランス	AWB オート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、セット	●	●	95
マイクレベル	A オート、M マニュアル オートのとき： レベルメーター 入/切	●		103
フラッシュ	オート、赤目緩和オート、強制発光、発光禁止		●	141
フォーカス	MF マニュアル：ON、OFF 指定被写体に合わせる	●	●	93
露出	M マニュアル：ON、OFF 指定被写体に合わせる	●	●	90
ZOOM ズーム	ズーム操作	●	●	44
	START/STOPボタンによる動画撮影/一時停止	●		38

ふろく

機能	設定内容	動画	静止画	参照ページ
AGC AGCリミット	Aオート、Mマニュアル	●		92
測光方式	評価測光、中央重点平均測光、スポット測光		●	147
ミニビデオライト	ON 入、OFF 切	●	●	100
プレREC	ON 入、OFF 切	●		79
ドライブモード	単写、AEB、連写、高速連写		●	143
D.エフェクト	OFF 切、E1 シロクロ、E2 セピア、F1 オートフェード1回、F1 オートフェード毎回、F2 ワイプ1回、F2 ワイプ毎回	●		85
	OFF 切、E1 シロクロ、E2 セピア		●	
手ブレ補正	ダイナミック、スタンダード、切	●		77
	入、切		●	

FUNC.／編集メニューの紹介

■ 再生時に使う「編集メニュー」

1シーンごと、選んだシーン、全シーン、指定した日に撮ったシーンなど、表示している画面によって、操作できる動画／静止画の数が異なります。

動画

機能	インデックス画面			タイムライン画面		
	[オリジナル]/[ビデオスナップ]	[プレイリスト]*1	[Web用／DVD用]	[オリジナル]/[ビデオスナップ]	[プレイリスト]*1	
コピー [→]	選択シーン、全シーン	全シーン		1シーン		168
HD→SD変換（DVD用）	選択シーン、全シーン	全シーン		1シーン		182
消去	選択シーン、全シーン	全シーン	全シーン	1シーン	1シーン	59
移動					1シーン	123
プレイリスト追加	選択シーン、全シーン			1シーン		119
分割				●*2		129

機能	再生一時停止中			
	[オリジナル]	[ビデオスナップ]	[プレイリスト]	
消去	1シーン	1シーン	1シーン	—
分割	●		—	—

[オリジナル]：オリジナル
[ビデオスナップ]：ビデオスナップ
[プレイリスト]：プレイリスト
[Web用／DVD用]：Web用／DVD用

*1 ビデオスナップのプレイリストを含む。
*2 オリジナルのみ。

静止画

機能	静止画		
	インデックス画面	再生中	
コピー [ ]	選択した静止画、全静止画	1枚	169
静止画プロテクト	選択した静止画、全静止画	●	155
印刷指定	選択した静止画、全静止画	●	162
消去	選択した静止画、全静止画	1枚	135
回転		●	153

● 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

メニューの紹介

撮影／再生のモードによって設定できる機能が異なります。設定できる機能は表中に●で示しています。ご購入時は、..........の内容に設定されています。各機能の詳細は、□欄のページかまたは欄外に説明があります。設定のしかたについては「メニューの設定を変える」（□68）をご覧ください。

動画/静止画 カメラ設定

機能	設定内容	動画	静止画	□
デジタルズーム	OFF 切、60x 60x、300x 300x	●		–
ズームスピード	VAR 可変速、≫ スピード3 ≫ スピード2、> スピード1	●	●	46
AFモード	S.AF ハイスピードAF、AF ノーマルAF	●	●	–
AF補助光	A オート、OFF 切		●	142
フォーカス優先	AiAF 入:AiAF、□ 入:中央固定、OFF 切		●	–
フォーカスアシスト	ON 入、OFF 切	●	●	–
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、OFF 切	●	●	81
自動逆光補正	ON 入、OFF 切	●	●	91
オートスローシャッター	ON 入、OFF 切	●		–
画質効果	OFF 切、V くっきりカラー、 N すっきりカラー、LS ソフト、 SD 美肌、C カスタム	●	●	98

ふろく

機能	設定内容	動画	静止画	参照
ウインドカット	A オート、OFF 切	●		—
マイクアッテネーター	ON 入 ATT、OFF 切	●		—
サラウンドマイク*1	5.1ch サラウンド、5.1ch ZOOM ズーム、5.1ch GUN ショットガン	●		—
マーカー表示	OFF 切、水平(白)、水平(グレー)、グリッド(白)、グリッド(グレー)	●	●	—
パワードISボタン	押し続け、ON/OFF切り替え	●		—

*1 サラウンドマイクロホンSM-V1(別売)に付属のSDカードを使って、本機のファームウェアをバージョンアップしたときのみ、表示されます。

デジタルズーム

デジタルズームの倍率(最高倍率)を選びます。

- デジタルズームの倍率を設定してからズームを使うと、光学ズーム領域を越えた時点で自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。
- ズーム表示は、18倍*から60倍までは水色、60倍から300倍までは青色で表示します。

* FUNC. メニューの「手ブレ補正」を「スタンダード」または「切」にしているときは15倍。

AFモード

ピントが合う速さを選びます。

ハイスピードAF	遠くの被写体と近くの被写体を交互に撮る、動いている子供を追いかけて撮るなどの状況でも素早くピントを合わせる。
ノーマルAF	ワイドコンバーターやテレコンバーター（ともに別売）を取り付けると、ハイスピードAFセンサー（□18）を隠してしまうので、そのような場合などに使用する。

- 別売のウォータープルーフケースWP-V2に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（□278）をご覧ください。

フォーカス優先

PHOTOボタンを浅く押したときに行われるピント合わせの方式を選びます。ピント合わせの際に表示される枠をAF枠といいます。

入:AiAF	撮影状況によって、9つの枠の中から、自動でピントを合わせる枠を選ぶ。
入:中央固定	画面中央にAF枠が1つ表示され、枠内の被写体にピントを合わせる。ねらった被写体にピントを合わせたまま構図を変えることができる。
切	PHOTOボタンを押してすぐに記録したいとき。AF枠は表示されない。

- 撮影モードを「打上げ花火」に設定しているときは、自動的に「切」になります。
- 「入:AiAF」または「入:中央固定」に設定しても、「フェイスキャッチ&追尾」を「ON」（□81）にしているときは、検出した顔にピントを合わせます。

フォーカスアシスト

マニュアルフォーカス（□93）でピントを調整しやすくするために、画面の中央を拡大表示します。

- 記録する動画/静止画には影響しません。撮影を開始するか、4秒経過すると拡大表示は解除されます。

オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。なお、「フレームレート」（□263）が「PF24」のときは1/12秒に、「PF30」のときは1/15秒に設定されます。
- 撮影モードが「**P**（プログラムAE）」のときに設定でき、デュアルショットに切り換えても設定は変わりません。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ブレ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V2に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（□278）をご覧ください。

ウィンドカット

屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生する、「ボコボコ」というノイズ音を自動的に低減します。

- 風の音と一緒に低音の一部も低減されます。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは、「切」を選びます。

マイクアッテネーター

録音した音声がひずむときに使います。

- マイクレベル（□103）を適切に設定しているのに録音した音声がひずむときは、「入」にします。「入」にすると画面に ATT が出ます。

サラウンドマイク

サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）の設定を選びます。

サラウンド	通常の5.1ch録音。
ズーム	5.1ch録音。録音時の音量がズームレバーに連動するので、離れた被写体を拡大して撮ると、音量も大きくなる。
ショットガン	マイク正面の音声を重点的に記録する5.1ch録音。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線（グリッド）を表示します。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できます。

- 水平線やグリッドは、撮影した動画/静止画には表示されません。

パワードISボタン

POWERED IS（パワードIS）ボタンの操作のしかたを選びます。

押し続け	ボタンを押している間だけ、パワードISが働く。
ON/OFF切り替え	ボタンを押すとパワードISがONになり、もう一度押すとOFFになる。

再生設定

機能	設定内容	動画	写真	📖
選曲	OFF 切、 ON 入(music_01～xx)	●	●	114
外部音源入力	OFF 切、 ON 入 入のとき:音源連動再生　入／切	●	●	116
データコード表示	日付、 時刻、 日付＆時刻、 カメラデータ	●		–
スライドショーエフェクト	OFF 切、 クロスフェード、 スライド		●	151
テレビタイプ *1	4:3 ノーマルテレビ、 16:9 ワイドテレビ	●	●	–

*1 HDMIケーブルで他の機器に接続している場合は、設定できません。

データコード表示

日付や時刻、カメラデータ(しぼり値やシャッタースピード)など、表示する撮影情報を選びます(📖118)。

テレビタイプ

ステレオビデオケーブルSTV-250N(付属)でテレビにつないで見るときに、接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

4:3 ノーマルテレビ	ノーマルテレビに接続するときに選ぶ。
16:9 ワイドテレビ	ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

- 「4:3 ノーマルテレビ」に設定しているとき、16:9で撮影した映像を再生すると、画面に表示される映像が小さくなります。

記録／接続設定

機能	設定内容	動画撮影	ビデオスナップ	静止画撮影	再生	参照ページ
セルフタイマー	ON 入、OFF 切	●		●		101
ビデオスナップ記録時間	2sec 2秒、4sec 4秒、8sec 8秒	●	●			84
動画記録	内蔵メモリー、カード リレー記録：OFF（切）、内蔵メモリー ➡ カード（カード）	●				33
録画モード	MXP 高画質モード24Mbps、 FXP 高画質モード17Mbps、 XP+ 高画質モード12Mbps、 SP 標準モード7Mbps、 LP 長時間モード5Mbps	●				70
フレームレート	60i 標準（60i）、PF30 PF30、PF24 PF24	●				—
静止画記録	内蔵メモリー、カード	●	●	●		33
静止画同時記録	OFF 切、LW 2304×1296、 SW 848×480 S スーパーファイン、ファイン、ノーマル	●				145
静止画画質/サイズ	LW 2304×1296、L 2100×1575、 M 1600×1200、S 640×480 S スーパーファイン、ファイン、ノーマル			●		139
あとからフォト	単写、連写		●			126
あとからフォト画質	S MW スーパーファイン、 MW ファイン、MW ノーマル		●			126
メモリー情報表示	—	●	●	●	●	—
x.v.Color	ON 入 color、OFF 切	●				—

ふろく

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	静止画撮影	静止画再生	📖
縦横自動回転	ON 入、OFF 切			●		–
静止画確認時間	OFF 切、2sec 2秒、4sec 4秒、6sec 6秒、8sec 8秒、10sec 10秒			●		–
静止画番号	オートリセット、通し番号	●	●	●	●	–
USB接続指定	DVDライター、パソコン/、接続時に選択		●		●	–
DVDライター書き込み指定	全シーン、未作成シーン		●			177
用紙設定	標準設定、L判、2L判、はがき、カード、KG 4×6、8.5"×11"、A3、A4、10.1×18cm				●	159

フレームレート

撮影方式を選びます。

標準(60i)	通常はこの方式を使う。
PF30	映像を30コマ/秒で送る方式で撮影する。インターネットに映像を掲載するときなどに便利。
PF24	映画と同じように映像を24コマ/秒で送る方式で撮影する。「シネマモード」(📖76)と組み合わせると、より映画の雰囲気に近い映像になる。

メモリー情報表示

内蔵メモリーやカードの総容量/使用量、動画の撮影時間/撮影可能時間*1、静止画の記録枚数/記録可能枚数*1を確認できます。カードの場合はSDスピードクラスも確認できます。

※カードの場合の画面を載せています。

*1 現在設定している動画の録画モードや静止画の画質/サイズをもとに算出します。
*2 実際に使用できる内蔵メモリーの容量は、主な仕様に記載の容量より若干少ないことがあります。

x.v.Color

広い色空間で動画を記録。目で見た色に近い映像を再現します。

- x.v.Colorに対応したテレビにHDMIケーブルでつないで再生するときのみ、「入」にして撮影してください。x.v.Color非対応のテレビで再生すると、色が正しく表現されないことがあります。

縦横自動回転

本機を縦位置にして撮影した静止画(縦長)を、再生時正しい向きに回転して表示します。

静止画確認時間

静止画の撮影直後に、その静止画を再生する時間を選びます。

- ドライブモード（□143）で「連写」、「高速連写」、「AEB」を選んでいると、静止画確認時間は設定できません。

静止画番号

個々の静止画に付けられる番号（静止画番号）の付けかたを選びます。撮影された静止画は、自動的に101-0101、101-0102、101-0103のように順に番号が付けられ、メモリー内のフォルダーに保存されます。

オートリセット	初期化されたメモリーに記録する場合、静止画番号は常に101-0101から始まる。メモリー内にすでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	静止画番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。ただし、メモリーに記録されている静止画番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- 1つのフォルダーには100枚までの静止画を保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。
- 静止画番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）と静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。

  * 静止画番号の範囲は、上3桁が101～998、下4桁が0101～9900です。
- 静止画が記録されたカードをパソコンで見ると、静止画番号が「101-0107」の静止画は、「DCIM￥101CANON」というフォルダーの中に「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

USB接続指定

USBケーブルで本機と他の機器をつなぐ場合、相手機の種類をあらかじめ選びます。

DVDライター	DVDライターDW-100（別売）とつなぐとき。
パソコン/	パソコンやプリンターなどDVDライターDW-100以外の機器とつなぐとき。
接続時に選択	USBケーブルをつないだときに、その都度、相手機の種類を選ぶ。つなぐ相手機の種類が常に同じではないとき。

システム設定

機能	設定内容					
文字サイズ	A大、A小	●	●	●	●	－
オンスクリーン表示	ON入、OFF切	●	●	●	●	－
言語	日本語、ENGLISH	●	●	●	●	－
液晶明るさ調整		●	●	●	●	－
バックライト低輝度	ON入、OFF切	●	●	●	●	－
AV/ヘッドホン	AV AV、ヘッドホン	●	●		●	105
音量	スピーカーのとき： 、OFF		●		●	105
	ヘッドホンのとき： 、OFF	●				
おしらせ音	大、小、OFF切	●	●	●	●	－

ふろく

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	写真撮影	写真再生	📖
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	–
パワーセーブ	オートパワーオフ：ON 入、OFF 切 クイックスタートスタンバイ： 切、10分、20分、30分	●	●	●	●	–
初期化 内蔵メモリー/SDカード	[内蔵メモリー、カード] 初期化、完全初期化、キャンセル	●	●*1	●	●	35
エリア/サマータイム	エリア：(自宅)、(旅行先) サマータイム：ON、OFF	●	●	●	●	28
日付/時刻	日付/時刻：　– 日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示　ON、OFF	●	●	●	●	29
カレンダー指定	土曜、日曜、月曜		●			–
バッテリー情報	–	●	●	●	●	–
HDMI機器制御*2	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	–
HDMI出力状態	–	●	●	●	●	–
フォーカス距離単位	m メートル、ft フィート	●		●		–
デモモード	ON 入、OFF 切	●		●		–
設定初期化	いいえ、はい	●	●	●	●	–
Firmware	–				●	–
Eye-Fi通信*3	A オート、OFF 切	●	●	●	●	199

*1 プレイリスト画面、スナップショットプレイリスト画面を除く。
*2 HDMIケーブルで他の機器に接続している場合は、設定できません。
*3 Eye-Fiカードを入れると表示されます。

文字サイズ

メニュー画面などに表示する文字の大きさを選びます。

- 「大」にすると、画面によっては表示内容が省略されたり、文字サイズが大きくならなかったりすることがあります。

オンスクリーン表示

液晶画面に表示される情報を、本機に接続したテレビの画面に表示します。

言語

画面に表示される言語を変えます。

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ✹または✹をタッチして、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

バックライト低輝度

液晶画面の明るさを暗くします。暗所での撮影など、周囲に配慮したいときなどに使います。

- DISP.ボタンを約2秒以上押すと「切」にできます。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 「切」にすると、低輝度に設定する前の明るさに戻ります。

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

リモコン（📖23）の信号を受け付けるかどうかを設定します。

パワーセーブ

オートパワーオフ

バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「オートパワーオフ」が表示されます。
- スタンバイ中は、「クイックスタートスタンバイ」（下記参照）の設定時間が優先されます。

クイックスタートスタンバイ

スタンバイ中に自動的に電源が切れる時間を設定します。「切」にするとスタンバイ状態になりません。

カレンダー指定

カレンダー表示の開始曜日を変更できます。

バッテリー情報

バッテリーの残量（%）と撮影/再生可能時間（分単位まで）を確認できます。

HDMI機器制御

HDMI機器制御機能（HDMI CEC*）対応のテレビとHDMIケーブルでつないだとき、テレビとビデオカメラの操作を連動させることができます。

- 「入」に設定した後にテレビにつなぐと、テレビ側の入力が自動的にビデオカメラを接続しているHDMI端子に切り換わり、テレビのリモコンで映像を再生できます。リモコンの▲/▼/◀/▶のボタンを押してシーンまたは静止画を選び、決定ボタンを押すと再生します。
- テレビによってはHDMI機器制御機能を有効にする必要があります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- HDMI機器制御機能に対応したテレビであっても、正しく操作できないことがあります。その場合は、本機の「HDMI機器制御」を「切」にして、ビデオカメラ側で操作して再生してください。
- HDMI機器制御機能は、本機が動画/静止画の見るモードの場合に使用できます。撮影時に使用すると、本機が撮影中でも、テレビの電源OFFに連動して、ビデオカメラの電源が切れることがあります。
- 同時に接続するHDMI機器は、3台以内にすることをおすすめします。

* HDMI CECとは、HDMI規格で決められた相互機器制御機能のことです。

HDMI 出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

フォーカス距離単位

マニュアルフォーカスでピント合わせを行うと、画面に被写体までの距離が出ます。この距離表示の単位を選びます。

デモモード

機能紹介（デモモード）の映像を画面に表示します。

- コンパクトパワーアダプター使用時に、カードが入っていない状態で約5分経過するとデモモードとなり、機能紹介が始まります。デモモードにしない場合は、「切」に設定します。
- なんらかの操作をするとデモモードは終了します。

設定初期化

本機をご購入時の設定に戻します。

Firmware

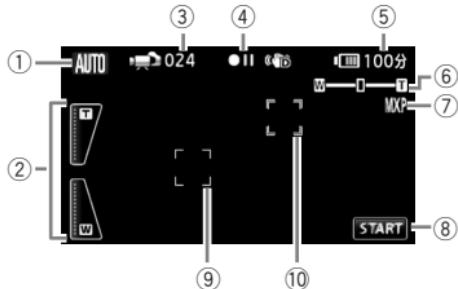
ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。

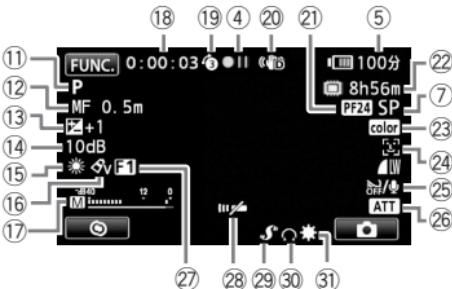
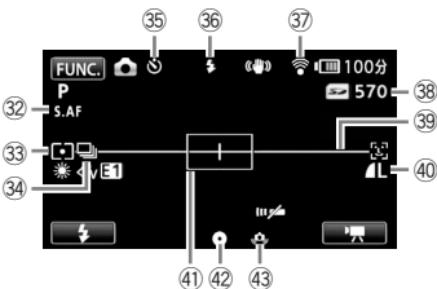
- 通常は灰色で表示されます。

画面の見かた

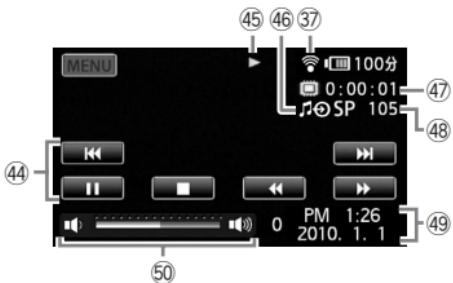
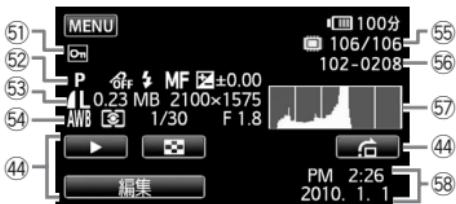
撮影中や再生中に表示される情報です。■内の数字は参照ページです。

■ 撮影のときの画面

デュアルショットのとき

① こだわりオート 40
② ズームボタン 45
③ 撮影シーン数
④ 撮影状況 275
⑤ バッテリー残量の目安 275
⑥ ズーム 44
⑦ 録画モード 70
⑧ START/STOPボタン 38
⑨ 顔検出枠 81
⑩ タッチ追尾のAF枠 83

動画のとき

静止画のとき

⑪ 撮影モード 72
⑫ フォーカス 93
⑬ 露出 90
⑭ AGCリミット 92
⑮ ホワイトバランス 95
⑯ 画質効果 98
⑰ レベルメーター 103
⑱ 記録時間（時：分：秒）
⑲ プレREC 79
⑳ 手ブレ補正 77
㉑ フレームレート 263
㉒ 撮影可能時間 275
㉓ x.v.Color 264
㉔ フェイスキャッチ &追尾 81
㉕ ウィンドカット 259
㉖ マイクアッテネーター 260
㉗ デジタルエフェクト 85
㉘ リモコンセンサー 269
㉙ ミニアドバンストシュー 107
㉚ ヘッドホン 105
㉛ ミニビデオライト 100
㉜ ハイスピードAF 258
㉝ 測光方式 147
㉞ ドライブモード 143
㉟ セルフタイマー 101
㊱ フラッシュ 141
㊲ Eye-Fi 198
㊳ 静止画の記録可能枚数 275
㊴ マーカー 260
㊵ 静止画画質/サイズ 139
㊶ AF枠 258
㊷ ピント・露出の固定状態 39
㊸ 手ブレ警告 259

■ 再生のときの画面

動画のとき（操作ボタン表示時）

静止画のとき（操作ボタン表示時）

㊹ 操作ボタン
㊺ 再生状況 275
㊻ 外部音源入力 115
㊼ 再生時間(時：分：秒)
㊽ 再生シーン番号
㊾ データコード 261
㊿ 音量バー 51
51 静止画プロテクト 155
52 撮影モード 72 /
画質効果 98 /
フラッシュ 141 /
フォーカス 93 /
露出 90
53 静止画画質/
サイズ 139 /
データ量 139
54 ホワイトバランス 95 /
測光方式 147
シャッタースピード 87 /
しぼり数値 87
55 表示枚数/全枚数
56 静止画番号 265
57 ヒストグラム 154
57 日時 28

④ 撮影状況/㊺ 再生状況
●：撮影（録画）　●II：撮影一時停止　▶：再生　II：再生一時停止
▶▶：早送り　◀◀：早戻し　◀I/I▶：スロー再生
◀II/II▶：コマ送り／コマ戻し

⑤ バッテリー残量の目安

バッテリーの残量の目安をマークで、撮影または再生可能な時間を分で表示します。が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

㉒ 撮影可能時間
メモリーに空きがなくなると、「END」または「END」が点灯し、停止します。

㊳ 静止画の記録可能枚数
枚数の緑色表示は残り6枚以上、黄色表示は残り1～5枚、赤色表示は0枚を示します。ただし、再生時はすべて緑色で表示します。記録可能枚数は記録時の状況により異なることがあります。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることがあります。

主な仕様

iVIS HF M32 システム

内蔵メモリー／カード記録	動画： AVCHD規格 映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch、Dolby Digital 5.1ch*1 静止画： DCF準拠、Exif Ver2.2準拠、DPOF対応 静止画圧縮方法：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）
信号方式	1080/60i方式*2
記録メモリー	内蔵メモリー（容量：64 GB）、SD／SDHC／SDXCメモリーカード
録画／再生時間の目安（□71）	内蔵メモリー（MXP、FXP、XP+、SP、LP）： 5時間55分、8時間20分、11時間30分、 19時間10分、24時間30分 16 GBメモリーカード（MXP、FXP、XP+、SP、LP）： 1時間25分、2時間5分、2時間50分、 4時間45分、6時間5分
撮像素子	1/4型CMOS、総画素数 約389万画素 有効画素 動画 「手ブレ補正」が「ダイナミック」のとき（アドバンストズーム）： 約299万－207万画素（広角側－望遠側） 「手ブレ補正」がダイナミック以外のとき： 約299万画素 静止画（16:9）：約299万画素 静止画（4:3）：約331万画素
液晶画面	2.7型TFTワイドカラー液晶（約21.1万ドット）、タッチパネル
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=4.1－61.5 mm F=1.8－3.2 光学15倍ズーム 35 mmフィルム換算時の焦点距離 動画 「手ブレ補正」が「ダイナミック」のとき： 約39.5－711 mm 「手ブレ補正」がダイナミック以外のとき： 約39.5－592.5 mm 静止画： 約39.5－592.5 mm

*1 サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）使用時。

*2 メニューの「フレームレート」を「PF24」または「PF30」に設定しているときは、60iに変換して記録します。

ふろく

レンズ構成	9群11枚、非球面レンズ1枚（2面）使用
焦点調整	TTL自動焦点（TTL＋外部測距：ハイスピードAF選択時）、 マニュアル調整可
フィルター径	37 mm
最短撮影距離	ワイド端1 cm、ズーム全域1 m
ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H、セット最低 被写体照度　0.4ルクス(ローライト(シーンモード))、 シャッタースピード1/2秒時）5.5ルクス（P（プログラムAE）モード （オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ブレ補正機能	光学式
動画サイズ	MXP/FXP：　1920×1080 XP+/SP/LP：　1440×1080
静止画記録サイズ	静止画：　LW（2304×1296）、L（2100×1575）、 M（1600×1200）、S（640×480） 同時記録：　LW（2304×1296）、SW（848×480） あとからフォト：　MW（1920×1080）

入・出力端子

映像／音声出力端子 （AV OUT端子）	Φ3.5 mmステレオミニジャック、1 Vp-p／75 Ω －10 dBv（47 kΩ負荷時）／3 kΩ以下
USB端子	mini-B、USB2.0 Hi-Speed
コンポーネント出力端子 （COMPONENT OUT端子）	Y：1 Vp-p、75 Ω PB/PR.CB/CR：±350 mV、75 Ω D3（1080i）対応、出力のみ、特殊D端子
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクター、出力のみ、CEC対応、x.v.Color対応
ヘッドホン端子	Φ3.5 mmステレオミニジャック（AV OUT端子兼用）
外部マイク入力端子	Φ3.5 mmステレオミニジャック、－57 dBV（600 Ωマイク使用時）／5 kΩ以上

電源その他

電源電圧	DC7.4 V（バッテリーパック）、DC8.4 V（DC IN）
消費電力 （SPモード、AF合焦時）	約3.5 W（液晶画面明るさ標準）
動作温度	0 ℃～＋40 ℃
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	約68×60×123 mm（グリップベルトを含まず）
撮影時総質量	約380 g（バッテリーパックBP-808、SDメモリーカード、グリップベルト含む）
本体質量	約320 g（グリップベルトを含まず）

水中／水上モードの制限事項

使用できない機能	ミニビデオライト、フラッシュ、フェイスキャッチ＆追尾（水中のみ）、ハイスピードAF、オートスローシャッター、AF補助光、手動マイクレベル調整、マイクアッテネーター
水中/水上モード 専用の設定になる機能	ホワイトバランス、画質効果、測光方式
ズームスピード	「可変速」に設定したとき：スピード3より速い固定速
最短撮影距離 （ウォーター プルーフケース のガラス前面から）	水中で撮影時：ワイド（広角）側　約5 cm、 テレ（望遠）側　約75 cm 空気中で撮影時：ワイド（広角）側　約5 cm、 テレ（望遠）側　約1 m

コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源	AC 100 V－240 V、50／60 Hz
出力／消費電力	公称DC8.4 V、1.5 A/29 VA（100 V）～39 VA（240 V）
使用温度	0 ℃～＋40 ℃
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	約52×29×90 mm
本体質量	約135 g

バッテリー　BP-808	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0 ℃～＋40 ℃
公称電圧	DC7.4 V
公称容量	890 mAh
定格（最小）容量	6.3 Wh / 850 mAh
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	約30.7×23.3×40.2 mm
質量	約46g

バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリーBP-808と別売のBP-809(B)/BP-809(S)/BP-819/BP-827をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

内蔵メモリーに記録時

録画モード	使用時間	BP-808 / 809	BP-819	BP-827
MXP	連続撮影時間	1時間40分	3時間20分	5時間05分
	実撮影時間	1時間05分	2時間10分	3時間20分
	再生時間	2時間40分	5時間25分	8時間15分
FXP	連続撮影時間	1時間40分	3時間20分	5時間05分
	実撮影時間	1時間05分	2時間10分	3時間20分
	再生時間	2時間40分	5時間25分	8時間20分
XP+	連続撮影時間	1時間40分	3時間25分	5時間10分
	実撮影時間	1時間05分	2時間15分	3時間25分
	再生時間	2時間45分	5時間25分	8時間25分
SP	連続撮影時間	1時間45分	3時間30分	5時間15分
	実撮影時間	1時間05分	2時間15分	3時間25分
	再生時間	2時間45分	5時間35分	8時間35分
LP	連続撮影時間	1時間45分	3時間30分	5時間15分
	実撮影時間	1時間05分	2時間15分	3時間25分
	再生時間	2時間45分	5時間35分	8時間35分

メモリーカードに記録時

録画モード	使用時間	BP-808 / 809	BP-819	BP-827
MXP	連続撮影時間	1時間35分	3時間20分	5時間00分
	実撮影時間	1時間00分	2時間05分	3時間15分
	再生時間	2時間40分	5時間15分	8時間05分
FXP	連続撮影時間	1時間35分	3時間20分	5時間00分
	実撮影時間	1時間00分	2時間10分	3時間15分
	再生時間	2時間40分	5時間20分	8時間15分
XP+	連続撮影時間	1時間40分	3時間25分	5時間10分
	実撮影時間	1時間05分	2時間15分	3時間20分
	再生時間	2時間40分	5時間25分	8時間20分
SP	連続撮影時間	1時間40分	3時間25分	5時間10分
	実撮影時間	1時間05分	2時間15分	3時間25分
	再生時間	2時間45分	5時間30分	8時間25分
LP	連続撮影時間	1時間45分	3時間25分	5時間10分
	実撮影時間	1時間05分	2時間15分	3時間25分
	再生時間	2時間45分	5時間30分	8時間25分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

音楽ファイルについて

本機でビデオスナップなどに使う音楽は以下の形式です。

サンプリング周波数：48kHz

音声形式：リニアPCM

量子化ビット数：16bit

チャンネル数：2

再生時間：1秒以上

データ形式：WAV

フォトアプリケーション Ver.34 / 音楽データディスク

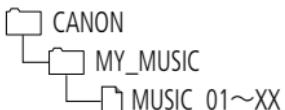
└ MUSIC

音楽ファイルはパソコンで見ると、以下のように保存されます。

内蔵メモリーのとき

CANON

└ MY_MUSIC

　└ MUSIC_01～XX

SDメモリーカードのとき

Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素(走査線)数1080画素(本)のHD(High Definition)映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

iVIS HF M32 は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
iVIS HF M32 は、Exif 2.2(愛称「Exif Print」)に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

さくいん

ア行

カ行

サ行

ふろく

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

そのほか

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- 「x.v.Color」および「x.v.Color」ロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- YouTubeはGoogle Inc.の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本機器は、Microsoftからライセンスされたexfat技術を搭載しています。

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2 規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIO の特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾は MPEG LA, L.L.C.,(250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA)から取得可能です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

補修用性能部品について

- ビデオカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後8年です。従って、期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましては弊社またはお買い上げ店にお問い合わせください。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 修理によっては、内蔵メモリーの初期化・交換をすることがあり、その場合、記録データはすべて消去されます。修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、不具合症状の再現・確認のために、必要最小限の範囲でメモリー内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

平日・土曜日 9:00〜18:00
日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、043-211-9394をご利用ください。

- 購入年月日、型名「iVIS HF M32」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。

ビデオカメラの使いかた
フォトアプリケーションの使いかた

キヤノン お客様相談センター

050-555-90003 (全国共通)

平日 9:00〜20:00／土日祝日* 10:00〜17:00
*1月1日〜1月3日を除く

※上記番号をご利用になれない場合は、043-211-9394をご利用ください。

PIXELA ImageMixer 3 SEの使いかた

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

0120-727-231

10:00〜18:00 (年末年始、祝日を除く)

※携帯電話・PHSをお使いの場合やフリーダイヤルをご利用になれない場合は、06-6633-2990 (FAX 06-6633-2992)をご利用ください。

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

■ デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/ivis

■ キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

■ CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-0350-000

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

本書の内容は2010年06月現在です。製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。